

図面リスト

通し番号	図面番号	名 称	縮尺	通し番号	図面番号	名 称	縮尺
		表紙		20	6 - 1	ソフトウェア情報学部棟 2階平面図	1/200
		図面リスト		21	6 - 2	ソフトウェア情報学部棟 3階平面図	1/200
				22	6 - 3	ソフトウェア情報学部棟 4階平面図	1/200
1	1 - 1	改修特記仕様書(1)		23	6 - 4	ソフトウェア情報学部棟 塔屋屋根平面図	1/200
2	1 - 2	改修特記仕様書(2)		24	7 - 1	メディアセンターA棟、B棟 2階平面図	1/200
3	1 - 3	改修特記仕様書(3)		25	7 - 2	メディアセンターA棟、B棟 3階平面図	1/200
4	1 - 4	改修特記仕様書(4)		26	7 - 3	メディアセンターA棟、B棟 4階平面図	1/200
5	2 - 1	凡例・注記		27	7 - 4	メディアセンターA棟、B棟 屋根伏図	1/200
6	2 - 2	機器姿図		28	8 - 1	学生ホール棟 2、3階平面図	1/200
7	2 - 3	回線数表、幹線ブロック図、幹線系統図(1)		29	9 - 1	体育棟 2、3階平面図	1/200
8	2 - 4	幹線系統図(2)		30	9 - 2	体育棟 ビット平面図、屋根伏図	1/200
9	2 - 5	幹線系統図(3)		31	10 - 1	エネルギーセンター 1階平面図	1/200
10	2 - 6	幹線系統図(4)		32	11 - 1	社会福祉学部棟 2階平面図	1/200
11	3 - 1	本部棟 平面図	1/200	33	11 - 2	社会福祉学部棟 3階平面図	1/200
12	4 - 1	共通講義棟 1階平面図	1/200	34	11 - 3	社会福祉学部棟 4階平面図	1/200
13	4 - 2	共通講義棟 2階平面図	1/200	35	11 - 4	社会福祉学部棟 塔屋屋根平面図	1/200
14	4 - 3	共通講義棟 3階平面図	1/200	36	12 - 1	看護学部棟 1階平面図	1/200
15	4 - 4	共通講義棟 塔屋屋根平面図	1/200	37	12 - 1	看護学部棟 2階平面図	1/200
16	5 - 1	総合政策学部棟 1階平面図	1/200	38	12 - 1	看護学部棟 3階平面図	1/200
17	5 - 2	総合政策学部棟 2階平面図	1/200	39	12 - 1	看護学部棟 4階・塔屋屋根平面図	1/200
18	5 - 3	総合政策学部棟 3階平面図	1/200	40	13 - 1	短期大学部棟 トレンチ・1階平面図	1/200
19	5 - 4	総合政策学部棟 4階・塔屋平面図	1/200	41	13 - 2	短期大学部棟 2階・3階平面図	1/200

1	特記仕様書(3)	-																																	
<p>1.5.5 [置換] (電気) 1.5.6 (機械) 施工の立会い等</p> <p>1.5.7 (電気) 1.5.8 (機械) 化学物質の濃度測定</p> <p>1.5.9 [追補] (電気) 1.5.10 (機械) プロセスの妥当性確認</p> <p>1.5.10 [追補] (電気) 1.5.11 (機械) 施工の検査に伴う不適合の管理、是正処置</p> <p>1.5.11 [追補] (電気) 1.5.12 (機械)</p>	<p>a. 共仕[1.5.7](a)を、次に読み替える。 (a)設計図書等に定められた場合及び監理者の指示を受けた場合の施工は、監理者の立会いを受ける。この際、適切な時期に監理者に対して立会いの請求を行うものとし、立会いの日時について監理者の指示を受ける。なお、発注者の指示により、発注者が立ち会うことがある。 b. 監理者が指示した場合には、監理者の立会いに代えて工事写真等の記録を整理して監理者に提出し、監理者の確認を受ける。</p> <p>c. 施工中における接着剤等の有機溶剤や使用材料相互の干渉による臭気について、発生のおそれのある場合は、事前に臭気測定計画書を監理者に提出のうえ、施工中の必要な時期に監理者の立会いのもと測定を行い、その結果を発注者、建物管理者及び監理者に報告する。測定方法は、携帯型臭気センサーによる簡易測定程度とし、測定箇所数及び判定基準は、次による。 測定箇所数 ※各対象室の中央部1箇所 判定基準(6段階表示法による臭気強度) ・1.0以下 ・※2.0以下</p> <p>a. 設計図書等に記載のない施工の手段、手法については、受注者の責任においてこれを決定し、その内容を監理者に報告する。 b. 関係法令等により特定の基準によって施工することが定められている場合は、これに従う。工法等の選定</p> <p>a. 事後の検査、試験では結果が十分に検証できない工程については、認定された者が認定された設備を使用して、定められた方法及び手順により作業を行い、その工程を監視、管理し、記録を監理者に報告する。 b. 前 a 号の対象となる工程は、鉄筋の圧接、鉄骨の溶接のほか、完成後隠ぺい部となる耐火被覆や防火区画部の処理、カーテンウォールファスナー等の固定部等、建築物の性能に重大な影響を及ぼすおそれがあるものが該当し、対象となる工程を要員、設備、方法、手順、管理及び記録の方法と併せて、あらかじめ監理者と協議のうえ定める。 c. 記録は、確認チェックのみではなく、形状寸法の測定結果及び写真等により、確認した内容を把握できるものとする。</p> <p>a. 施工の検査に伴う不適合の管理、是正処置は、1.4.8に準じて行う。</p> <p>a. 既存設備等を撤去した際、壁や梁等に残る貫通孔、ビス跡、切欠き等の穴は監理者の指示する方法によりふさぐか又は埋める。また、設備機器等を撤去した跡に残存する取付け金物やポルト、機械基礎等は、監理者の指示する方法により適切に処置する。</p>		<p>7節 完成図書</p> <p>1.7.1 [置換] 完成時の提出図書</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p>	<p>a. 共仕[1.7.1(a)]を、次に読み替える。 (a)工事完成時の提出図書は、次による。 *完成図書 *保安に関する資料 *竣工写真 *施工図書 *施工図 *以下の1.7.1 c.1)による *施工計画書等 *以下の1.7.1 c.1)による *その他「提出書類作成要領」に示す図書 ・竣工パンフレット 発注者用 部、監理者用 部 竣工パンフレットは、竣工写真及び建築物概要、設計コンセプト等を記載したもので、体裁、内容等は監理者の指示による。体裁は、監理者の指示がない場合は、A4判2つ折りカラーオフセット印刷とする。提出時期は、発注者との協議による。</p> <p>b. 工事完成時に提出する図書の種類、内容、書式、提出部数等は、「提出書類作成要領」による。 c. 工事関係図書を整理のうえ、次により発注者及び監理者に各1部を提出するとともに、工事完成引渡し後も自ら保管する。 1)提出、保管する工事関係図書 *施工図等 (※すべて 監理者の指示する施工図等) *施工計画書、施工要領書、試験計画書 (※すべて 監理者の指示する施工計画書等) *検査記録 (工事中のすべての受注者等、監理者、官公署による検査等の記録を含む) *施工報告書、試験報告書 *工事写真 *会議記録、打合せ記録 *各種計算書 (設備関連、耐震関連、耐風関連等) ・ 2)受注者による保管期限(工事完成引渡し日から起算) *15年 3)提出・保管媒体 *デジタルデータ(PDF、TIFF等) ・原本() d. 前 a、c 号により発注者に提出された図書等の著作権にかかわる当該建築物に限定する使用権は、発注者に無償で委譲するものとする。</p>	<p>1.7.6 [追補] (電気) 1.7.7 (機械) 竣工写真</p> <p>6)経年劣化等により更新、取替え等が必要なもの 7)その他、事故、早期の損耗や劣化等を避けるために必要と思われるもの</p> <p>a. 竣工写真の提出は、次によるほか、「提出書類作成要領」による。 1)提出写真カット数 外観() 室内() 航空写真() 2)カラープリント提出部数等</p> <table border="1" data-bbox="1780 252 2136 346"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>提出先</th> <th>アルバムの形式</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルバム1</td> <td>発注者</td> <td>*フォトブック形式 ・台紙アルバム形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・アルバム2</td> <td>監理者</td> <td>*フォトブック形式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)1.フォトブックは下記程度とし、写真のサイズ、レイアウト等詳細は、発注者及び監理者と協議する。その他詳細は「提出書類作成要領」による。 サイズ : *内面260mm×260mm 表紙 : *ハードカバータイプ フラット製本 紙質等 : *シルク紙高画質印刷 ・印刷紙 参考 : エスエス企画 建築写真P8026スクエア 程度 2.フォトブック形式のアルバムを作成した場合は、フォトブックのPDFデータ(高品質、200pixel/inch以上)も提出する。(発注者用1部、監理者用1部) 3.台紙アルバム形式の詳細は、「提出書類作成要領」による。</p> <p>b. 竣工写真のデジタル画像データ等は、次による。 1)提出部数 2部 (発注者提出用1部、監理者提出用1部) 2)解像度 *キャビネ判フルカラー400dpi(長辺方向2,600pixel)以上 フォトブックの体裁にかかわらず、データはキャビネ版サイズのものとする。また、提出するデータにおいて、各画像が横向きにならないようにする。 3)ファイル形式 *TIFF(圧縮 LZ7) ・JP8(圧縮 最高画質) 4)カラーモード RGB 5)記録媒体 CD-R、DVD-R等 フォルダ形式及びファイル名は、監理者の指示による。 6)その他 通し番号と層階及び各写真の撮影者を記した写真一覧表のExcel等のデータを添付する。やむを得ず画像データが上記仕様を満たすことができない場合は、画像データのほか、キャビネ版カラープリントによるバラ写真全数(1部)を監理者に提出する。</p> <p>c. 撮影者は、次による。 *監理者の承認する撮影者 ・建築写真専門家(監理者と協議のうえ選定) d. 撮影時期その他の撮影条件は、次による。</p>	区分	提出先	アルバムの形式	提出部数	・アルバム1	発注者	*フォトブック形式 ・台紙アルバム形式	2	・アルバム2	監理者	*フォトブック形式	1	<p>1)調査項目 *コンクリートのひび割れ、じゃんか、充填不良、コールドジョイント等 ・コンクリート強度 ・コンクリートの中性化 *鉄筋の錆 ・鉄筋のかぶり厚 *鉄骨の錆 *耐火被覆 *床たわみ ・建築物の不等沈下 *躯体のはり等による欠損 *ALCパネルの劣化状況</p> <p>2)調査範囲 *改修対象範囲内で躯体が露出している部分すべて ・設計図による</p> <p>3)調査方法 *目視、打診 ・コア抜き() ・</p> <p>4.改修対象以外の既存部分の調査 *実施しない ・工事着手に先立ち、次により実施する</p> <p>1)調査項目 () 2)調査範囲 *改修工事範囲内 ・建築物全体 ・設計図による 3)調査方法 *目視、計測、触診、打診、作動試験等の現地調査 ・</p> <p>4)この調査により、工事の内容、工期又は請負代金額を変更する必要があると認められる場合は、見積要項書によるほか、発注者、監理者及び受注者等で協議する。</p>																	
区分	提出先	アルバムの形式	提出部数																																
・アルバム1	発注者	*フォトブック形式 ・台紙アルバム形式	2																																
・アルバム2	監理者	*フォトブック形式	1																																
<p>6節 完成、検査</p> <p>1.6.1 [置換] 完成、検査</p> <p>[置換]</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p> <p>[付加]</p>	<p>a. 共仕[1.6.1](a)を、次に読み替える。 (a)この工事の完了に当たっては、監理者の立会いのもとに発注者による「発注者検査」を受ける。発注者にこの検査を求めるときは、次の(1)から(4)までに示す要件を満たすものとする。 (1)工事用図書に適合していることを確認し、すべての工事が完了している。 (2)発注者及び監理者からの指示を受けた事項がすべて完了している。 (3)改修特仕[1.6.1] c.からl.の各種検査及び検査結果に基づく必要な修繕等がすべて完了している。 (4)設計図書等に定められた、工事完成時の提出図書の整備がすべて完了している。ただし、設計図書で定め又は発注者及び監理者の承認を受けて後日提出とするものを除く。 b. 共仕[1.6.1](c)を次に読み替える。 (c)契約図書に規定する部分引渡しに係る工事の完了により、発注者に対して監理者の立会いのもとに検査を求めるときは、部分引渡しに係る工事について、(a)の(1)から(4)までの要件を満たすものとする。ただし、改修特仕[1.6.1]f.の検査の時期は、監理者と協議し、工事完成時の提出図書の範囲は、発注者と協議する。 c. 工事の完成に当たって、受注者等の自主検査を行ったうえで、受注者の本社等の検査員(現場関係者を除く)による「自主検査」を行う。自主検査に先立ち、自主検査計画書を監理者に提出する。検査の結果は、関係法令又は工事用図書に適合しない箇所等がある場合は、速やかに補正を行ったうえで、監理者に報告する。なお、自主検査報告書作成については「提出書類作成要領」による。 d. 前 c 号の報告のうち、監理者による「監理者竣工検査」を受ける。 e. 前号の検査の結果、修繕又は改造が必要であると指摘された箇所がある場合は、監理者の指示により速やかに修繕又は改造し、監理者の再検査を受けるとともに、官公署その他関係機関に対し必要な手続を行う。 f. 前 c、d、e 号の各検査により、すべての工事が完了していること、及び設計図書等と契約条件並びに関係法令等の規定に適合していることが確認されたのち、監理者の本社等の検査員(現場関係者を除く)による「完成検査」を受ける。 g. 前 f 号の検査の結果、修繕又は改造が必要であると指摘された箇所がある場合は、監理者の指示により速やかに修繕又は改造し、監理者の再検査を受ける。 h. 完成時の諸検査の日程、方法については、関連工事との調整を行い、必要により関連工事の受注者等同席のうえ、協同して検査を受ける。</p>	<p>1.7.2 [付加] 完成図書</p> <p>[付加]</p>	<p>a. 完成図書は、完成した工事事務に関する情報を整理、記録し、完成時の状態を表現したものであり、工事事務の維持保全及び将来の改修、増改築等のための基本情報として使用することを目的として作成する。 b. 完成図書は、監理者の確認を受けた後、工事事務の完了時に、発注者及び監理者に提出する。 c. 完成図書の種類 ・共仕[表1.7.1]による *「提出書類作成要領」[3章](工事完成時に提出する書類)による。また「特記仕様書」等の記載項目は省略しない。このうち、完成図書とする主要な詳細図等は、次による。 設備図 : *平面詳細図 *断面詳細図 ・展開図 *各部詳細図(標準詳細図を含む) ・天井伏図 d. 共仕[1.7.2 (b)]を次に読み替える。 (b)完成図の様式、サイズ、体裁、提出部数等は、「提出書類作成要領」によるとともに、次による。原因及び電子媒体の各1部は設計者用とし、監理者を通じて発注者に提出する。</p> <table border="1" data-bbox="1009 1113 1498 1323"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>サイズ</th> <th>製本等の体裁</th> <th>紙質等</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原図</td> <td>A1判</td> <td>-</td> <td>トレーシングペーパー</td> <td>1</td> <td>3つ折り図面ケース入り</td> </tr> <tr> <td>製本1</td> <td>A1判</td> <td>2つ折り製本</td> <td>普通紙</td> <td>2</td> <td>表紙及び背表紙にタイトル入り</td> </tr> <tr> <td>製本2</td> <td>A3判(縮小)</td> <td>2つ折り製本</td> <td>普通紙</td> <td>2</td> <td>表紙及び背表紙にタイトル入り</td> </tr> <tr> <td>製本3</td> <td>A1判</td> <td>A4判折込み製本</td> <td>普通紙</td> <td>1</td> <td>黒表紙銀文字製本</td> </tr> </tbody> </table> <p>原図の CADデータ - 電子媒体 (CD-R、DVD-R等) - - 2 媒体にタイトル印刷 原図の PDFデータ - 電子媒体 (CD-R、DVD-R等) - - 2 媒体にタイトル印刷</p> <p>1)原図及び製本用紙への印刷は、原則としてそれぞれCAD出力プリントとする。 2)CADデータのファイル形式はAUTOCADとし、作成要領は、監理者の指示による。</p> <p>e. 完成図書は、当該工事により明確になった内容(事前調査内容、プラン変更、システム変更等)を反映し、工事完成時における建築物の現状を表現したものである。</p>	種類	サイズ	製本等の体裁	紙質等	部数	備考	原図	A1判	-	トレーシングペーパー	1	3つ折り図面ケース入り	製本1	A1判	2つ折り製本	普通紙	2	表紙及び背表紙にタイトル入り	製本2	A3判(縮小)	2つ折り製本	普通紙	2	表紙及び背表紙にタイトル入り	製本3	A1判	A4判折込み製本	普通紙	1	黒表紙銀文字製本	<p>1.7.7 [追補] (電気) 1.7.8 (機械) 引渡し</p> <p>1.7.8 [追補] (電気) 1.7.10 (機械) 部分引渡し</p> <p>1.7.9 [追補] (電気) 1.7.11 (機械) 完成引渡し後の検査及び調査</p> <p>8節 施工調査</p> <p>1.8.1 [追補] 施工計画調査</p> <p>a. 施工計画作成のための調査 工事着手に先立ち、施工計画作成のために、次による調査を行い、報告書を監理者に提出する。なお、有害物質の有無の調査については、解体特仕による。 1)調査項目 *施工計画に影響する事項全般 ・配管配線ルート全経路(既設点検口がない場合は、新たに点検口を設けて調査する) ・ 2)調査範囲 *改修工事範囲全般 ・設計図による *既存建築物の完成図書、竣工図、過去の改修記録、取扱い説明書等の照査 *入居者、建物管理者や保守員(電気主任技術者を含む)へのヒアリング *目視、計測等の現地調査 *関係官公署(建築主事、消防署ほか)等との事前協議 ・工事に伴う騒音振動のテスト 施工 ・ b. 埋設物の調査 工事着手に先立ち、次により埋設配線、配管等の埋設物の詳細な調査を行い、報告書を監理者に提出する。なお、調査に先立ち調査計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 1)調査項目 *埋設配線の位置 *埋設配管の位置 *鉄筋位置 2)調査範囲 *既存コンクリートに穴あけ、はつり、釘打ち、アンカー施工等を行う箇所とその周辺 ・設計図による ・ 3)調査方法 *既存建築物の完成図書、竣工図、過去の改修記録等の照査 *目視、計測等の現地調査 *探査機(X線、レーダー、電磁波測定器等)による調査 ・ c. 既存躯体の現況調査 工事着手に先立ち、次により既存躯体の現況調査を行い、報告書を監理者に提出する。躯体に不良部分がある場合の措置については、監理者と協議する。この措置により、工事の内容、工期又は請負代金額を変更する必要があると認められる場合は、見積要項書によるほか、発注者、監理者及び受注者等で協議する。</p>	
種類	サイズ	製本等の体裁	紙質等	部数	備考																														
原図	A1判	-	トレーシングペーパー	1	3つ折り図面ケース入り																														
製本1	A1判	2つ折り製本	普通紙	2	表紙及び背表紙にタイトル入り																														
製本2	A3判(縮小)	2つ折り製本	普通紙	2	表紙及び背表紙にタイトル入り																														
製本3	A1判	A4判折込み製本	普通紙	1	黒表紙銀文字製本																														
<p>1.6.2 [置換] 法定検査</p> <p>1.6.4 [追補] 部分使用</p>	<p>a. 共仕[1.6.2]を、次に読み替える。 (a)建築基準法第7条から同法7条の4までに定められる検査その他設計図書等に定める法令上必要とされる関係機関による検査のうち、発注者が申請者となっているものの検査に先立つ適切な時期に、工事の内容が設計図書等(計画変更確認申請ほか、変更の協議や申請が行われた場合は、確認済みの図書を含む)のとおり実施されていることを確認して、監理者の検査を受ける。 (b)(a)の検査に合格したのち、監理者の立会いのもとに発注者の検査を求め、これを受ける。 (c)発注者が受ける法定検査に監理者とともに立ち会い、検査の記録を作成する。また、検査の申請に必要な工事関連書類作成及び資料提供のほか、検査に必要な資機材や労務を提供するなど受検に協力する。 (d)(a)の検査又は法定検査に合格しないときは、修繕、改造その他必要な処置を行う。これらの処置への対応は、工事約款の定めによる。</p> <p>a. 工事中に工事事務の一部を発注者が使用する「部分使用」がある場合は、当該部分について、共仕[1.5.5]に定める監理者による施工の検査及び1.6.1項に準じた諸検査を受ける。部分使用に関して必要な官公署その他への手続については、発注者に協力する。</p>	<p>1.7.3 [付加] 保安に関する資料</p>	<p>a. 共仕[1.7.3(a)(1)~(6)]に示すほか、保安に関する資料として、次のものを監理者の確認を受けたのち、発注者に提出する。 *保証書(原本) *保守及び緊急連絡先 *機器類操作点検等取扱い引継ぎ書 *監理者の指示する機器完成図書 *地中仮設残存物記録 *設備関係測定報告書 ・保安マニュアル ・長期修繕計画書 ・ b. 保安に関する資料の部数等は、「提出書類作成要領」による。 c. 次に該当する建築物部位、設備、部品等については、建築物等の利用、維持管理、保安に関する説明書及び機器取扱い説明書を作成し、監理者の確認を受けたのち発注者に提出し、発注者又は発注者の指定する建物管理者等に対して取扱い説明を行う。取扱い説明が完了した場合は、その記録を添えて監理者に報告する。 1)特殊な操作を必要とするもの 2)特殊な手入れを必要とするもの 3)使用上、保安上特別な注意を必要とするもの 4)専門工事業者への保安管理委託を必要とするもの 5)定期的に状態や機能を点検する必要があるもの</p>																																
<p>着工</p> <p>竣工</p> <p>監理</p> <p>施工</p>					<p>日建設計</p>	<p>岩手県立大学 自動火災報知設備更新工事</p> <p>(電) (通し番号 3) 1 - 3</p> <p>改修特記仕様書(3)</p> <p>No. J-180869 -A</p>																													

1	特記仕様書(4)	-	
3.3 電気設備工事特記仕様書			第16節 表示工事 追補
第1編 一般共通事項 (電気)	2.16.1 一般事項	a.表示工事施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。	改修仕様 第12節 インサート及びアンカー
第2章 共通工事 (電気)	2.16.2 機器類の表示	a.機器類には、機器番号・機器名称・主たる仕様を表示する。 b.表示位置はメンテナンス通路から見やすい位置とし、判別しやすい大ききで表示する。	2.12.3 a.埋込み配管等の探査の範囲及び方法 ○穿孔部を非破壊検査することとするが、詳細は監理者の指示による b.あと施工アンカーの性能試験及び施工後確認試験 ○監理者と協議する
第1節 仮設工事	2.16.3 機器類の表示	a.盤類には、盤記号・盤名称を表示する。 b.盤扉裏には、受注者銘板・締付け確認票を貼り付ける。 c.配線の導体接続用端子台には、規定の締付け後にマーキングを行い、締付け確認票に日付と氏名を記入する。	2.12.4 追補 a.工事の施工は、着手に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 b.既存のインサート及びアンカーボルトを利用する場合の条件 引張強度の確認試験(性能確認試験、施工後確認試験) ○確認試験を行う ・確認試験を行わない 1)引張強度試験の方法は、非破壊試験とし、試験本数は全本数の0.5%又は3本以上とする。 2)金属拡張アンカーボルトは、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。 3)接着系アンカーは、接着剤の硬化時間を考慮して所定の強度が発現してから、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。
第10節 インサート	2.10.2 材料 [付加]	a.アンカー金物の品質は次による。 1)基礎ボルトは、JIS B 1178による。 2)インサート金物は、鋼製又は鉄鋼製で錆止め処理を施したものとす。ただし、暗きよ(床下ビット、トレンチ等)、多湿箇所、免震層等ではステンレス製とする。 3)水湿及び腐食のおそれのある部分に使用するアンカー金物は、ステンレス製(SUS304又はSUS316)又は溶融亜鉛めっき(付着量350g/㎡以上)を施したものとす。	2.12.5 追補 a.アンカーの耐震計算 機器の固定 ※0.1kN以内の機器を除き、原則として工事対象機器は、すべて耐震計算を行う。
第11節 あと施工アンカー 追補	2.11.1 あと施工アンカー	a.原則としてあと施工アンカーは使用しない。 b.配管、ケーブルラック、機器等の天井吊り下げ支持はインサートが基本であるが、設計変更、納まり上インサートが使用できないなどやむを得ない場合にのみあと施工アンカーの使用を認める。 c.工事の施工は、着手に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。耐震計算書と施工を照合し検査記録書を作成し監理者に提出する。 d.あと施工アンカーの性能試験及び施工後確認試験は、監理者と協議する。 e.あと施工アンカーの施工管理には、工事内容に相応した施工の指導を行う施工管理技術者を置く。受注者は、日本建築あと施工アンカー協会の資格を有する者か、又はあと施工アンカーについて十分習熟し、かつ十分な技能及び経験を有する者が施工を行う。 あと施工アンカー施工における有資格者の指定は、次による。 ※指定あり ・指定なし 施工管理技術者 ※あと施工アンカー技術管理士 ・あと施工アンカー主任技士 技術者 ※第1種あと施工アンカー施工士 ・特2種あと施工アンカー施工士 ・第2種あと施工アンカー施工士 f.あと施工アンカーの適用は以下のとおりとする。 1)あと施工アンカーの選定は、日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版、空気調和・衛生工学会「建築設備あと施工アンカー SHASE-S 012」に準拠するとともに、日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)の認証品を使用する。また、選定したあと施工アンカー製造者による実技講習会を開催し、受注者は使用するあと施工アンカーの製品知識と十分な技能を習得し施工する。 2)地震力については、「工事概要書 2-3 総合耐震クライテリア」に準じて算定したものとす。 3)アンカー金物の最大耐力が、定着するコンクリート躯体のコーン破壊で決まる場合の安全率は、長期荷重:3 短期荷重:2 以上とする。また、許容引張荷重の計算では、第一種、第二種軽量コンクリートが使用される場合は、一割程度裕度ある選定を行う。 4)金属拡張あと施工アンカーはおねじ型とし、スリーブ打込み式、ウェッジ式とする。やむを得ずねじ型を使用する場合は、内部コーン打込み式とし、支持重量は20kg以下を原則とする。ボルト部は、JIS B 3101・JIS B 3112又はこれらと同等以上の品質を有するものとする。金属系アンカーボルトの定着部(スリーブ)は、JIS B 3101・JIS B 3123又はこれらと同等以上の品質を有するものとする。 5)接着系あと施工アンカーの固着剤はカプセル方式を原則とし、耐薬品性・耐熱性等の施工条件を考慮して選定する。ボルト部は、JIS B 3101・JIS B 3112又はJIS B 4051による。固着剤は、エポキシ樹脂・ポリアスチレン樹脂又はセメント系とする。また、接着系アンカーは配管・ダクト・機器等の天井吊り下げ用として使用してはならない。 6)共通支持部材の吊りには、あと施工アンカーを使用しないことを原則とする。 7)雨掛りとなるあと施工アンカー部分では、取り合い部分にシーリングを行い、止水処理を行う。 8)防水保護コンクリートへのあと施工アンカーは行わない。やむを得ずあと施工アンカーとする場合は、防水層・鉄筋・埋設配管類に対し損傷影響がない旨の資料を作成し、監理者の承認を受ける。 9)あと施工アンカーは、梁底に打ち込むことを禁止する。 10)そのほか、改修仕様[第1編 第2章 第12節 インサート及びアンカー]に準拠して施工を行う。 11)原則以外のことを行う場合は、監理者と協議する。 g.あと施工アンカーを使用する場所における埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、場所ごとに監理者と協議する。	改修仕様 第1編 一般共通事項 (電気) 改修仕様 第2章 共通工事 (電気) 改修仕様 第2節 仮設工事 2.2.4 a.工事用電力 ※既存設備使用(電力量計の設置 ○有(本工事で取付け、計量) ・無) ・発電機等使用(詳細は設計図による) 2.2.7 監理者事務所 a.監理者事務所の設置 ・既存建築物内の一部を使用 ○構内に設置 ・構外に設置 ・その他() b.監理者事務所の規模 ・10㎡程度 ○20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度 ・㎡程度 ○上記のほかは会議室(受注者等と共用で可、㎡程度) ・上記のほかは休憩室、更衣室(㎡程度) c.監理者事務所の内装仕上げは、次の程度とする。 部位等 仕上げ 床 ビニル床シート張り又はタイルカーペット 壁 合成樹脂エマルションペイント塗り、壁紙張り又は プリントせつこうボード 天井 化粧せつこうボード又はロックウール化粧吸音板 d.監理者事務所の備品等 1)監理者事務所には、照明・電力・給排水衛生・冷暖房等の設備を設け、次の備品を置く。 数量は、監理者の指示による。 机、いす、会議テーブル、書籍、見本棚、衣類ロッカー、ゴム長靴、雨がっぱ、安全帯、携帯灯具、消火器、温度計、掛時計、ごみ箱、白板、給茶器、図面架、電話、デジタルカメラ(広角撮影が可能なズーム付きタイプ)、カラー複合機(プリンタ、コピー、スキャナ、ファクシミリ)の機能を備え、A3判まで対応可能なもの、液晶プロジェクター、映写スクリーン、シュレッダー、事務用品一式 2)監理者事務所には、次のOA環境を備える。 イ、原則として光回線2回線(プロバイダー加入を含む)を引き込むものとする。そのうちの1回線は、固定IPアドレスの回線とする。(例:0N光「フレッツ」IP1・ファミリタイプ程度) 3)監理者事務所は、光熱水料・回線使用料・消耗品補充及び清掃費用は、受注者の負担とする。 e.工事名称等の表示 1)工事名称等の表示 ※あり ・なし 2)「あり」の場合は、次による。 イ、仮囲いや外部足場外圍に、関係法令に定める掲示物のほか、監理者の指示する工事名称・発注者、設計監理者等の表示を設ける。その他の看板等の掲示物については、監理者と協議する。掲示すべき表示のうち、「設計監理者看板」として次を支給する。 ※角型シート[900角](※1枚 ・枚) ※短冊形シート[11,000×H4,000](※3枚 ・枚) ・その他()
第12節 シックハウス対応 追補	2.12.1 室内空気質対応に 関連する法令・基準の適用	a.法令・基準の適用 ※建築基準法 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律(住宅品質法) ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル衛生管理法) ・学校環境衛生の基準(文部科学省)	第8節 塗装工事 2.8.1 一般事項 a.金属管の塗装箇所 ○露出部分(屋上、屋外含む) ・隠ぺい部分 ・その他()
2.12.4 塗料	a.屋内に用いる塗料は、水性系でホルムアルデヒドの放散量等級が☆☆☆☆のものとする。またトルエン・キシレン・エチルベンゼンは放散しないか、放散が極めて少ないものとする。やむを得ず、これらの物質を含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に乾らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。	改修仕様 第10節 スリーブ工事 2.10.1 付加 a.材料・形式等 1)工事の着手に先立ち建・電・機との共通の施工計画書、施工図を作成し、監理者の承認を受ける。 2)スリーブ及び止水材等の仕様は、施工部位、工種により適切な材料・形状の物を使用する。	改修仕様 第11節 はつり工事 2.11.2 非破壊調査 a.コンクリート床、壁の穴開けを行う際は、次による。 ※放射線透過検査 ・その他()
2.12.5 接着剤	a.各所に用いる接着剤は、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含まないものとする。また接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル・フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。ただし、設計図又は特仕の指定によりエポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、これらの物質の使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に乾らし期間を設けるなど改善措置を講ずる。	2.11.3 穴開け及び補修 a.貫通箇所、口径等 ○設計図による b.配管貫通部処理方法 ※区画貫通部は、法に準拠した処置を行う。その他の貫通部は、ロックウール保温材で充填し、脱落防止の処置を施す。	改修仕様 第12節 インサート及びアンカー 2.12.3 a.埋込み配管等の探査の範囲及び方法 ○穿孔部を非破壊検査することとするが、詳細は監理者の指示による b.あと施工アンカーの性能試験及び施工後確認試験 ○監理者と協議する
2.12.6 施工中の措置	a.施工中、通風・換気(機械換気等を含む)を行い、ホルムアルデヒド・VOCの放散を促進させる。また、必要によりVOC低減のため適切な改善措置を講ずる。	2.11.4 a.はつりを行う箇所及びはつり深さ ※設計図による	2.12.4 追補 a.工事の施工は、着手に先立ち施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 b.既存のインサート及びアンカーボルトを利用する場合の条件 引張強度の確認試験(性能確認試験、施工後確認試験) ○確認試験を行う ・確認試験を行わない 1)引張強度試験の方法は、非破壊試験とし、試験本数は全本数の0.5%又は3本以上とする。 2)金属拡張アンカーボルトは、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。 3)接着系アンカーは、接着剤の硬化時間を考慮して所定の強度が発現してから、設計用引張強度に等しい荷重まで加力試験し、抜け出し等の変形が見られなければ合格とする。
2.12.7 内装施工後の室内空気質測定	a.測定の要否 ・行う ※行わない(建築工事で行う測定に協力する) 測定後、速やかにその値を記載した報告書を管理者に提出する。		
着工			
竣工			
監理			
施工			
			日建設計
			岩手県立大学 自動火災報知設備更新工事
			(通し番号 4) 1 - 4
			改修特記仕様書(4)
			No. J-180869 -A

Table with columns for equipment name, model, and notes. Includes items like 'GR型受信機', '非常放送設備', '表示灯', 'フラット発信機', '消火栓始動押印', '差動式スポット型感知器', '光電式分層型感知器', 'ガス漏れ中継器', '自動閉鎖装置', '圧電プザ', '自動閉鎖装置', '電気送', '運動中継器', '屋内消火栓制御器', 'ガス消火設備制御器', '配管配線', 'ケーブル配線', 'ジョイントボックス', '配管ボックス', '配管引き出し', 'ケーブルラック', '警戒区域番号', '警戒区域番号', '制御番号', '制御番号', '制御番号', '表示番号'.

註記

【システム概要】
(1) 総合操作盤を常時人がいる防災監視場所を設置し、建物内の防災設備の集中監視及び制御を行う。
総合操作盤はGR型受信機、防災I/F盤、防災監視器等で構成される。
1 GR型受信機
・受信機に分散方式のGR型システムを採用し、機能の分散による安全性の向上を図る。
・建物内に分散設置された防災主中継器は、受信機から切り離された場合においても独立して自ブロック内の監視/制御制御を行う。
・主幹線は断熱光ファイバーケーブルの2重ループ配線とし、断線時においてもループバック機能により防災システムの機能を維持する。
1) 種別 複合GR型受信機 警報方式 分散方式
自動試験機能付 アナログ式
2) 形式 卓型
3) 主電源 AC・GC100V予備電源内蔵
4) 系統数 4590アドレス(255アドレス×18系統)
5) 表示方式
a) デジタル表示部 火報 8桁×2窓
ガス漏れ 8桁×2窓
防排煙 8桁×2窓
防排煙 表示部 8桁×2窓
・漢字、カタ、英数字メッセージ
・警報表示、故障表示、他
6) 主警報方式 電子ブザー、スピーカ音声合成警報(32種)
7) 操作方式 カラー液晶表示部タッチパネル、簡易式スイッチ、他
8) 記録方式 内蔵漢字プリンター印字、内部メモリー(2000件)
自動試験結果履歴(30件)
9) 通話方式 保守電話(3者通話可能)
10) 主幹線 光ケーブル対応型(別途光伝送機必要)
11) 機能
a) 制御部ロック機能
・設定により設備機能等を停止/制御の禁止を自動的に行う
・設定により設備機能等を停止/制御の禁止を自動的に行う
b) インターデータ管理機能
・各種警報、操作履歴、自動試験結果の呼出し表示及び印字
c) 画面消灯機能
・正常時自動画面消灯、省エネ機能
d) 自己診断試験機能(手動の自動試験)
・感知器試験、電池試験、顧客データチェック
試験終了後、液晶画面にて試験結果を表示
e) 感知器切れ検出機能
・自動試験時に故障判定を実施
・自動試験時に故障判定を実施
f) 感度・警報時間変更機能
・感知器等の感度及び警報時間を個別変更
g) ブロック感度切替機能
・各ブロックの日～日の曜日毎に、24時間中の最小1時間毎に感度感度/特別感度への切替スケジュール設定が可能
h) 対応ガイダンス表示機能
・液晶画面の警報画面にて、火災/非火災時の対応ガイダンスを表示
・液晶画面の異常/故障画面にて、異常/故障内容毎の対応ガイダンスを表示
1) 訓練機能
・火災シミュレーション(火災/非火災時にとるべく行動を簡易形式で学習)
j) トレンドグラフ表示機能
・全てのアナログ感知器を任意に選択し表示
過去5分間/24時間/30日間の期間履歴を切り替えて表示
k) 操作スイッチ表示機能
・液晶画面の操作スイッチリストに定位しないSWを表示
l) 防排煙一括復帰制御機能
・作動中の復帰待機時のみ抽出し、復帰制御が可能
それらを全選択しての一括復帰制御も可能
m) 主幹線ループバック機能
・GR型受信機及び防災主中継器との通信不可能時、防災主中継器単独または防災主中継器間相互連動可能
n) バックアップ機能
・画面コピー機能(トレンド関係画面)
・液晶表示特定画面(トレンド関係画面)のみ対応
p) フレックスオートシステム
・専用中継器の接続によりゾーン警戒区域単位で感知器の自動試験を行い感知器増減の際もデータ変更作業は不要とする
q) 種別火災管理機能(最大16層まで)
・火災確定報、発信機入力等の火災管理を種別に行い地区音響装置(電鈴または非常放送設備)の制御(再鳴動、拡大鳴動)を最適に行う
12) 通信
a) 副受信機/入出力基取用 (RS485) 1ch
b) 防災ディスプレイネットワーク用 (Ethernet) 1ch
c) 非常電話用 (RS232C) 1ch
d) 防災I/O用 (RS232C) 1ch
13) 組込機器
a) 前番保安器(幹線用)

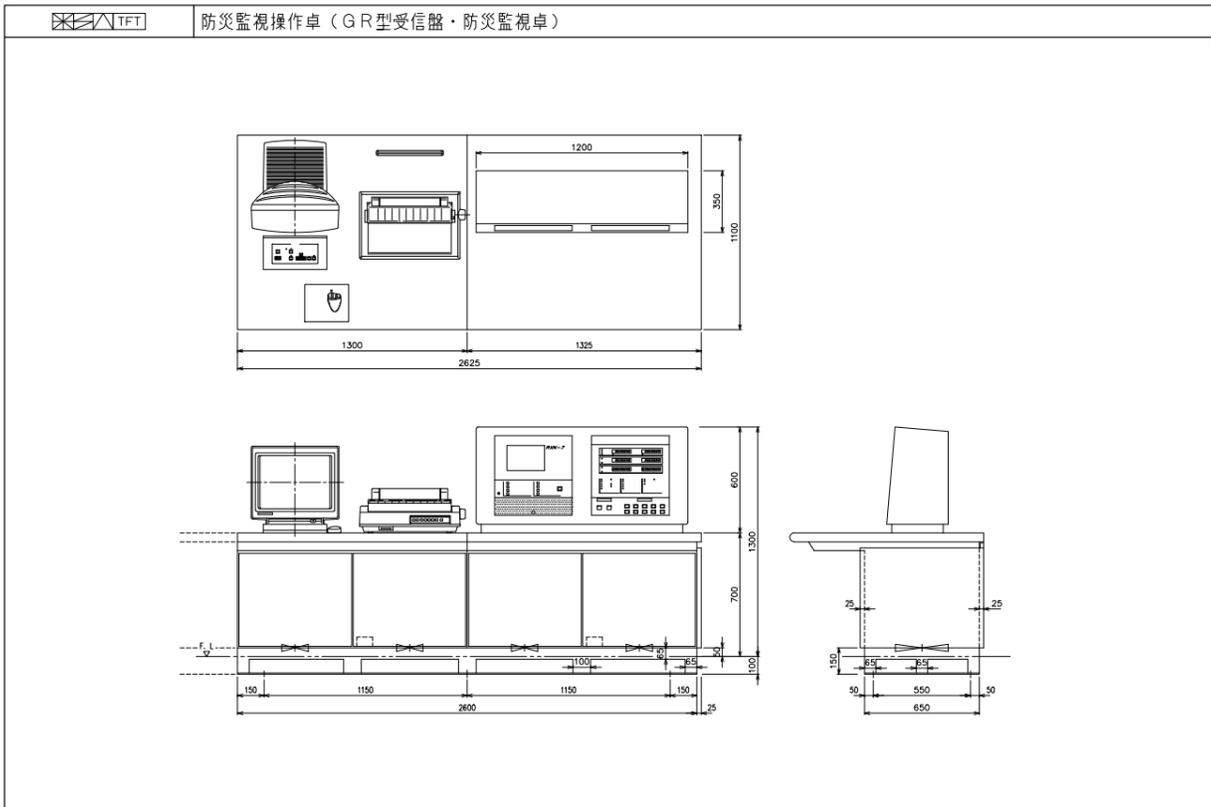
Table with columns for equipment name, model, and quantity. Includes items like '14) 目録内訳', '<共通機器>', '<学生ホール機>', '<本部機>', '<各室警報器機>', '<メディアセンターA機>', '<メディアセンターB機>', '<エネルギーセンター機>', '<ソフトウェア情報学部A機>', '<ソフトウェア情報学部B機>', '<ソフトウェア情報学部C機>', '<ソフトウェア情報学部D機>', '<ソフトウェア情報学部E機>', '<ソフトウェア情報学部F機>', '<ソフトウェア情報学部G機>', '<ソフトウェア情報学部H機>', '<ソフトウェア情報学部I機>', '<ソフトウェア情報学部J機>', '<ソフトウェア情報学部K機>', '<ソフトウェア情報学部L機>', '<ソフトウェア情報学部M機>', '<ソフトウェア情報学部N機>', '<ソフトウェア情報学部O機>', '<ソフトウェア情報学部P機>', '<ソフトウェア情報学部Q機>', '<ソフトウェア情報学部R機>', '<ソフトウェア情報学部S機>', '<ソフトウェア情報学部T機>', '<ソフトウェア情報学部U機>', '<ソフトウェア情報学部V機>', '<ソフトウェア情報学部W機>', '<ソフトウェア情報学部X機>', '<ソフトウェア情報学部Y機>', '<ソフトウェア情報学部Z機>'.

Table with columns for equipment name, model, and quantity. Includes items like '3 防災監視卓', '4 副受信機', '5 防災副受信機(既設躯体及びグラフィックパネル再利用)', '6 防災主中継器(躯体再利用)', '7 組込機器', '8 組込機器', '9 組込機器', '10) 目録数'.

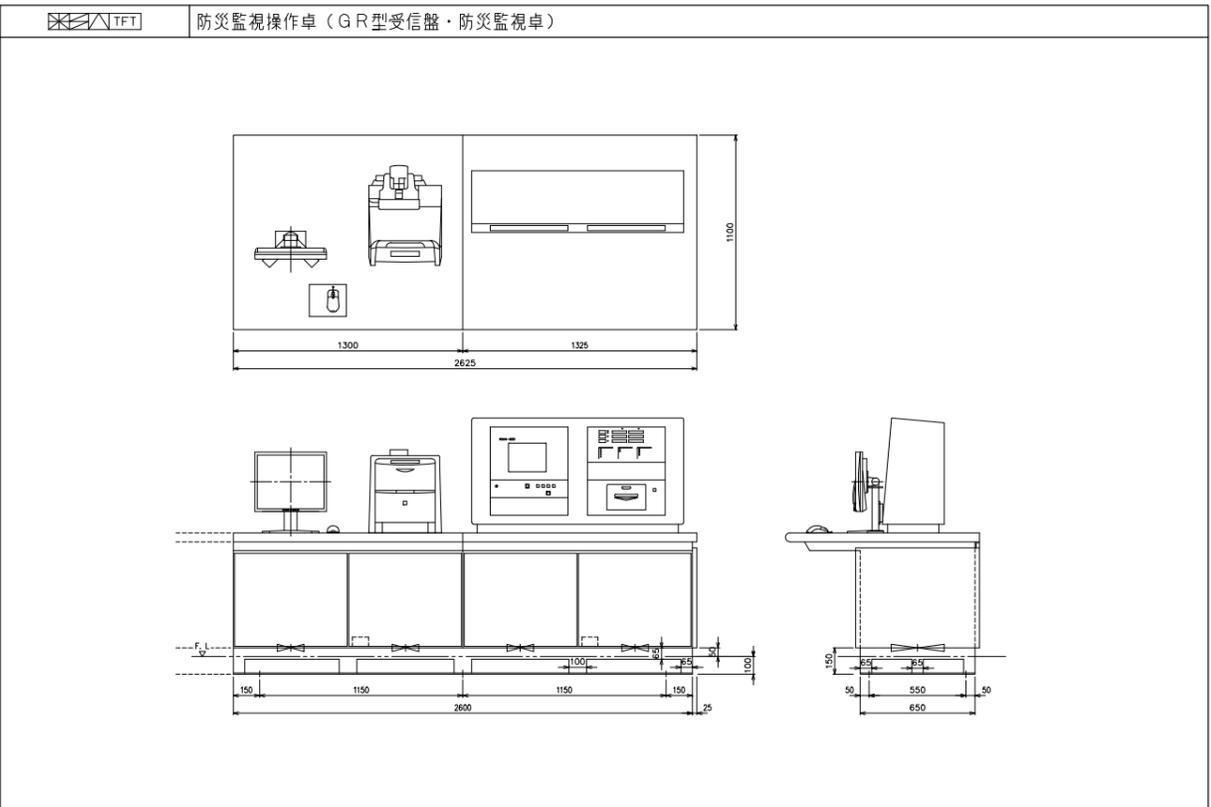
Table with columns for equipment name, model, and quantity. Includes items like '7 防災中継器', '8 防災中継器', '9 アナログ式感知器・自動試験機能付感知器・赤外線スポット感知器及び感知器用中継器は、1個に対して1警戒区域を設定できる。', '10 アナログ式感知器・自動試験機能付感知器・赤外線スポット感知器及び感知器用中継器の取付は、全てHP1, 2-1Pとする。', '11 地区音響は非常放送設備の音声警報によるものとする。', '12 入出力信号内訳', '13 運動制御器方式', '14 圧電プザは、防火シャッター降下鳴動とし、シャッターに内蔵するリミットスイッチにより降下後停止とする。(リミットスイッチ建築工事)', '15 本建物は下記についての申請を行う。', '16 総合操作盤に係る主電源(一次電源)は、全て非常電源回路から電源供給を受けるものとし、停電時に於いては概ね2時間以上電源供給を受ける。', '17 エレベーター用感知器の点検ボックスの設置において、以下の工事区分はエレベーター工事とする。', '18 構築収容箱は既設躯体再利用とし、収容機器のみ撤去後、新設する。', '19 フラット表示灯を使用する場合には、所轄消防と協議を行う事。', '20 組線の設備は、既設を示す。', '21 図中、(CR)はケーブルラック上取付を示す。', '22 図中、幹線の立上り/引下げの配管配線は、系統図参照とする。', '23 特記なき配管配線は下記とする。', '(注1) 本部種別受信機のグラフィックパネルは既設躯体使用とする。', '(注2) メディアセンターA層上平面図、ボールド天井部の10個は設置とする。', '(注3) 配管配線は既設躯体使用とするが、特記に示す以下の幹線ケーブルは更新する。(ただし既設HP主幹線は撤去する)
●GR型受信機、防災監視卓、I/F盤、防災主中継器類の取付'

Table with columns for equipment name, model, and quantity. Includes items like '1) 形式 卓型', '2) 主電源 AC・GC100V(UPSより供給)', '3) 表示方式 カラー液晶ディスプレイ', '4) サイズ 19型', '5) 解像度 1280×1024ドット', '6) 表示色 1:67万色フルカラー対応', '7) 画面枚数 600枚MAX', '8) 処理速度 約30万点MAX', '9) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '10) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '11) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '12) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '13) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '14) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '15) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '16) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '17) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '18) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '19) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '20) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '21) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '22) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '23) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '24) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '25) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '26) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '27) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '28) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '29) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '30) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '31) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '32) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '33) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '34) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '35) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '36) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '37) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '38) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '39) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '40) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '41) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '42) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '43) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '44) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '45) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '46) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '47) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '48) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '49) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '50) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '51) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '52) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '53) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '54) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '55) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '56) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '57) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '58) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '59) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '60) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '61) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '62) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '63) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '64) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '65) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '66) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '67) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '68) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '69) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '70) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '71) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '72) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '73) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '74) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '75) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '76) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '77) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '78) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '79) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '80) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '81) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '82) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '83) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '84) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '85) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '86) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '87) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '88) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '89) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '90) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '91) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '92) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '93) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '94) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '95) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '96) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '97) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '98) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '99) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)', '100) 表示制御項目 マウスおよびタッチパネル(オプション)'

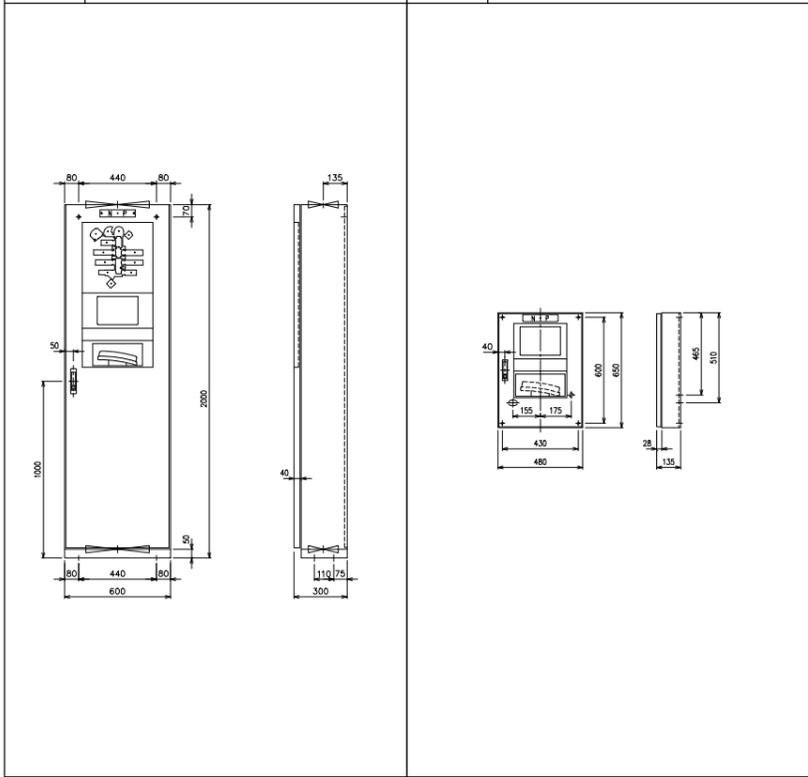
参考機器図(更新前)



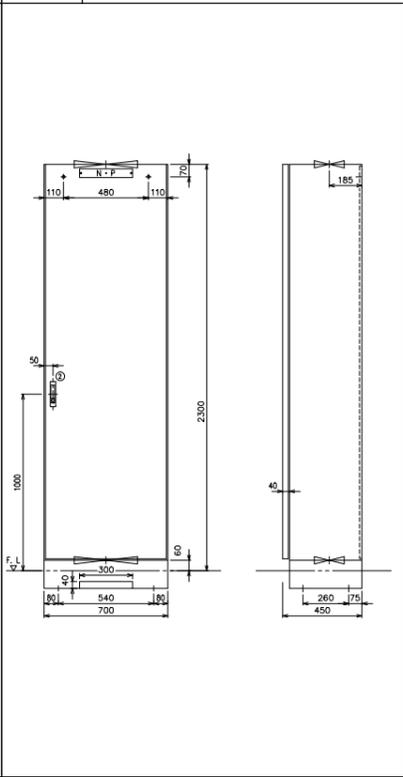
参考機器図(更新後)



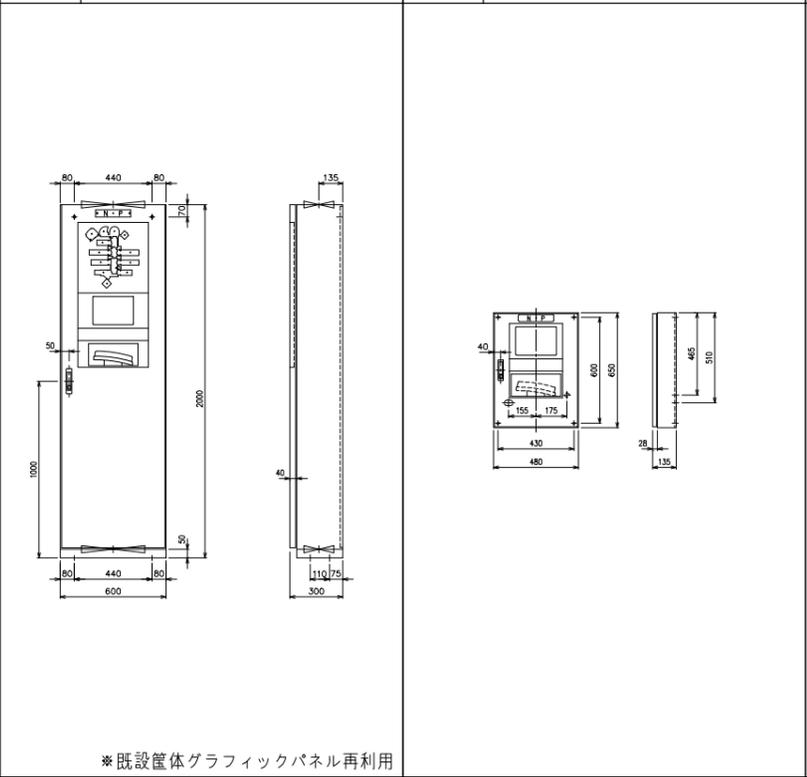
副受信機 (グラフィックパネル方式) 副受信機



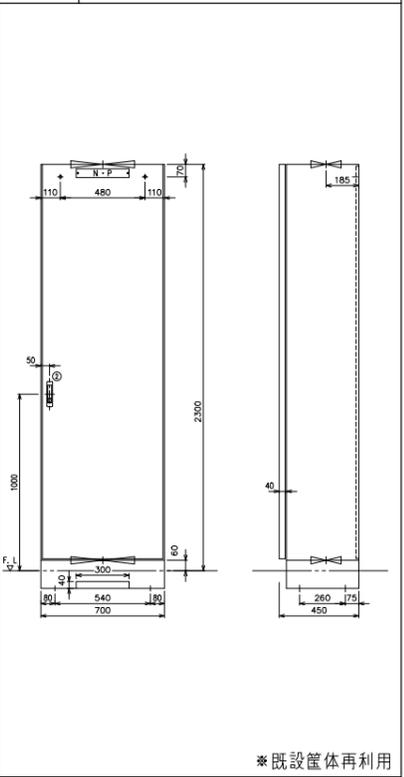
防災インターフェイス盤



副受信機 (グラフィックパネル方式) 副受信機



防災インターフェイス盤



*既設筐体グラフィックパネル再利用

*既設筐体再利用

*更新後の機器寸法及び外観は参考とする。

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

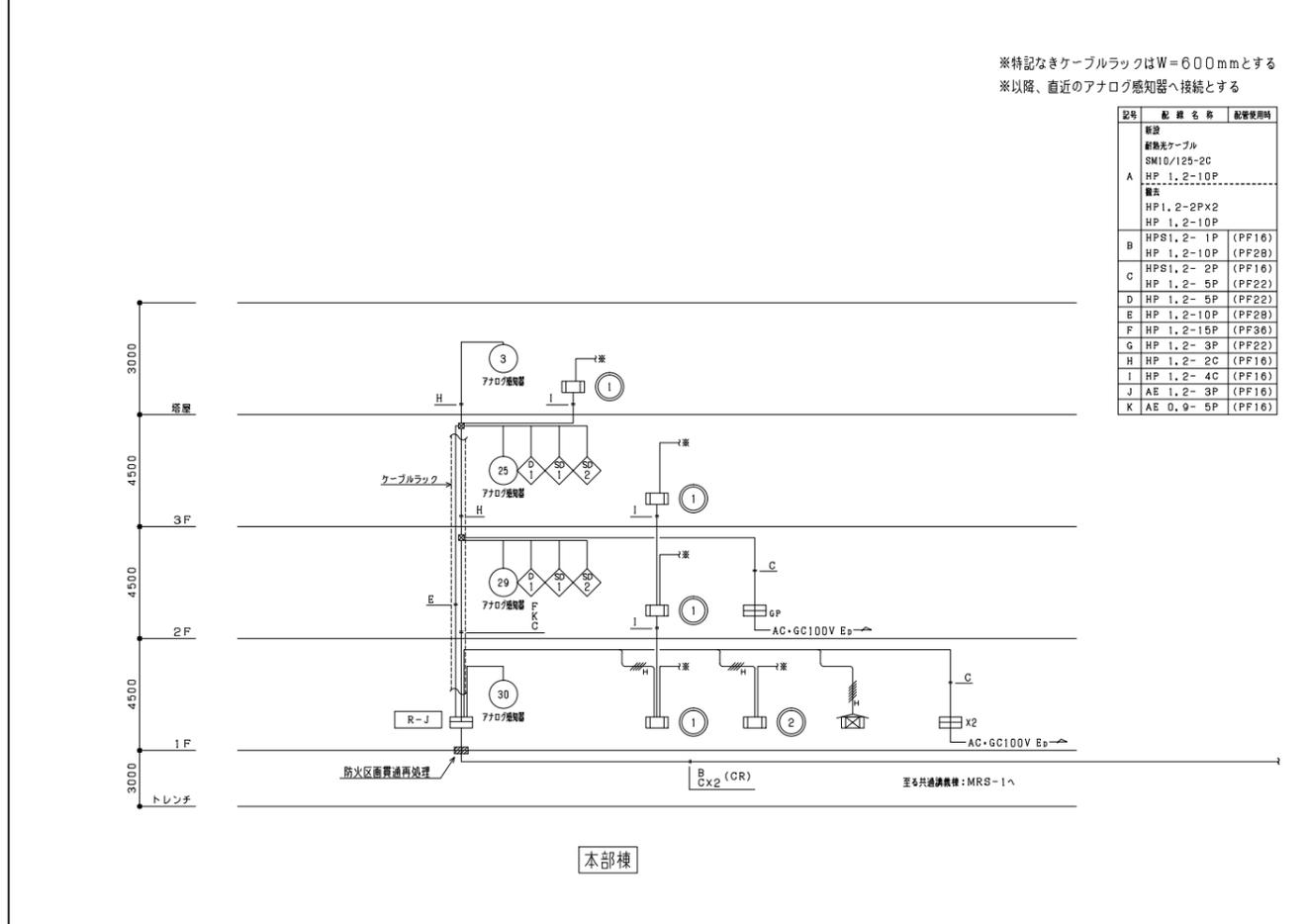
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

☎ (通し番号 6)
2-2

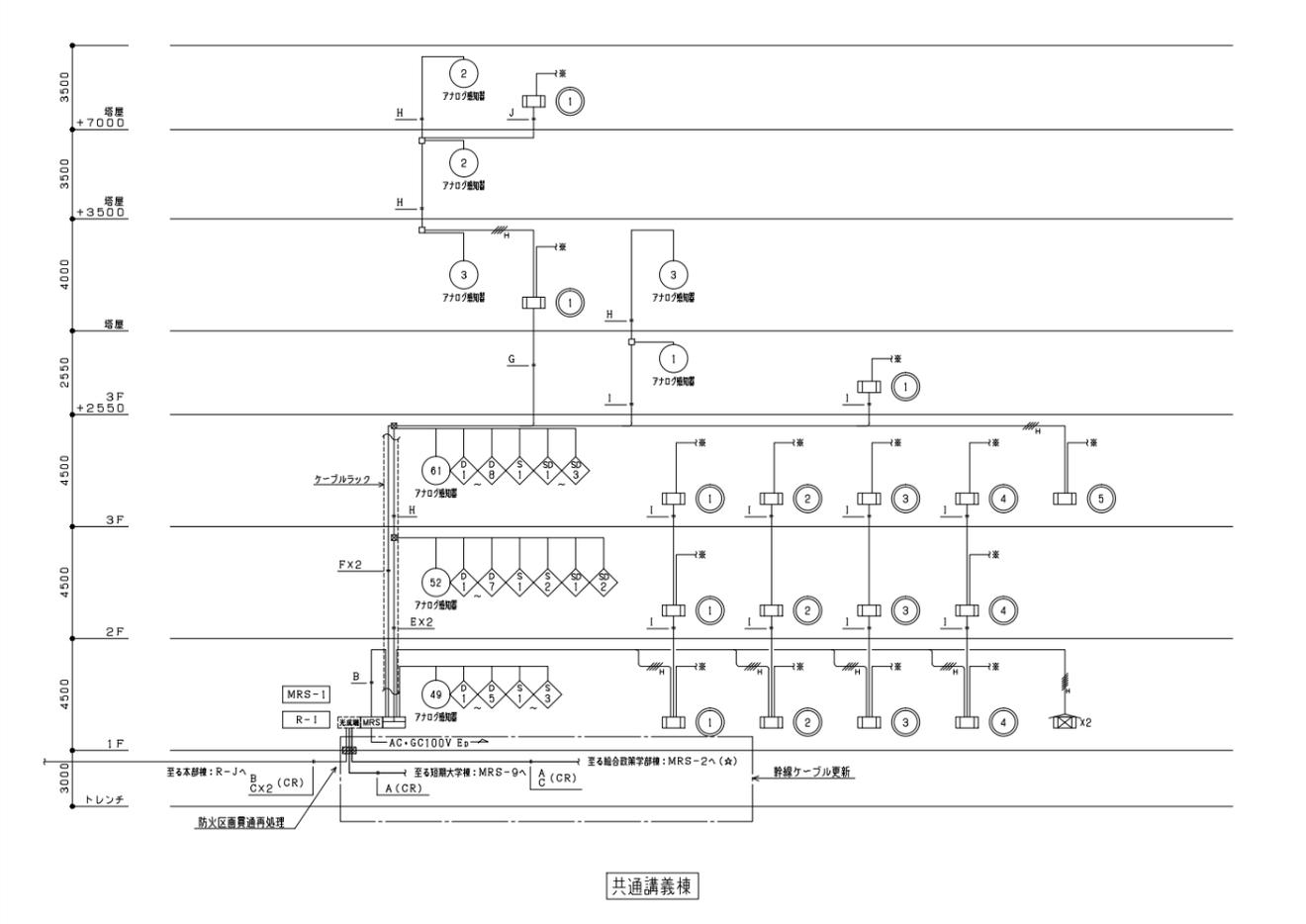
機器姿図 N/S

No. J-180869 A

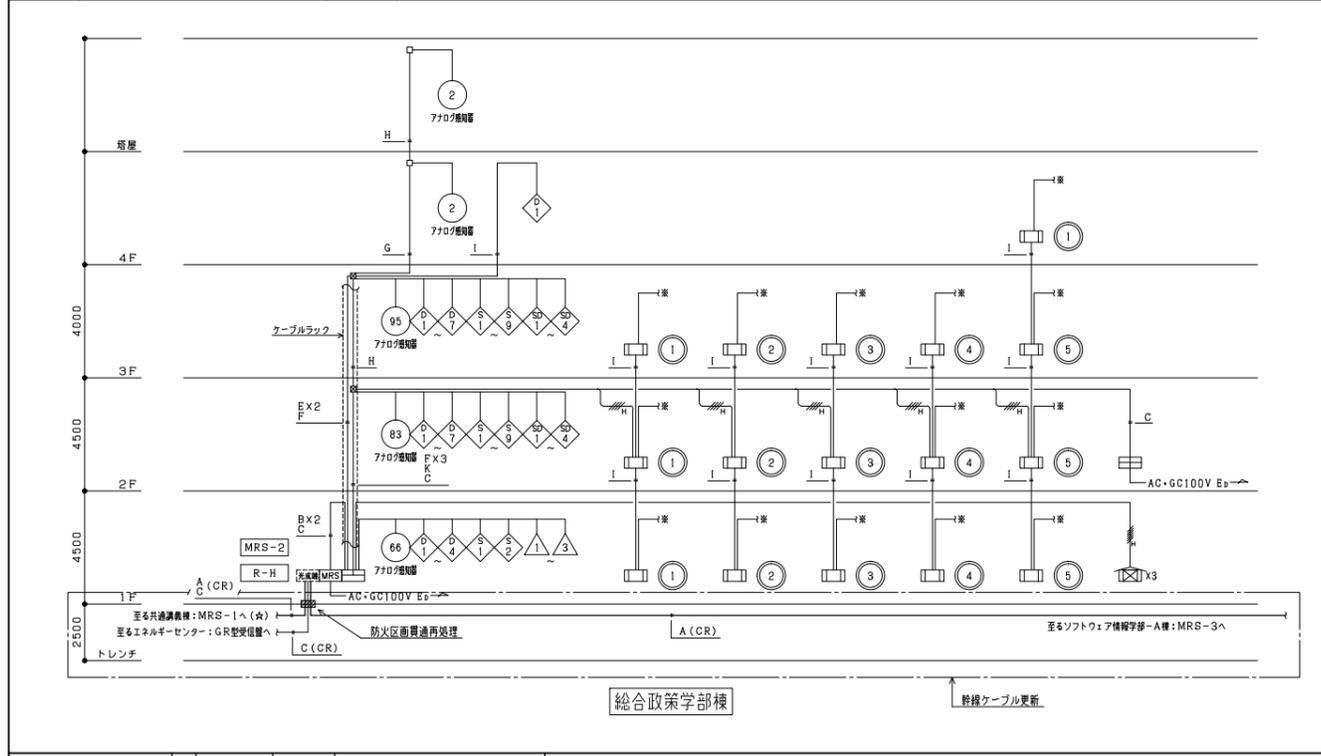
1 幹線系統図 (本部棟)



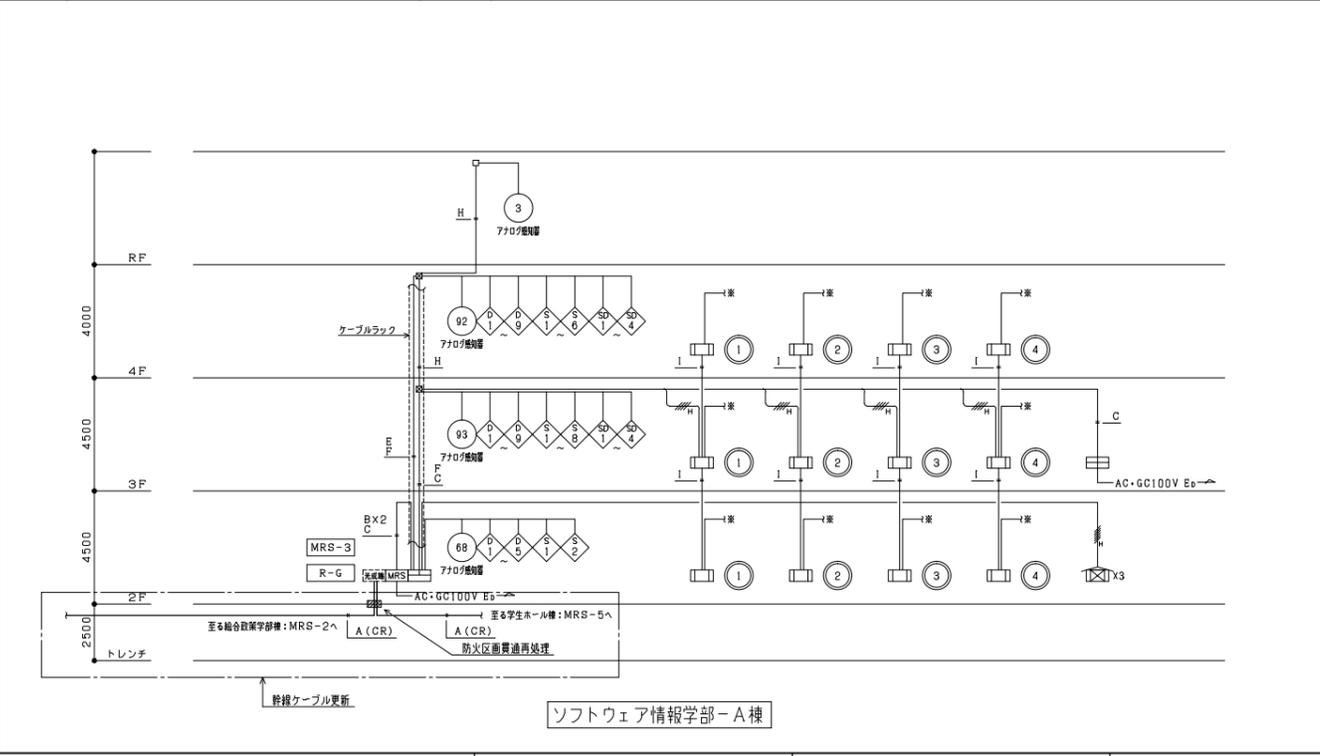
2 幹線系統図 (共通講義棟)



3 幹線系統図 (総合政策学部棟)



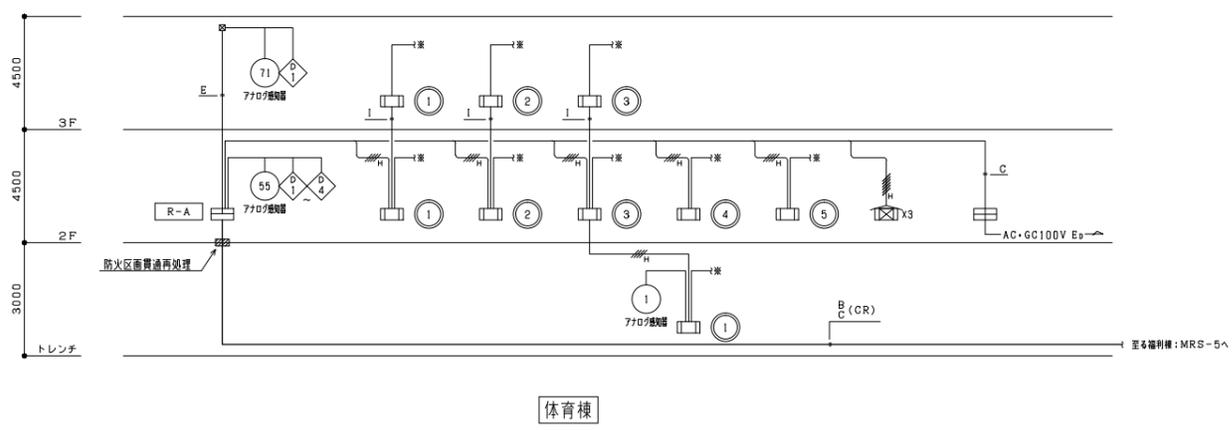
4 幹線系統図 (ソフトウェア情報学部A棟)



着工	
竣工	
監理	
施工	

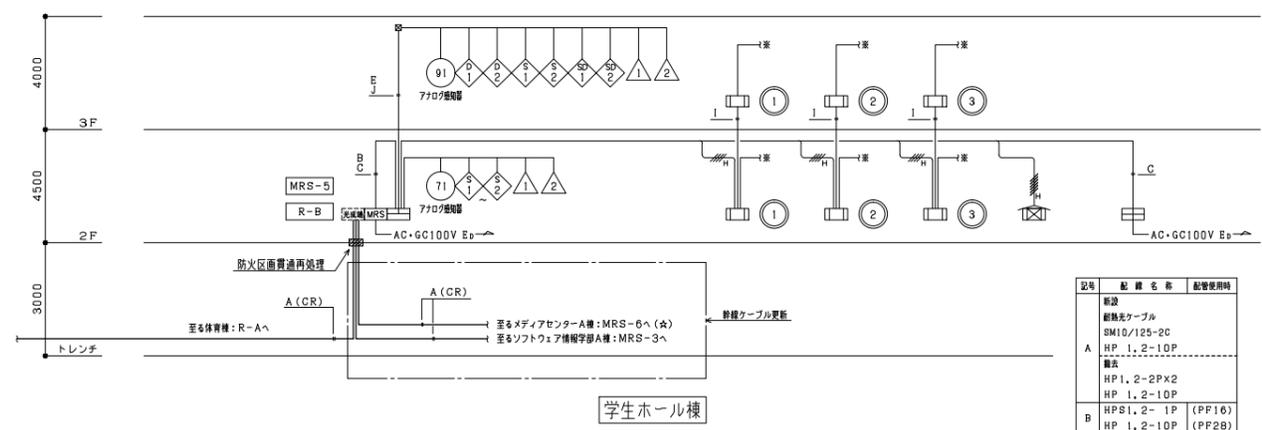
日建設計	岩手県立大学 自動火災報知設備更新工事	(通し番号 8) 2-4
	幹線系統図 (2)	N/S No. J-180869 A

1 幹線系統図 (体育棟) -



体育棟

2 幹線系統図 (学生ホール棟) -

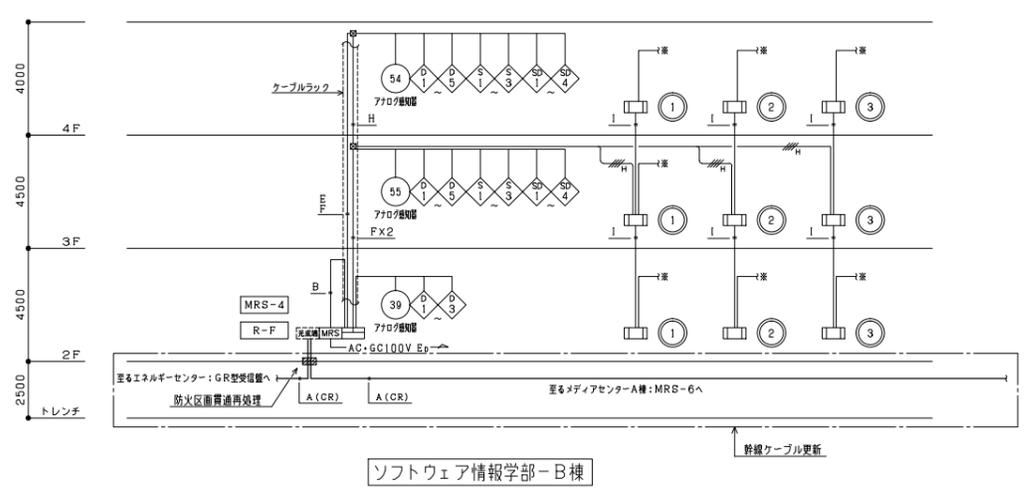


学生ホール棟

記号	配線名称	設備使用時
A	新設 耐火光ケーブル SM10/125-2C HP 1, 2-10P	
B	撤去 HP 1, 2-2PX2 HP 1, 2-10P	(PF16)
C	HP 1, 2-2P (PF16) HP 1, 2-5P (PF22)	
D	HP 1, 2-5P (PF22)	
E	HP 1, 2-10P (PF28)	
F	HP 1, 2-15P (PF36)	
G	HP 1, 2-3P (PF22)	
H	HP 1, 2-3C (PF16)	
I	HP 1, 2-4C (PF16)	
J	AE 1, 2-3P (PF16)	
K	AE 0, 9-5P (PF16)	

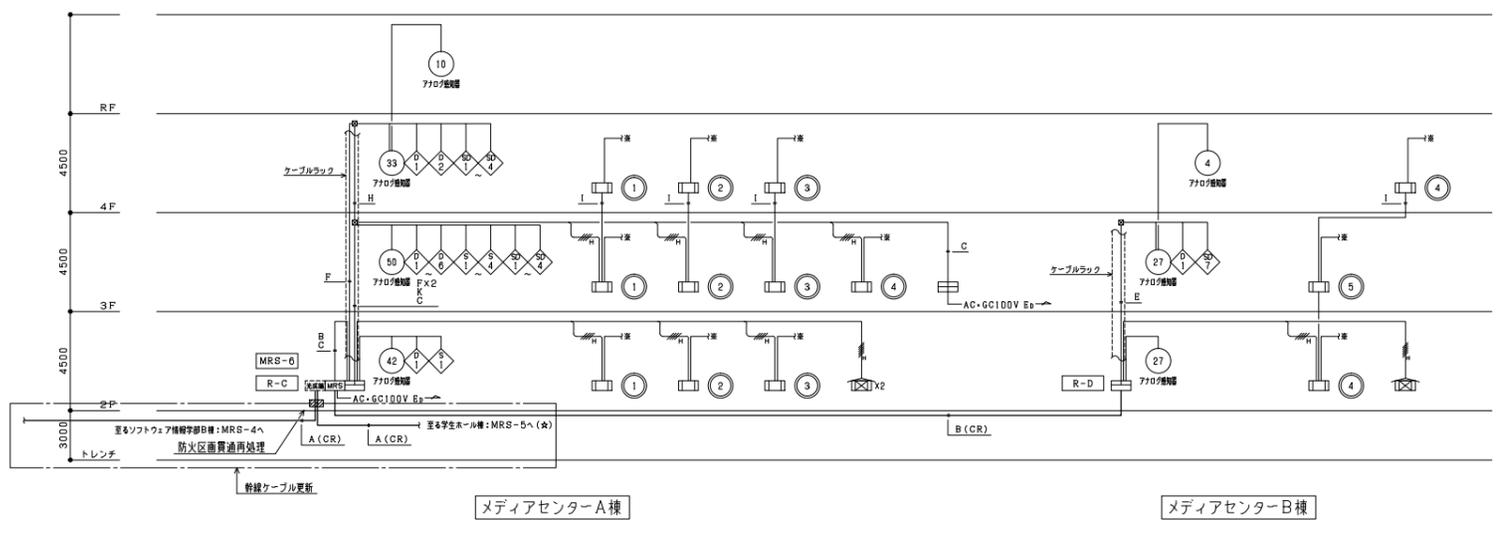
※以降、直近のアナログ感知器へ接続とする
※特記なきケーブルラックはW=600mmとする

3 幹線系統図 (ソフトウェア情報学部B棟) -



ソフトウェア情報学部B棟

4 幹線系統図 (メディアセンターA棟・B棟) -



メディアセンターA棟

メディアセンターB棟

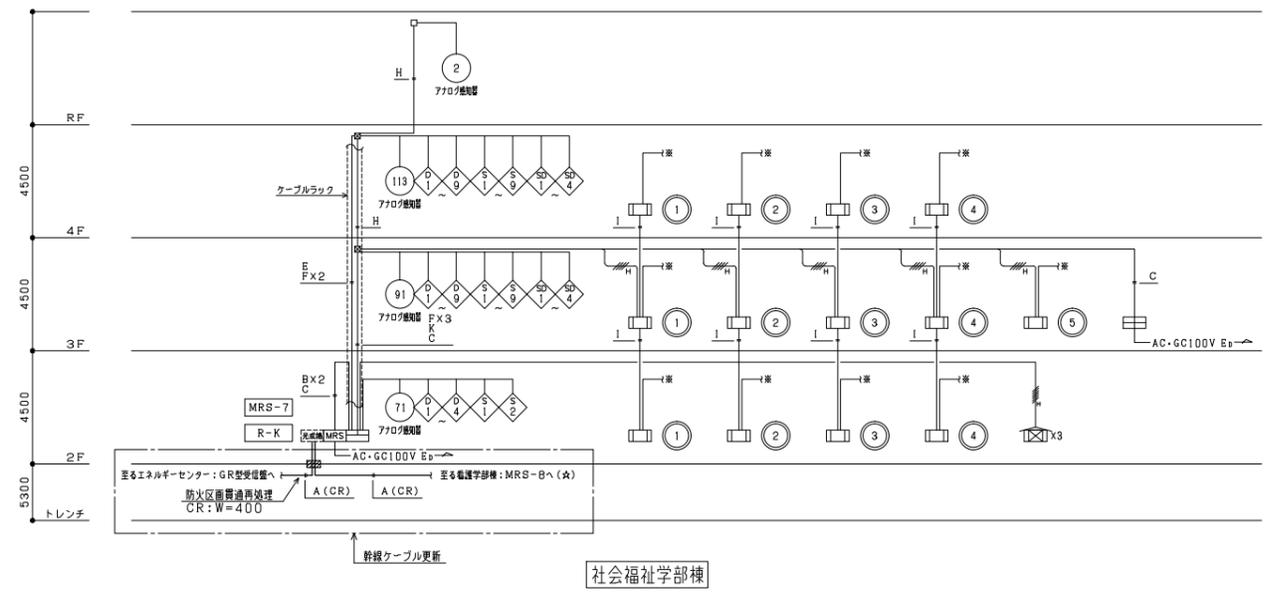
着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
幹線系統図(3)

電 (通し番号 9)
2-5
N/S No. J-180869 A

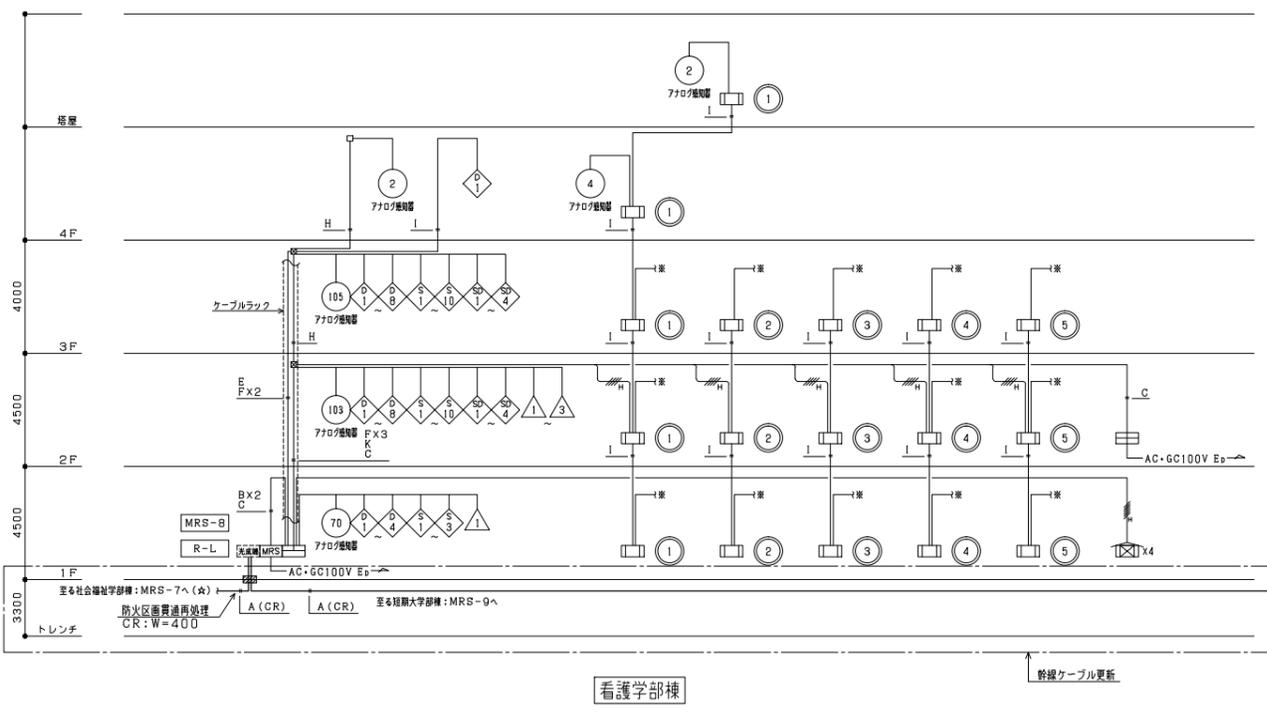
1 幹線系統図（社会福祉学部棟）



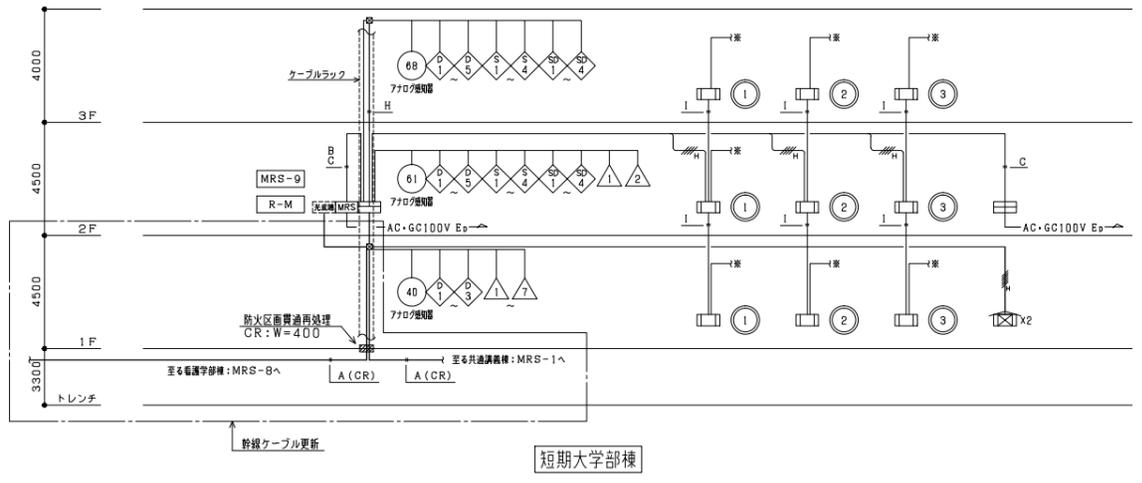
記号	配線名称	設備使用料
A	新設 幹線光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
	備注 HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPFS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPFS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

※以降、直近のアナログ感知器へ接続とする
 ※特記なきケーブルラックはW=600mmとする

2 幹線系統図（看護学部棟）



3 幹線系統図（短期大学部棟）

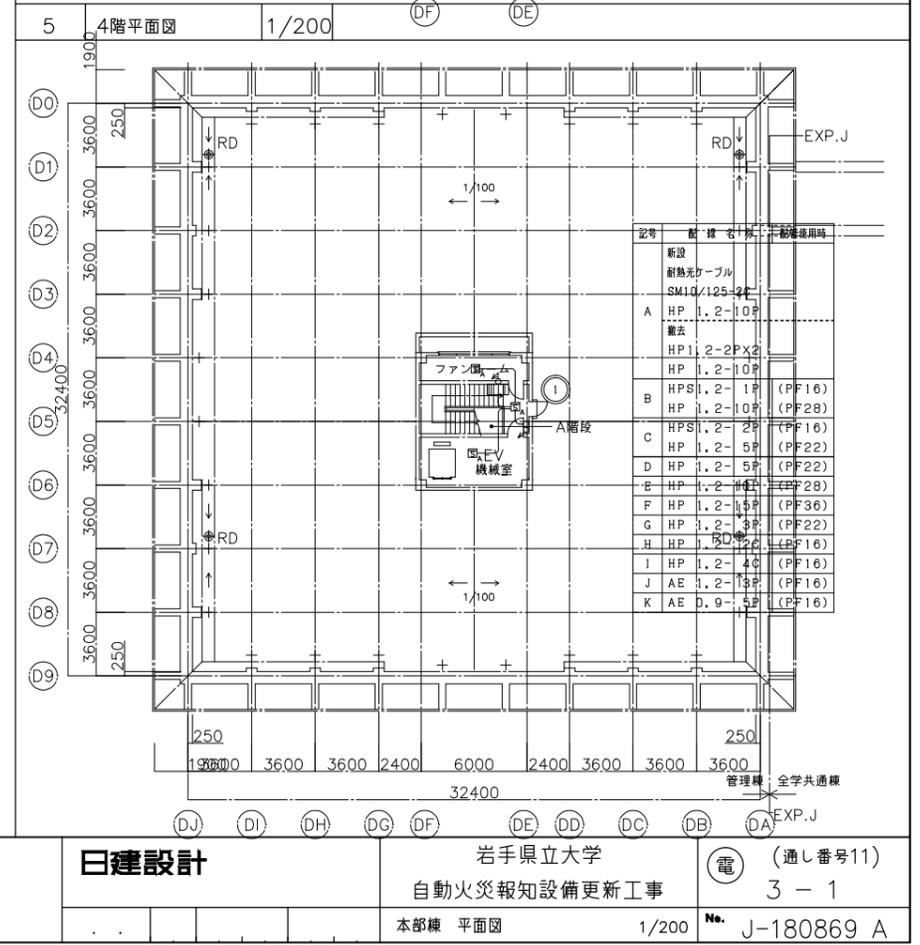
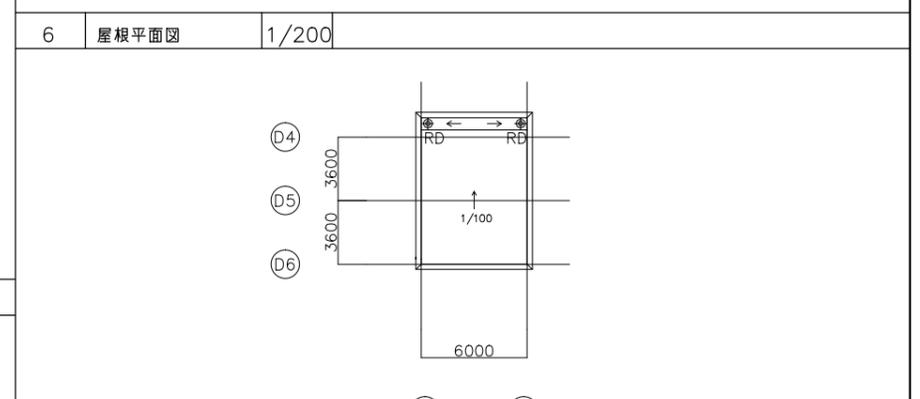
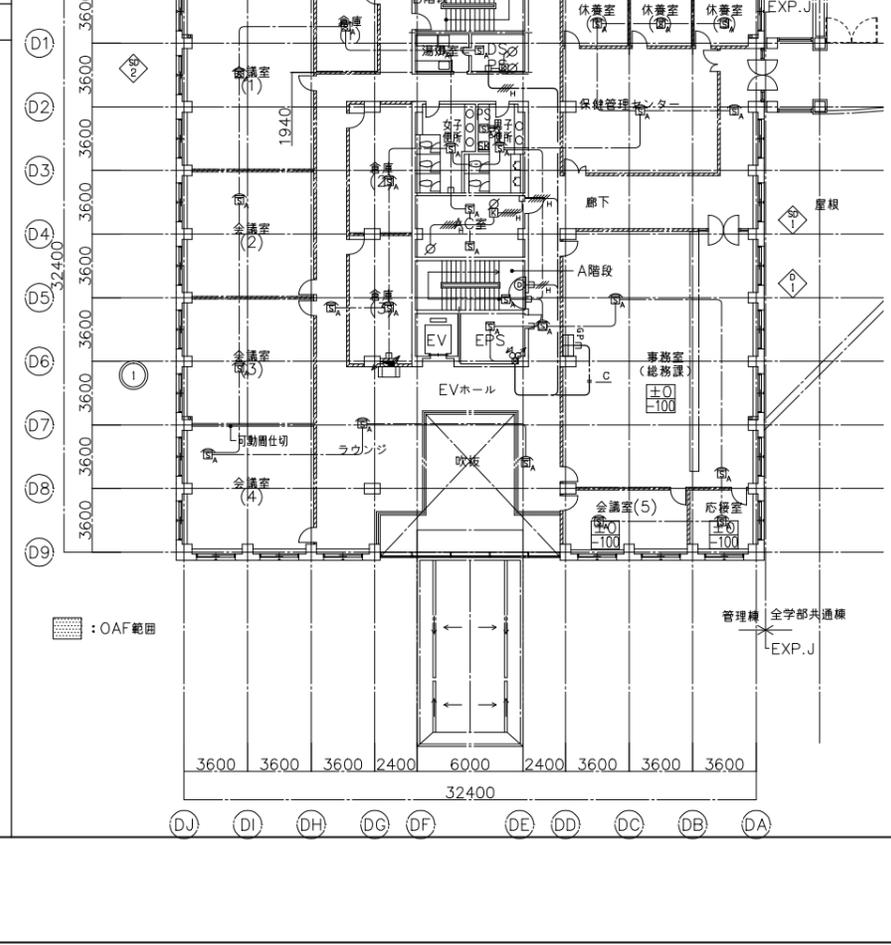
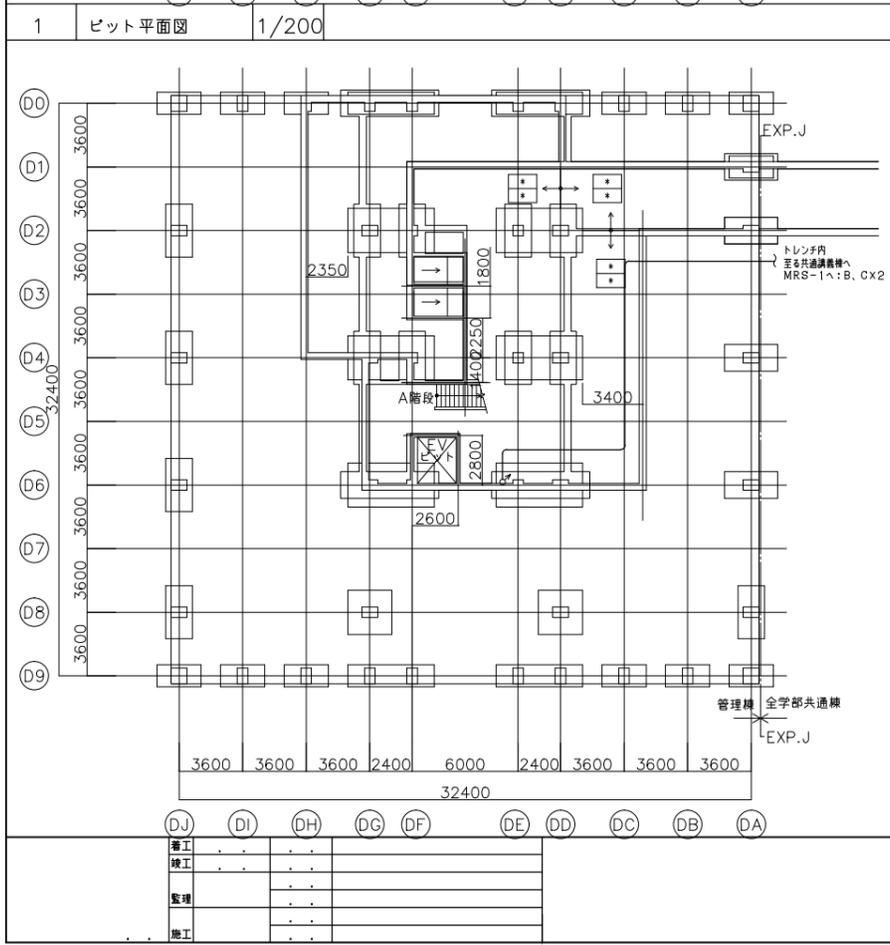
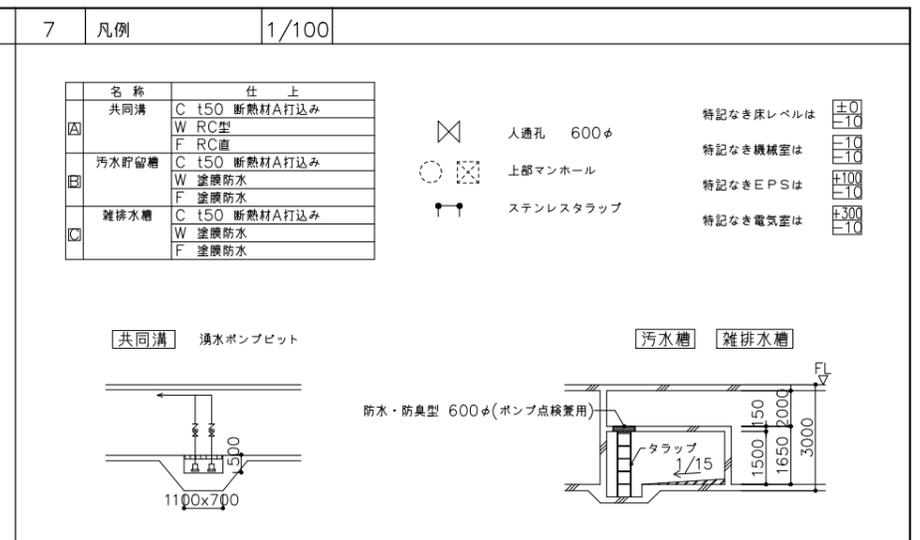
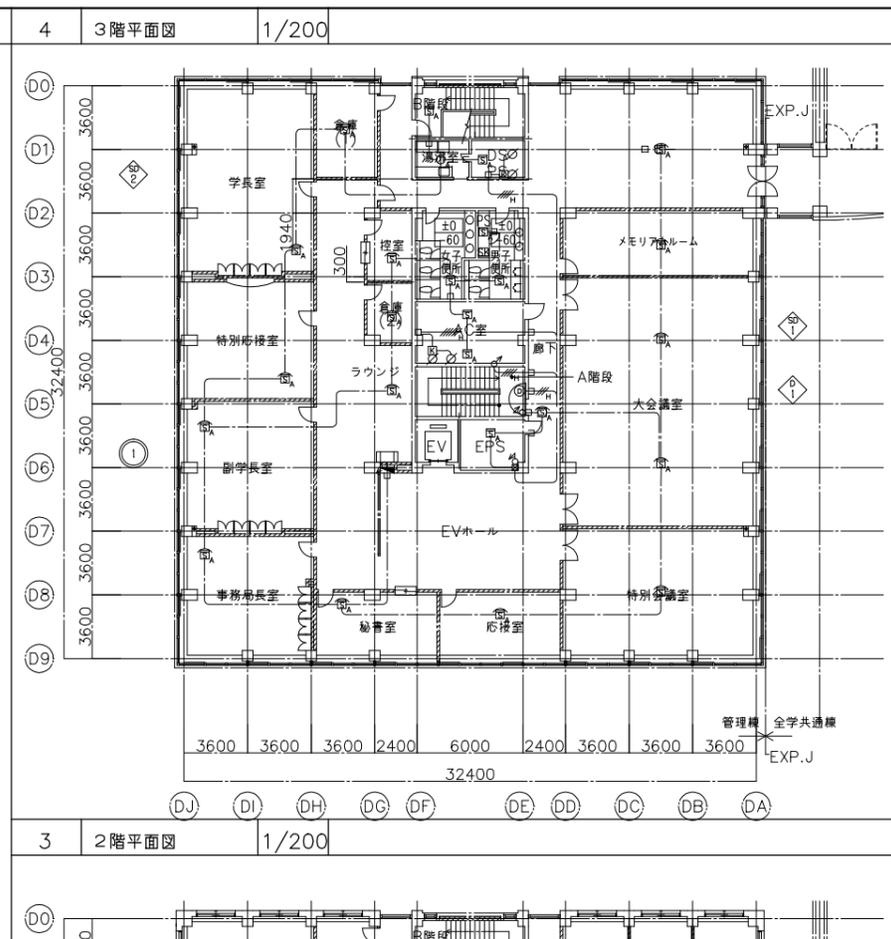
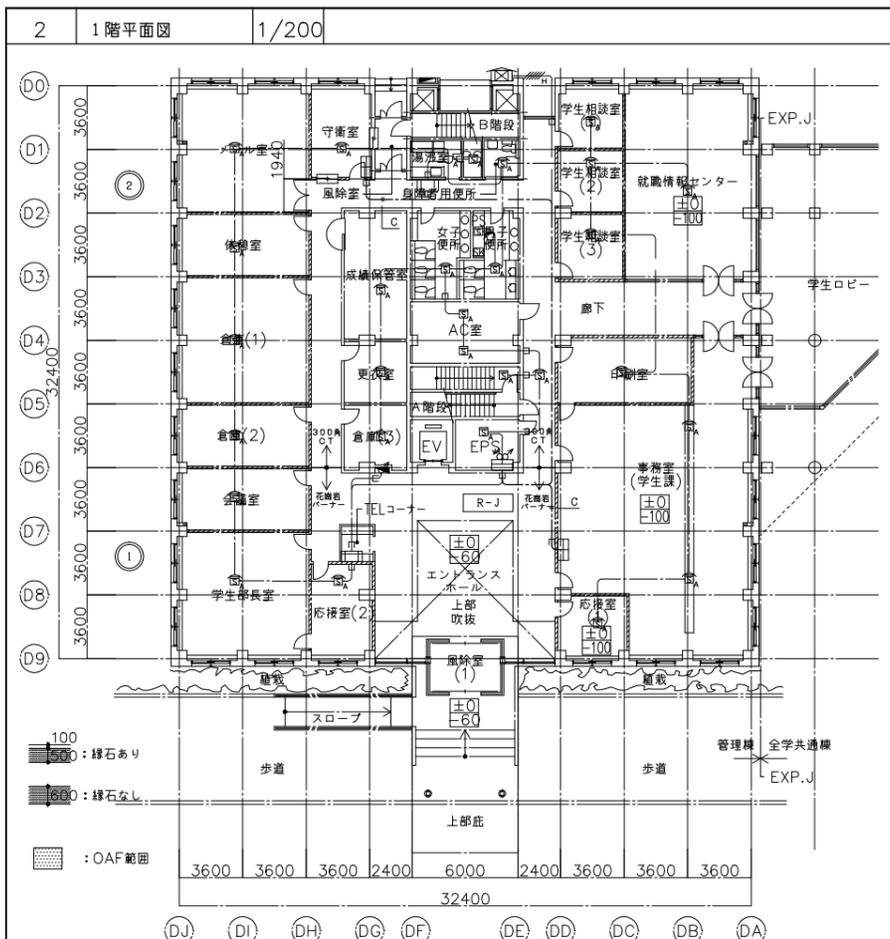


着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 幹線系統図(4)

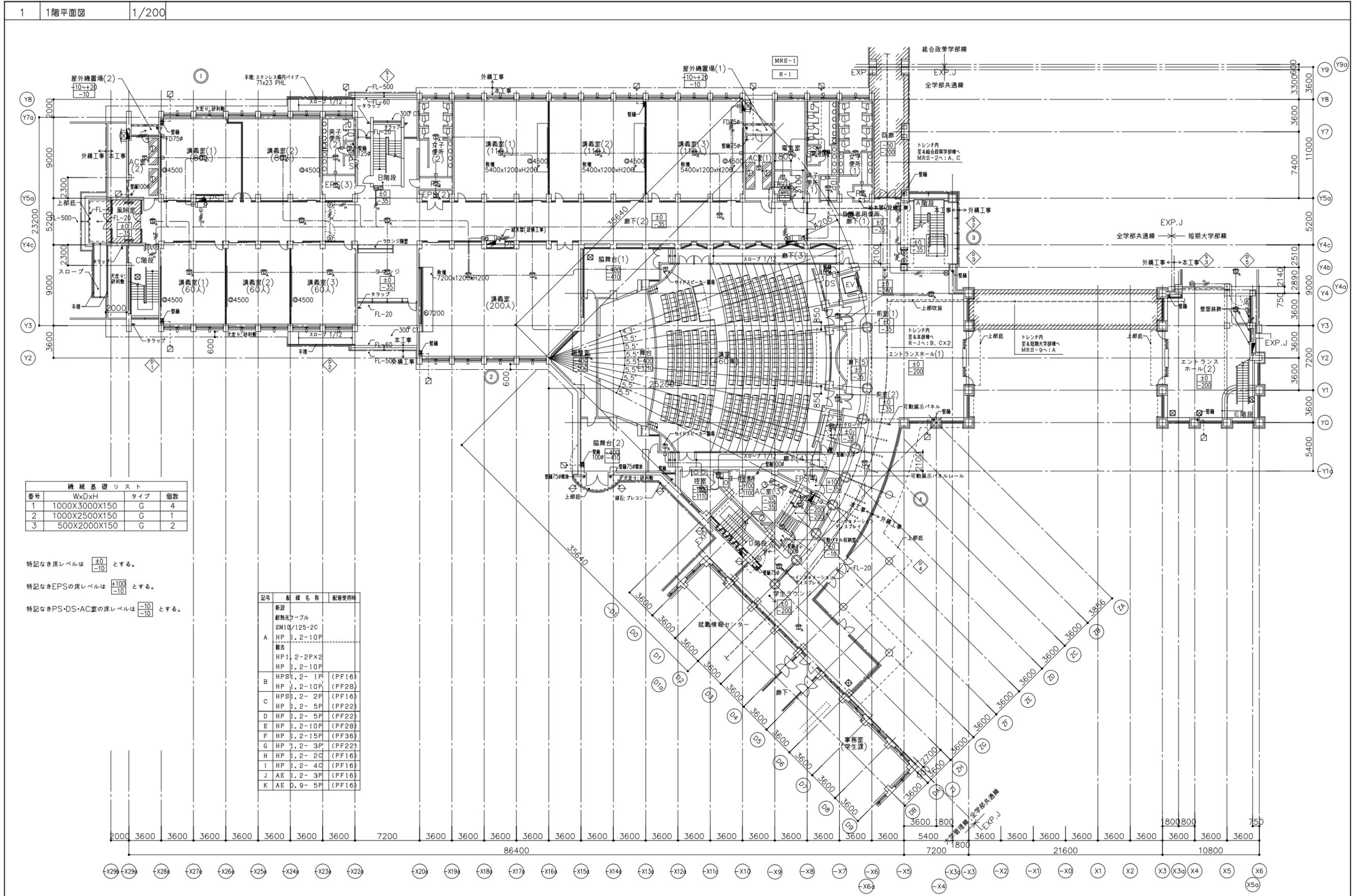
☎ (通し番号10)
 2-6
 N/S No. J-180869 A



日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
本部棟 平面図 1/200

電話 (通し番号11)
3-1
No. J-180869 A



機械基礎リスト

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	1000X2500X150	G	1
3	500X2000X150	G	2

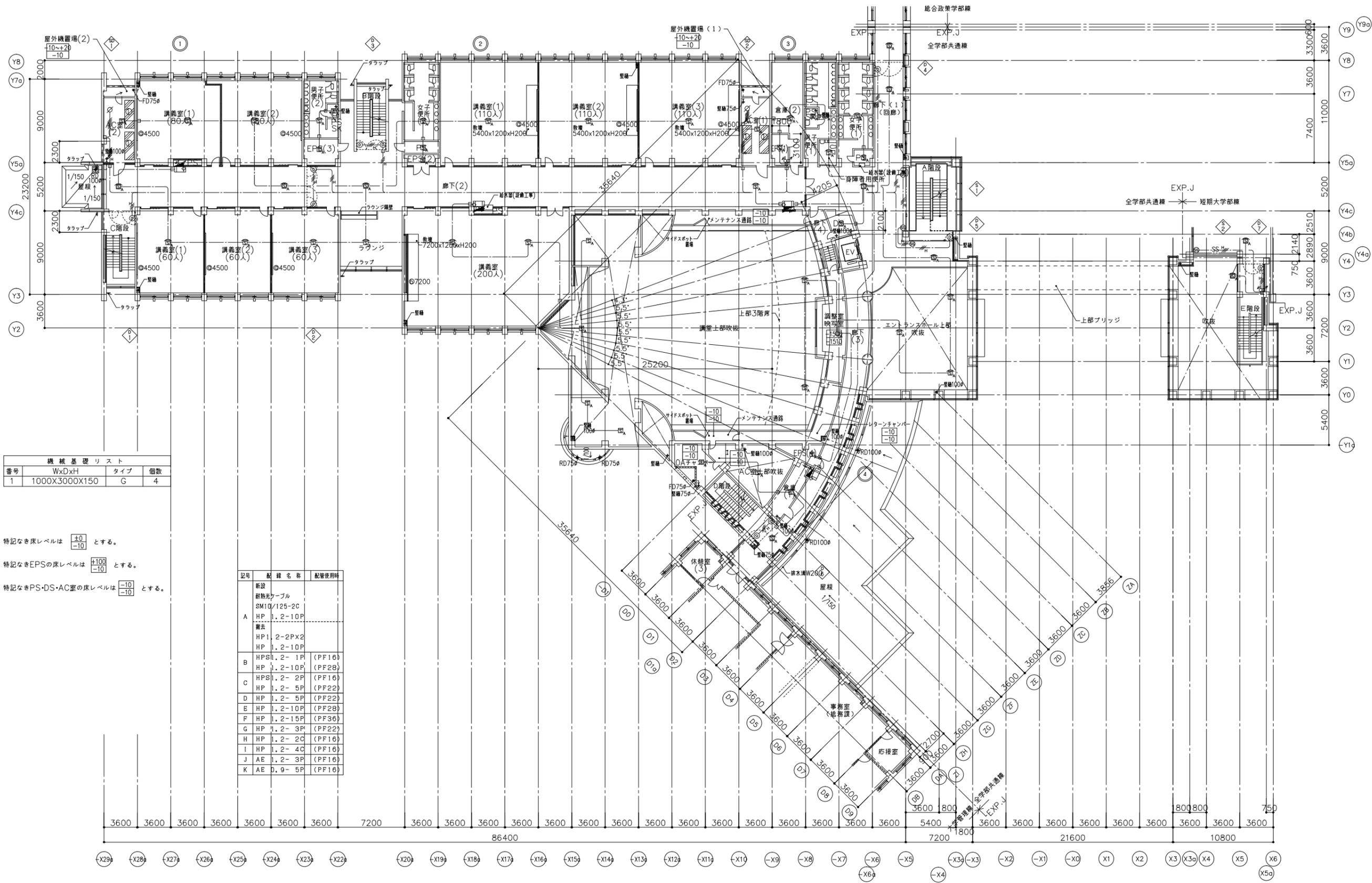
特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 断熱ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
	撤去 HP 1.2-2P×2 HP 1.2-10P	
B	HPS 1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS 1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE D.9-5P (PF16)	

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 共通講義棟 1階平面図 1/200

電 (通し番号12)
 4-1
 No. J-180869 A



番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは $\frac{+100}{-10}$ とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\frac{-10}{-10}$ とする。

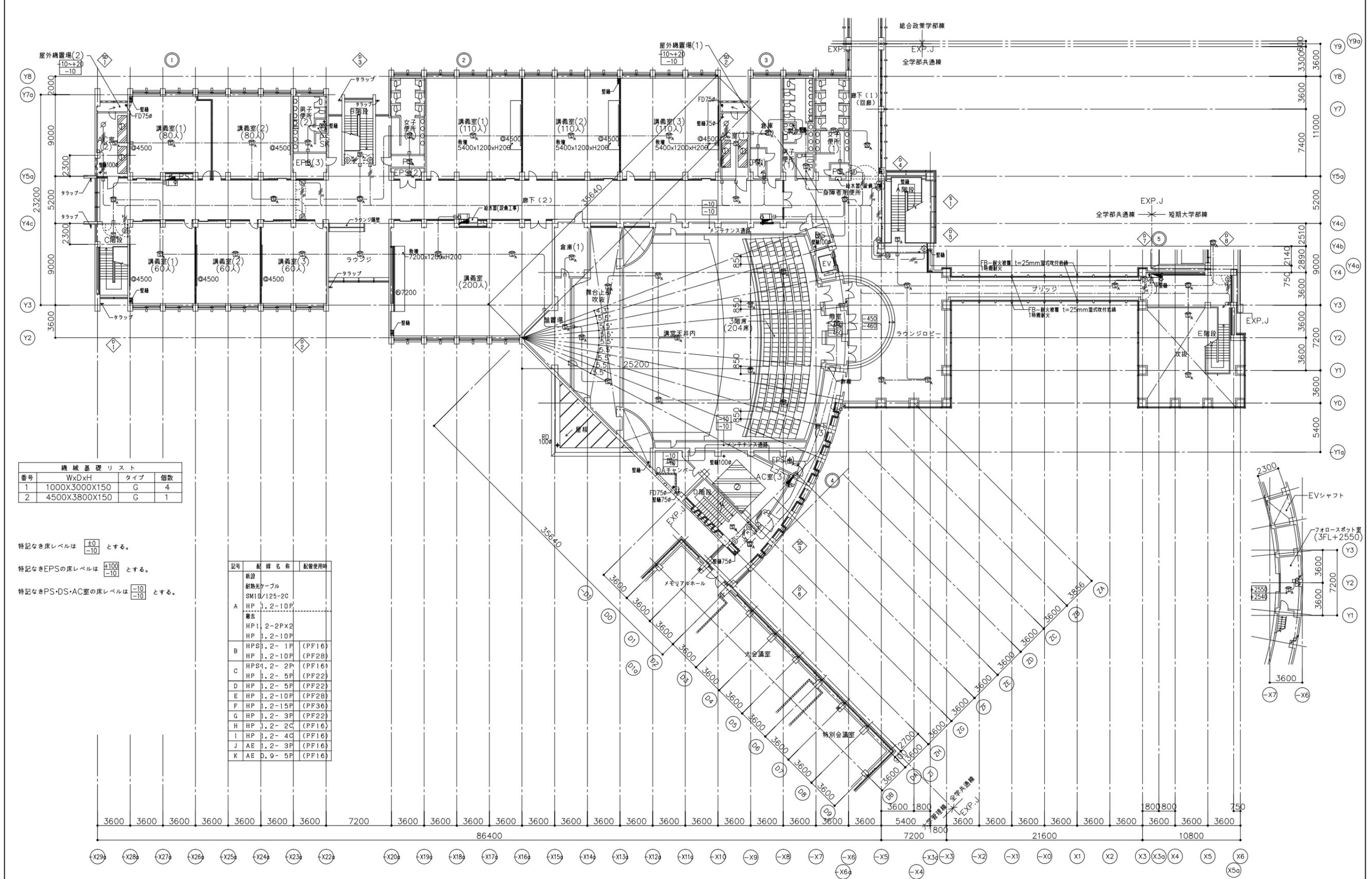
記号	設備名称	設備使用時
A	新設 耐熱ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1, 2-10P	
B	撤去 HP 1, 2-2P×2	
	HP 1, 2-10P	
C	HPS 1, 2-1P	(PF16)
	HP 1, 2-10P	(PF28)
D	HPS 1, 2-2P	(PF16)
	HP 1, 2-5P	(PF22)
E	HP 1, 2-5P	(PF22)
	HP 1, 2-10P	(PF28)
F	HP 1, 2-15P	(PF36)
	HP 1, 2-3P	(PF22)
G	HP 1, 2-20P	(PF16)
	HP 1, 2-4C	(PF16)
H	HP 1, 2-3P	(PF16)
	HP 1, 2-5P	(PF16)

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 共通講義棟 2階平面図 1/200

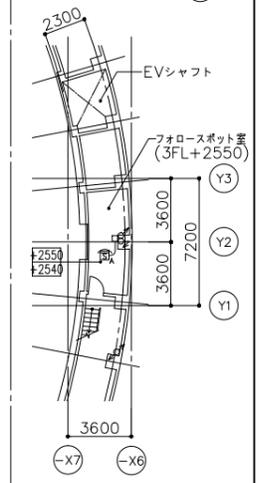
電 (通し番号13)
 4-2
 No. J-180869 A



番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	4500X3800X150	G	1

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
B	兼用 HP 1.2-2PX2	
	HP 1.2-10P	
C	HPS 1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
D	HPS 1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-5P (PF22)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
	HP 1.2-3P (PF22)	
G	HP 1.2-2C (PF16)	
	HP 1.2-2C (PF16)	
H	HP 1.2-4C (PF16)	
	AE 1.2-3P (PF16)	
I	AE 1.2-3P (PF16)	
	AE D.9-5P (PF16)	

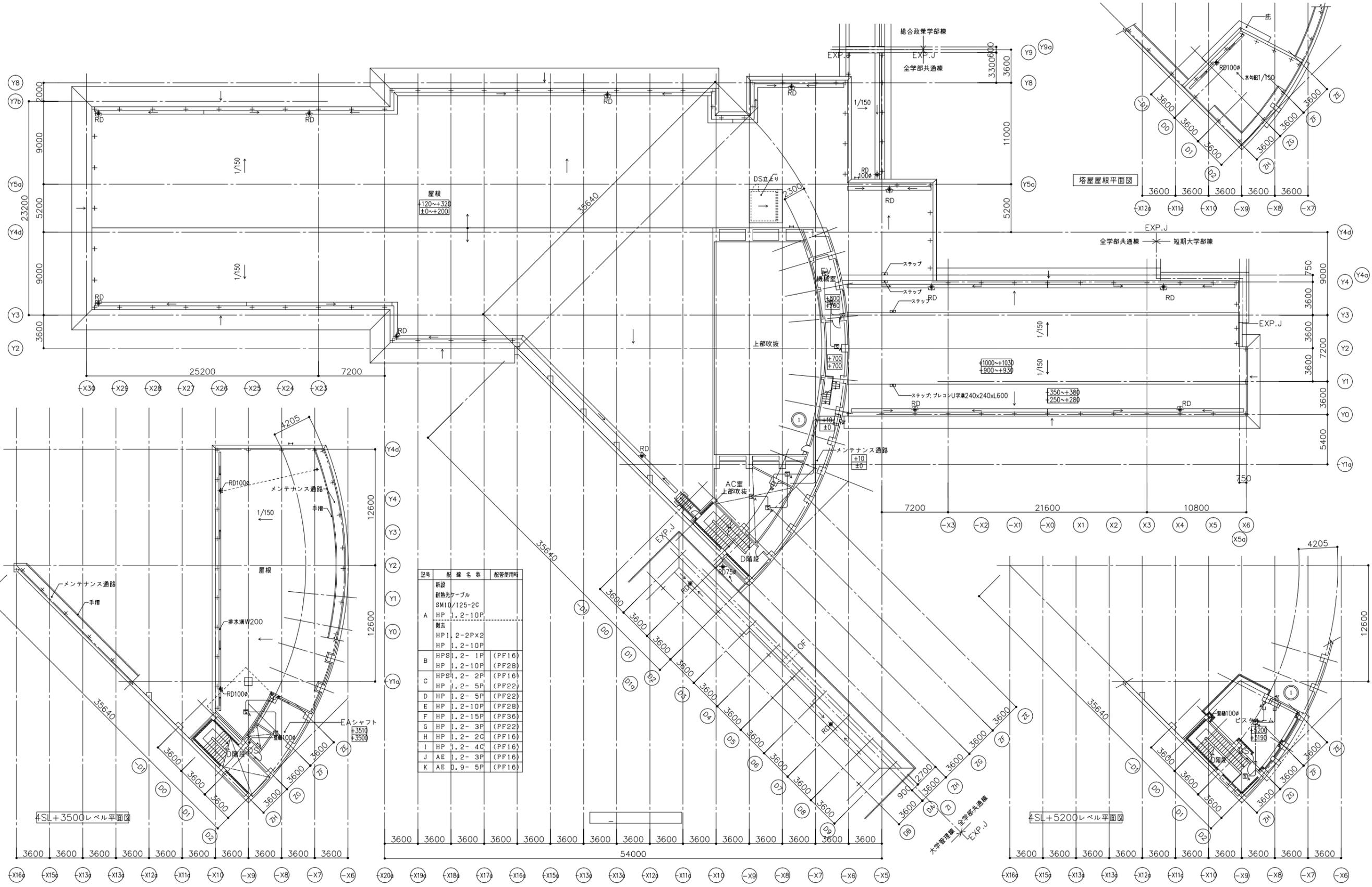


着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 共通講義棟 3階平面図 1/200

電 (通し番号14)
 4-3
 No. J-180869 A



記号	配線名称	配管使用時
新設	耐熱光ケーブル	
	SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
撤去	HP 1.2-2P×2	
	HP 1.2-10P	
B	HPS 1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS 1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE D.9-5P (PF16)	

着工			
竣工			
監理			
施工			

*オーバーフロー管を19ヶ所見込む事

日建設計

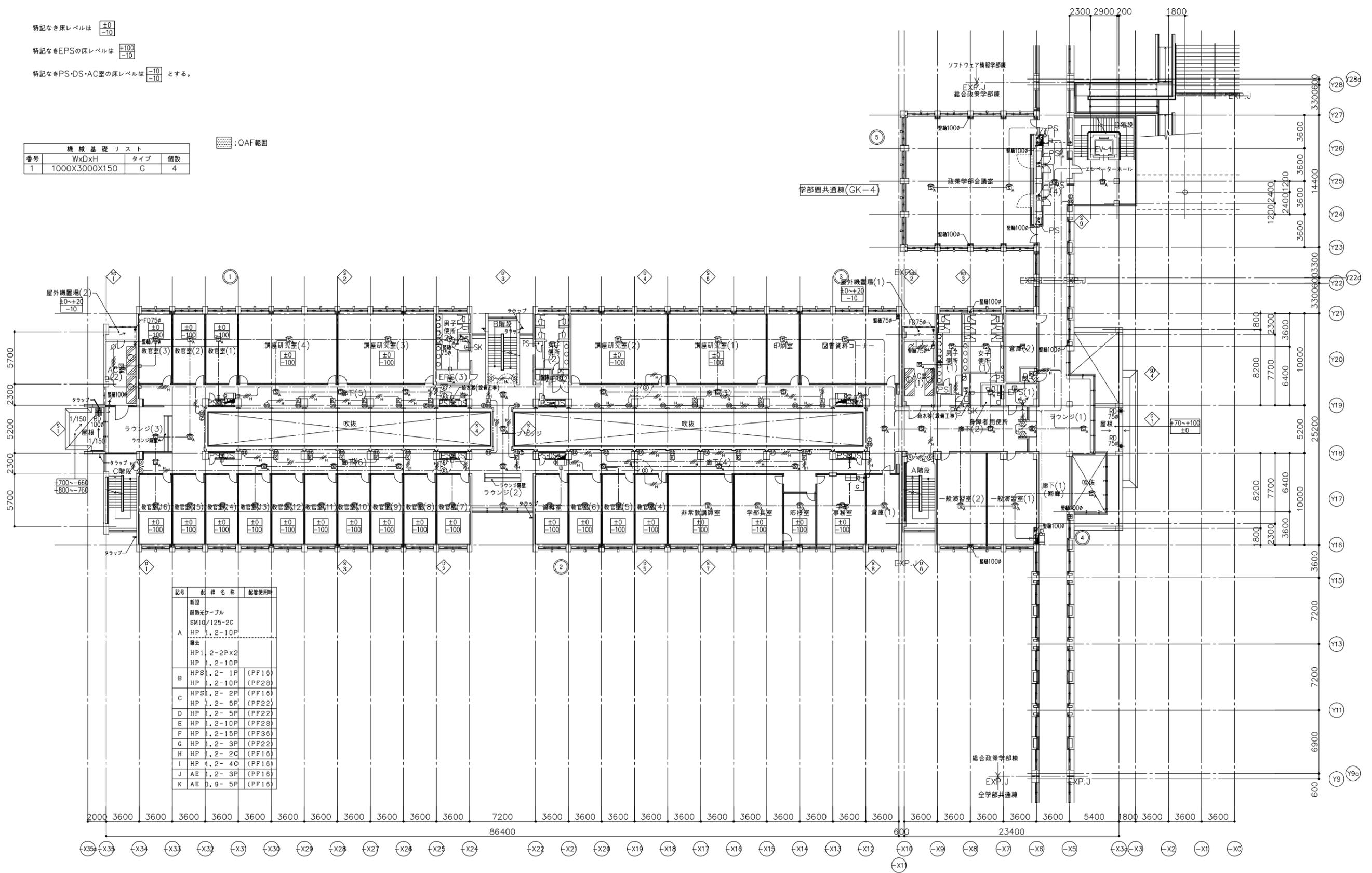
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
共通講義棟 塔屋屋根平面図 1/200

電 (通し番号15)
4-4
No. J-180869 A

特記なき床レベルは ±0
 特記なきEPSの床レベルは +100
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは -10 とする。

機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

○ : OAF 範囲



記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
B	撤去 HP 1.2-2P×2	
	HP 1.2-10P	
C	HPS 1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
D	HPS 1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-5P (PF22)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
	HP 1.2-3P (PF22)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
	HP 1.2-2C (PF16)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
	HP 1.2-4C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
	AE 1.2-3P (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
	AE D.9-5P (PF16)	
K	AE D.9-5P (PF16)	

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 総合政策学部棟 2階平面図 1/200

電 (通し番号17)
 5-2
 No. J-180869 A

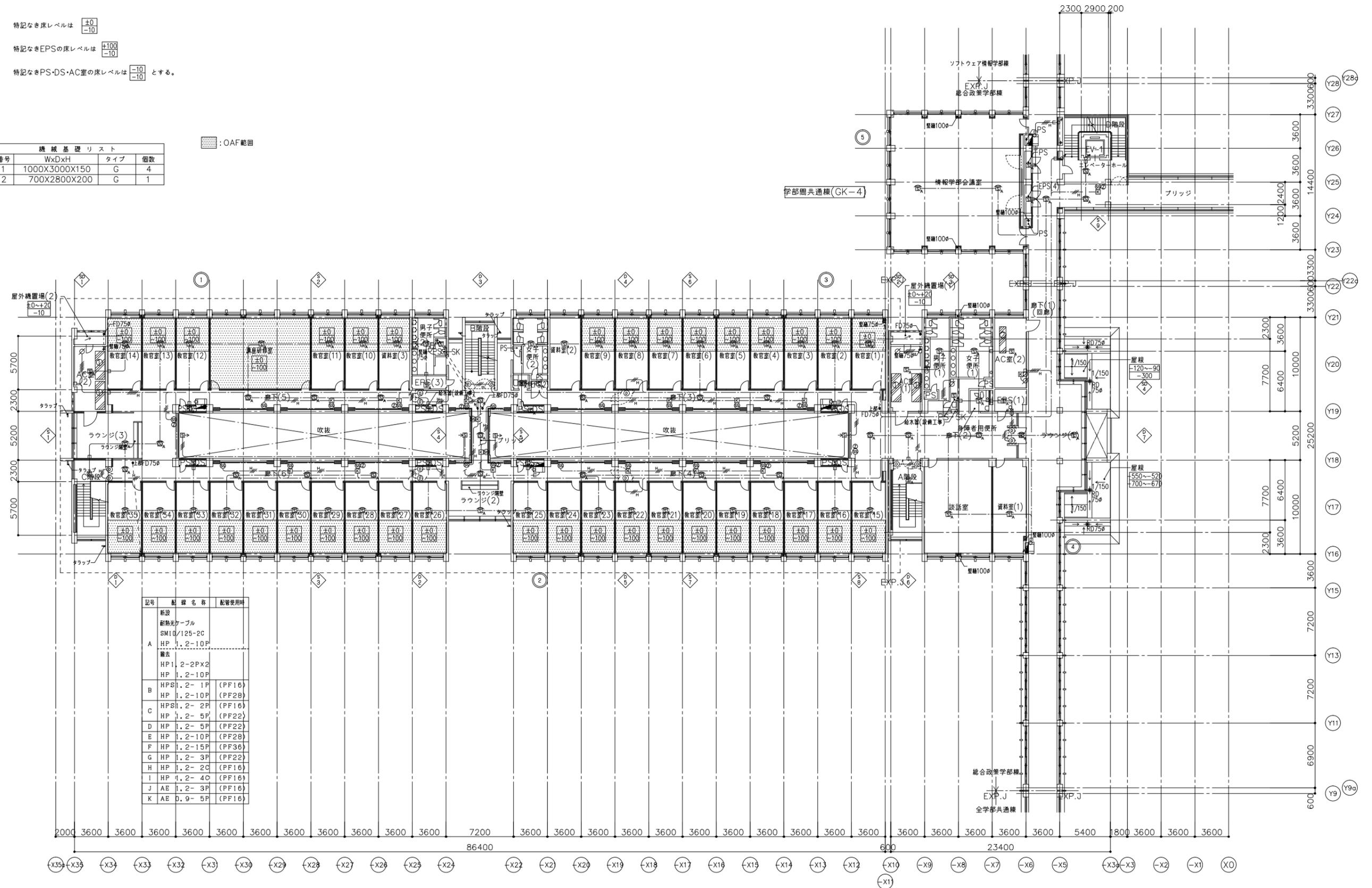
特記なき床レベルは ± 0
 -10

特記なきEPSの床レベルは ± 100
 -10

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10
 -10 とする。

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	700X2800X200	G	1

■ : OAF 範疇



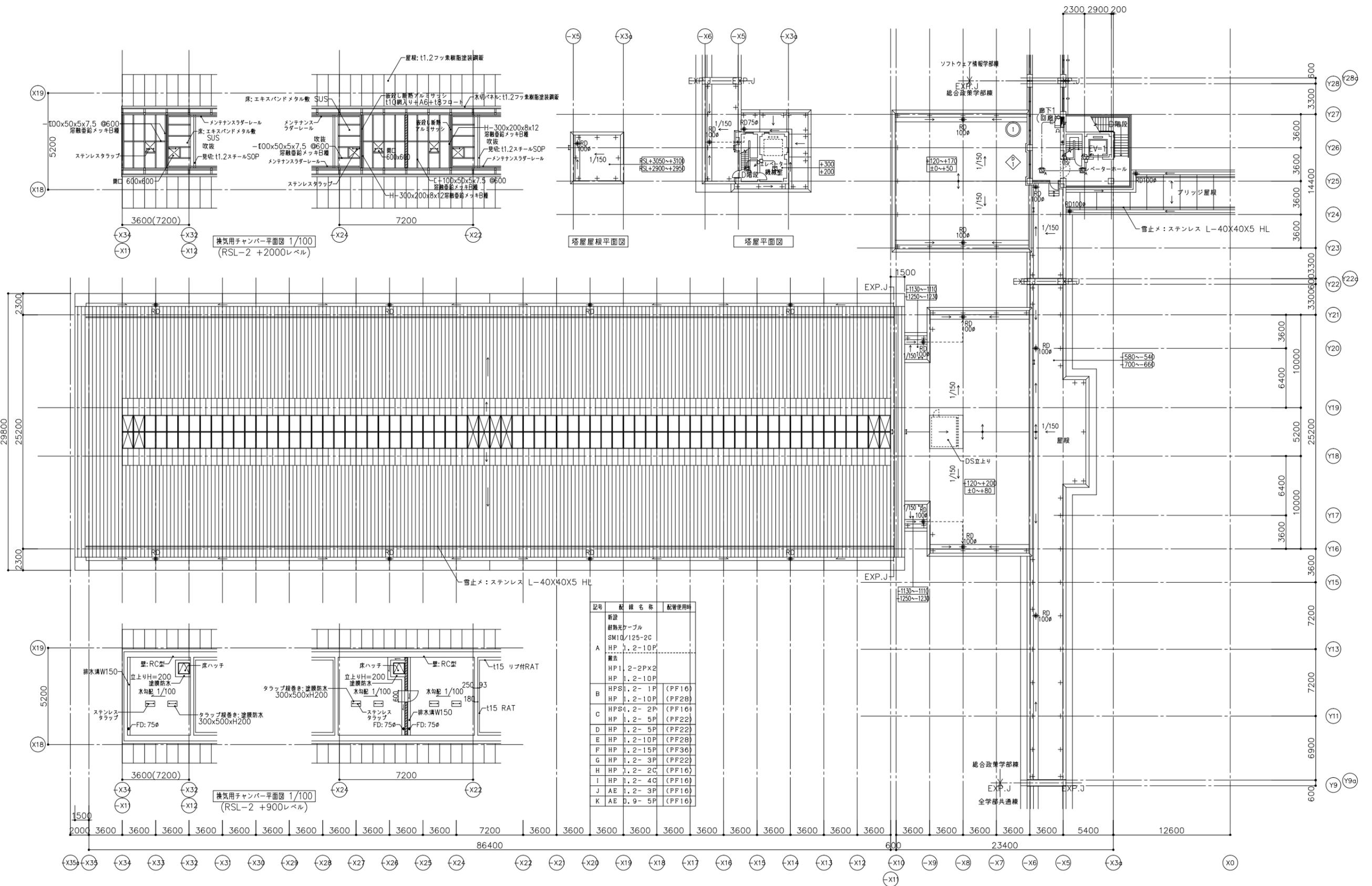
記号	配線名称	配管使用料
A	新設 耐熱ケーブル SM10/125-2C HP 1.2-10P	-
	撤去 HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPS 1.2-1P (PF16)	-
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS 1.2-2P (PF16)	-
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	-
E	HP 1.2-10P (PF28)	-
F	HP 1.2-15P (PF36)	-
G	HP 1.2-3P (PF22)	-
H	HP 1.2-2C (PF16)	-
I	HP 1.2-4C (PF16)	-
J	AE 1.2-3P (PF16)	-
K	AE D.9-5P (PF16)	-

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 総合政策学部棟 3階平面図 1/200

電 (通し番号18)
 5-3
 No. J-180869 A



記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-20	
	HP 1.2-10P	
B	撤去 HP 1.2-2PX2	(PF16)
	HP 1.2-10P	(PF28)
C	HPS 1.2-2P	(PF16)
	HP 1.2-5P	(PF22)
D	HP 1.2-5P	(PF22)
	HP 1.2-10P	(PF28)
E	HP 1.2-10P	(PF28)
	HP 1.2-15P	(PF36)
F	HP 1.2-5P	(PF22)
	HP 1.2-2C	(PF16)
G	HP 1.2-4C	(PF16)
	AE 1.2-3P	(PF16)
H	AE 1.2-3P	(PF16)
	AE D.9-5P	(PF16)
I	AE D.9-5P	(PF16)
J		
K		

着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
総合政策学部棟 4階・塔屋屋根平面図 1/200

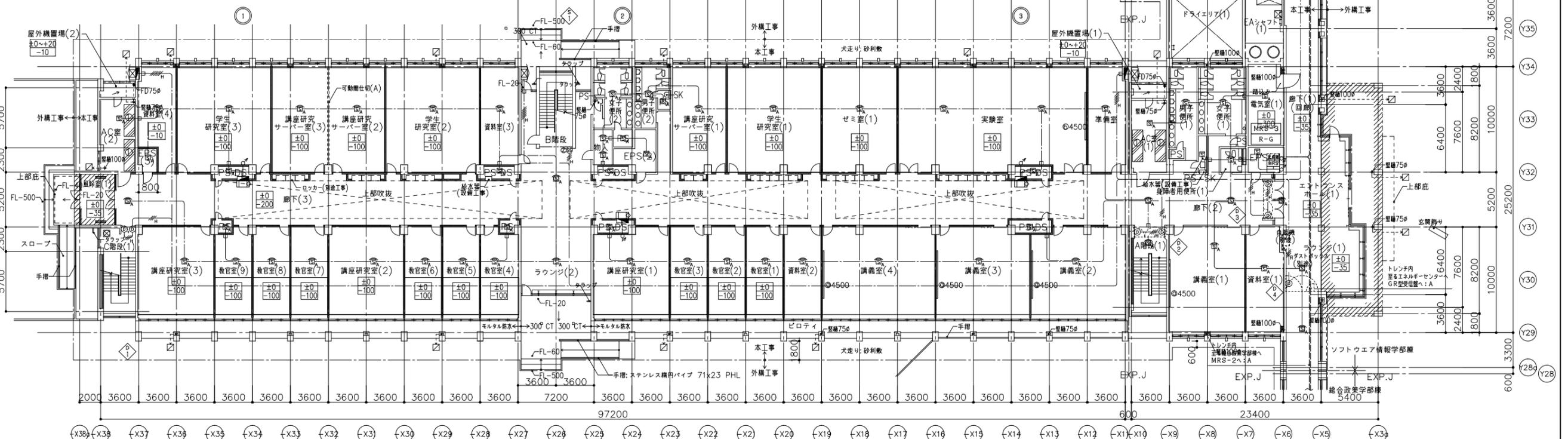
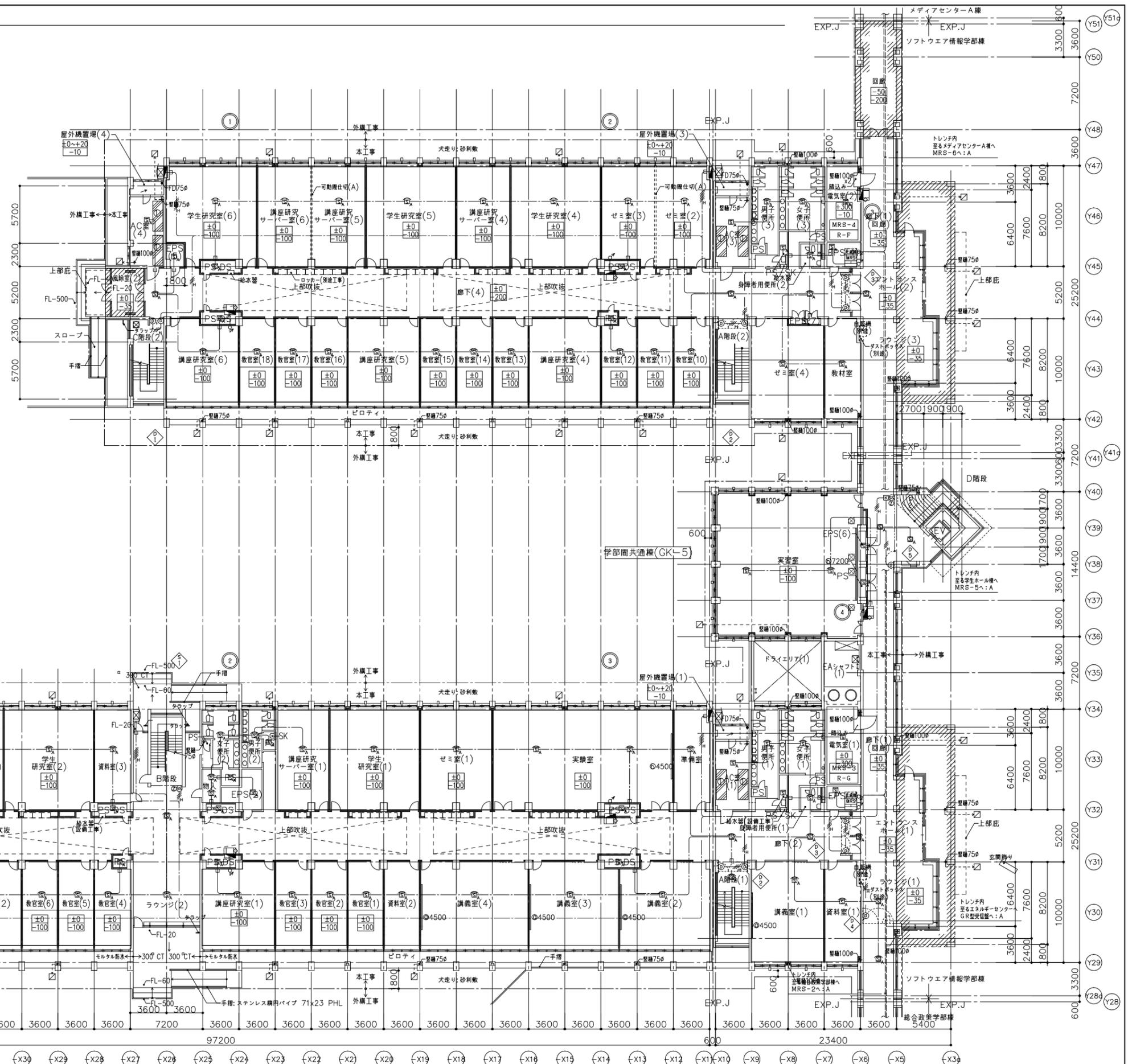
電 (通し番号19)
5-4
No. J-180869 A

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

○ : OAF 範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	8

記号	配線名称	設備使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
B	HP 1.2-2P×2	
	HP 1.2-10P	
C	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF2B)	
D	HPS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-5P (PF22)	
	HP 1.2-10P (PF2B)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
	HP 1.2-3P (PF22)	
G	HP 1.2-2C (PF16)	
	HP 1.2-4C (PF16)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
	HP 1.2-4C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
	AE 1.2-3P (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
	AE 0.9-5P (PF16)	
K	AE 1.2-3P (PF16)	
	AE 0.9-5P (PF16)	



施工	
竣工	
監理	
施工	

特記なき床レベルは ± 0 とする。

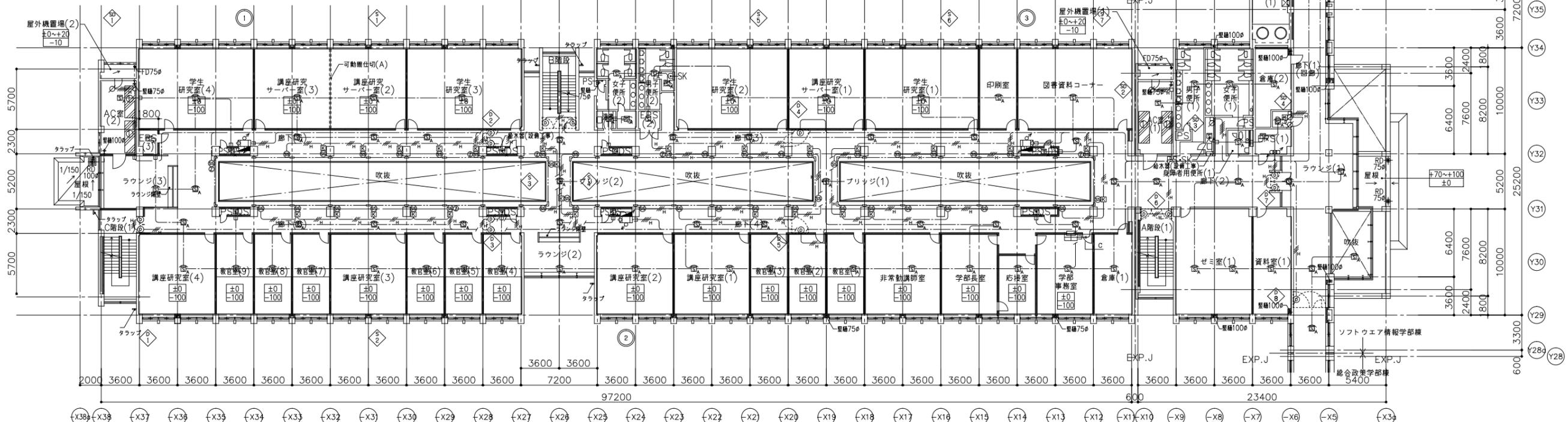
特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

□ : OAF範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	8

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1. 2-10P	
B	HP 1. 2-2P×2	
	HP 1. 2-10P	
C	HPS1. 2- 1P (PF16)	
	HP 1. 2-10P (PF2B)	
D	HPS1. 2- 2P (PF16)	
	HP 1. 2- 5P (PF22)	
E	HP 1. 2- 5P (PF22)	
	HP 1. 2-10P (PF2B)	
F	HP 1. 2-15P (PF36)	
	HP 1. 2- 3P (PF22)	
G	HP 1. 2- 2C (PF16)	
	HP 1. 2- 2C (PF16)	
H	HP 1. 2- 2C (PF16)	
	HP 1. 2- 4C (PF16)	
I	HP 1. 2- 2C (PF16)	
	AE 1. 2- 3P (PF16)	
J	AE 1. 2- 3P (PF16)	
	AE 0. 9- 5P (PF16)	
K	AE 0. 9- 5P (PF16)	
	AE 0. 9- 5P (PF16)	



種別	担当者	備考
施工		
竣工		
監理		
施工		

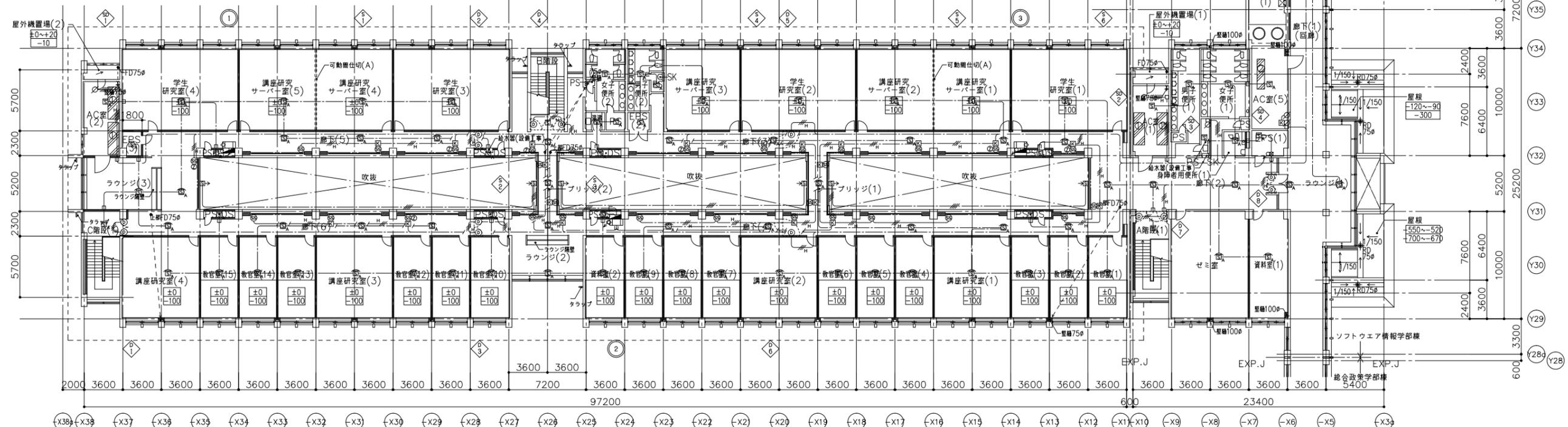
780x570

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは $\frac{+100}{-10}$ とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\frac{-10}{-10}$ とする。

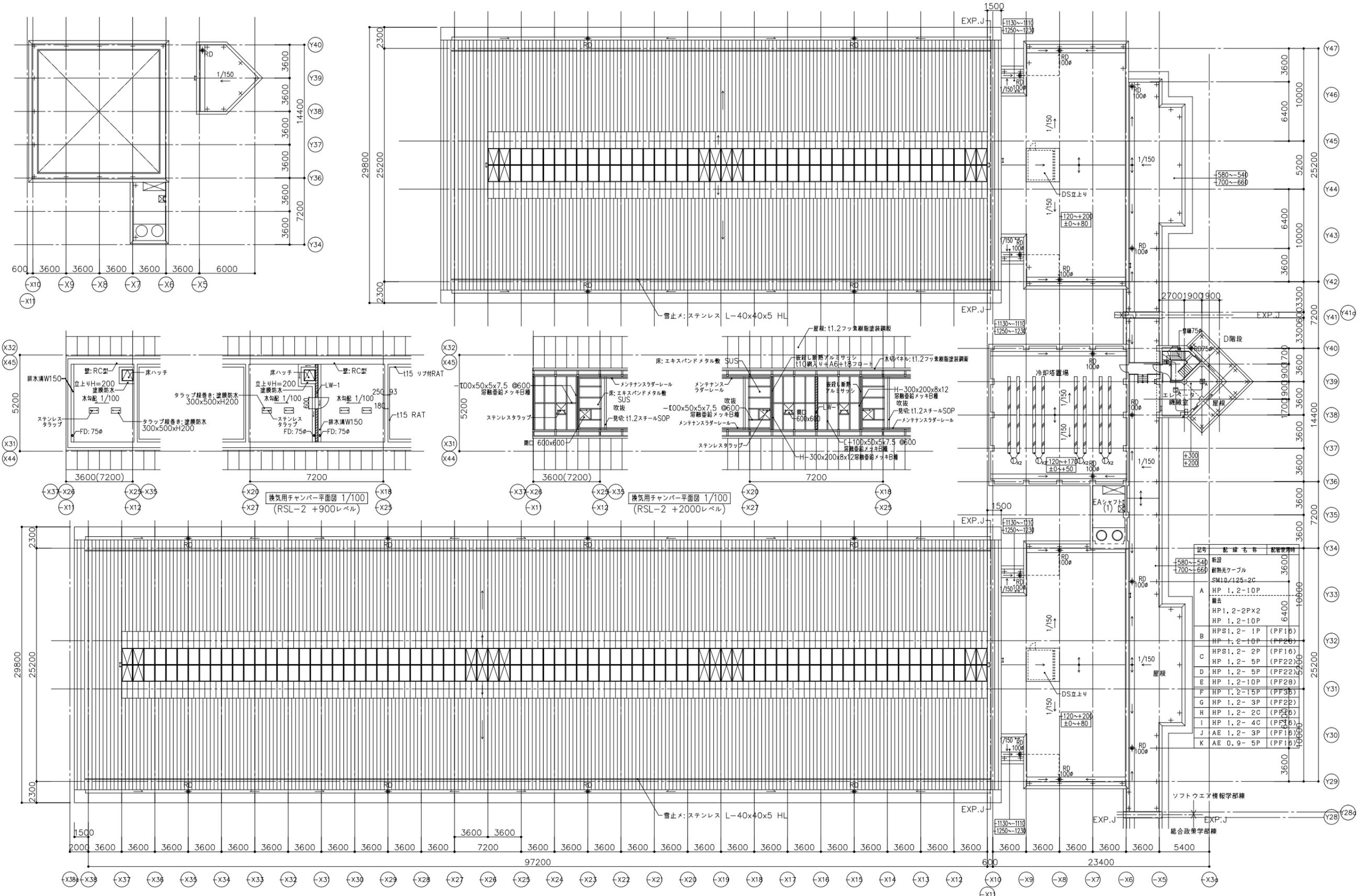
■ : OAF範囲

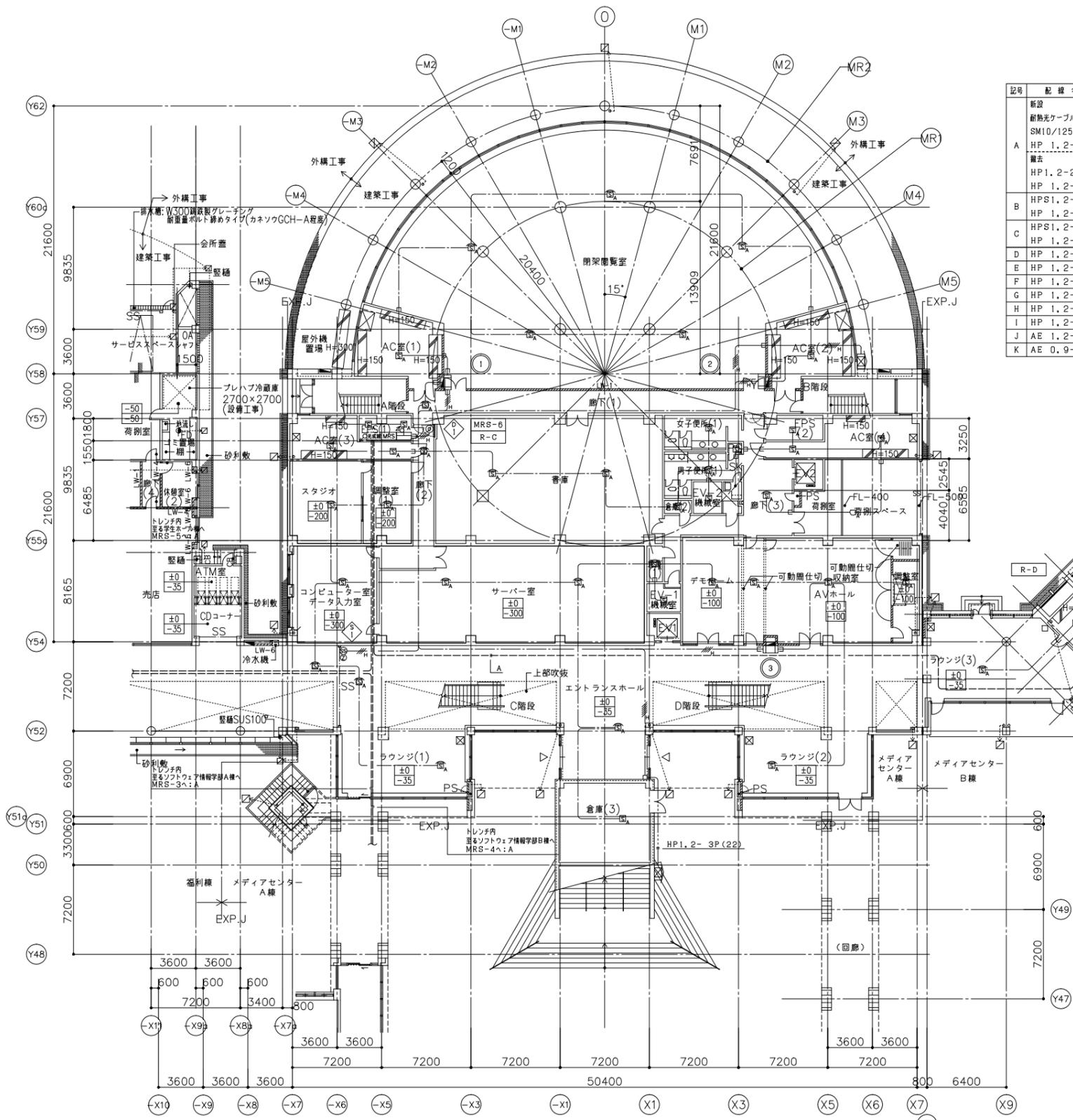
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	8
2	700X2800X200	G	2

記号	記号名称	設備使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
B	新設 HP 1.2-2PX2	
	HP 1.2-10P	
C	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF2B)	
D	HPS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-5P (PF22)	
	HP 1.2-10P (PF2B)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
	HP 1.2-3P (PF22)	
G	HP 1.2-2C (PF16)	
	HP 1.2-4C (PF16)	
H	AE 1.2-3P (PF16)	
	AE 0.9-5P (PF16)	



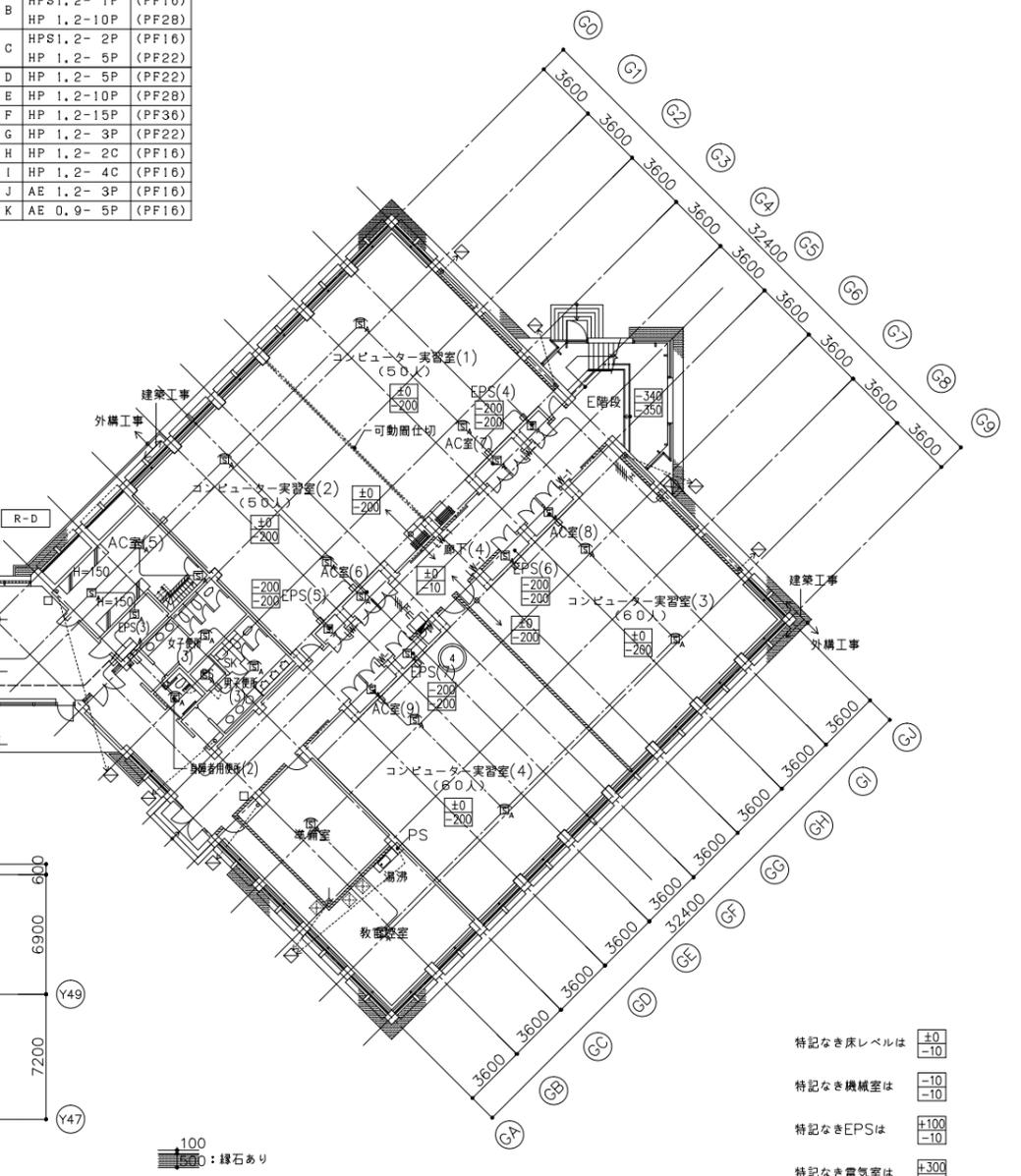
機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	300X8300X550	A	8





メディアセンターA棟

記号	配線名称	配管使用時
	新設	
	前熱光ケーブル	
	SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
	撤去	
	HP1.2-2PX2	
	HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	



メディアセンターB棟

- 特記なき床レベルは ±0
- 特記なき機械室は -10
- 特記なきEPSは +100
- 特記なき電気室は +300

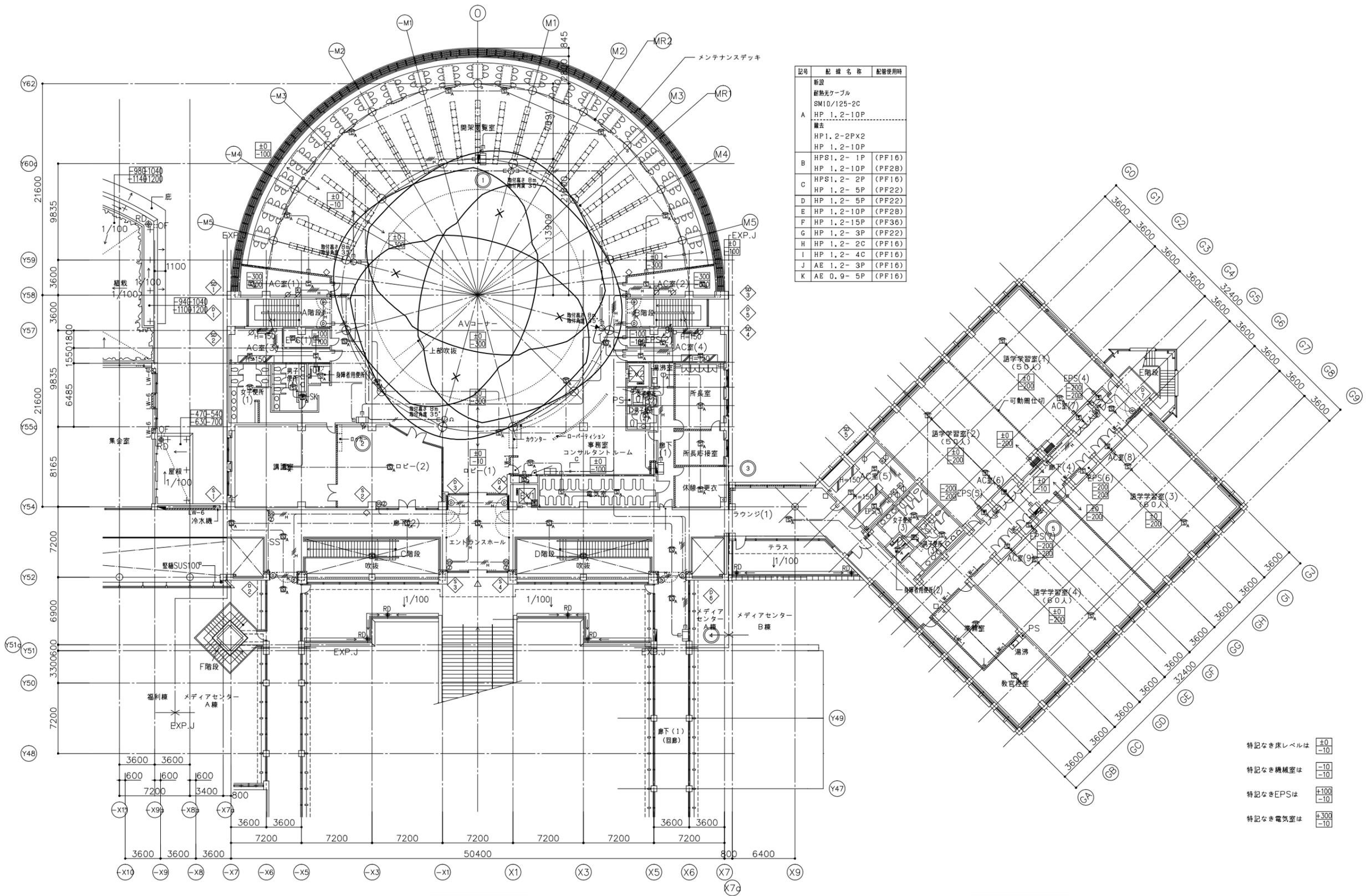
- 100 : 緑石あり
- 600 : 緑石なし
- : OAF範囲

着工	
竣工	
管理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
メディアセンターA棟, B棟 2階平面図 1/200

電 (通し番号24)
7-1
No. J-180869 A



記号	配線名称	配管使用時
	新設 前熱光ケーブル SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
	備法 HP1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16) HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16) HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

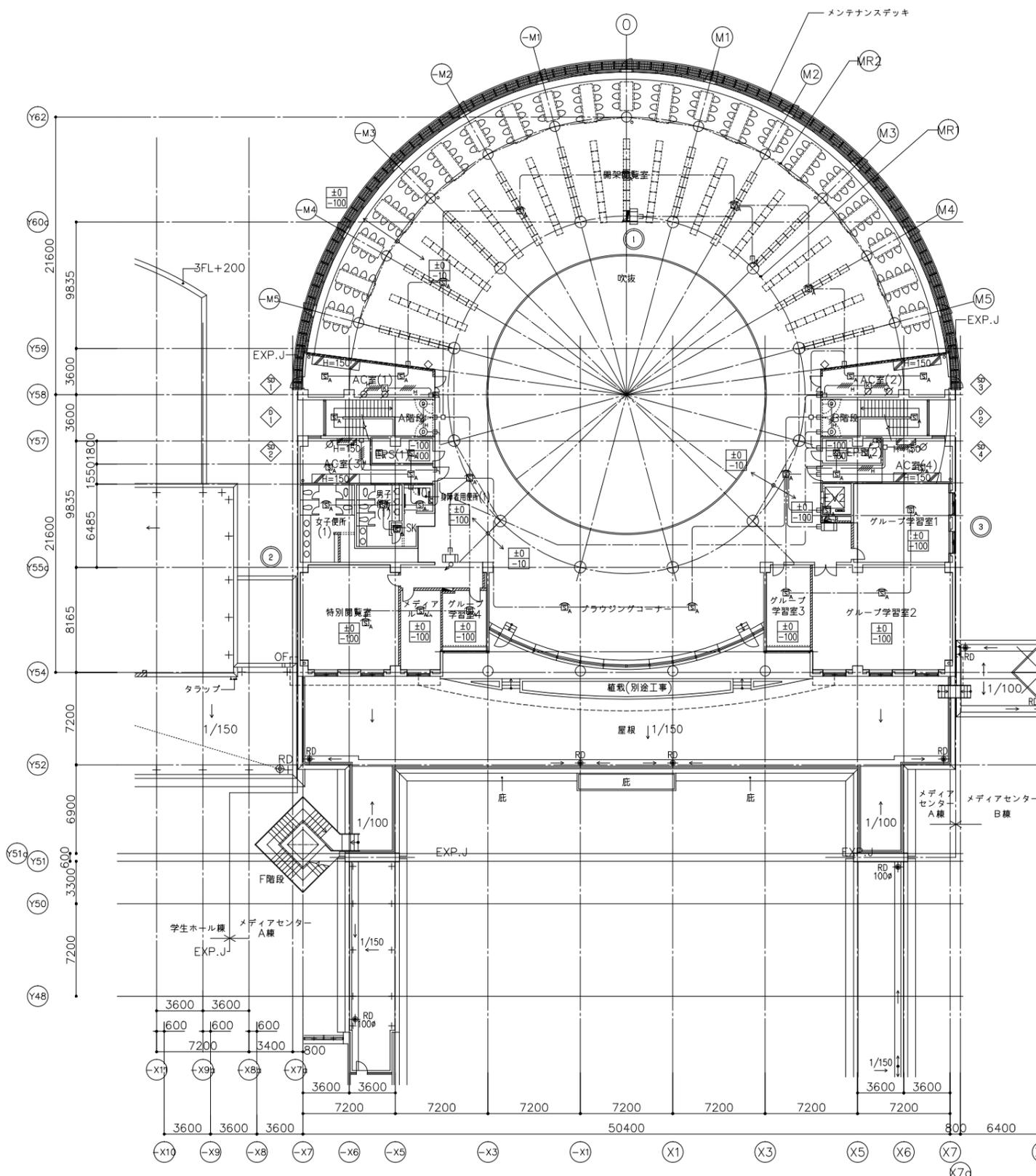
- 特記なき床レベルは ±0
- 特記なき機械室は -10
- 特記なきEPSは +100
- 特記なき電気室は +300

着工	
竣工	
管理	
施工	

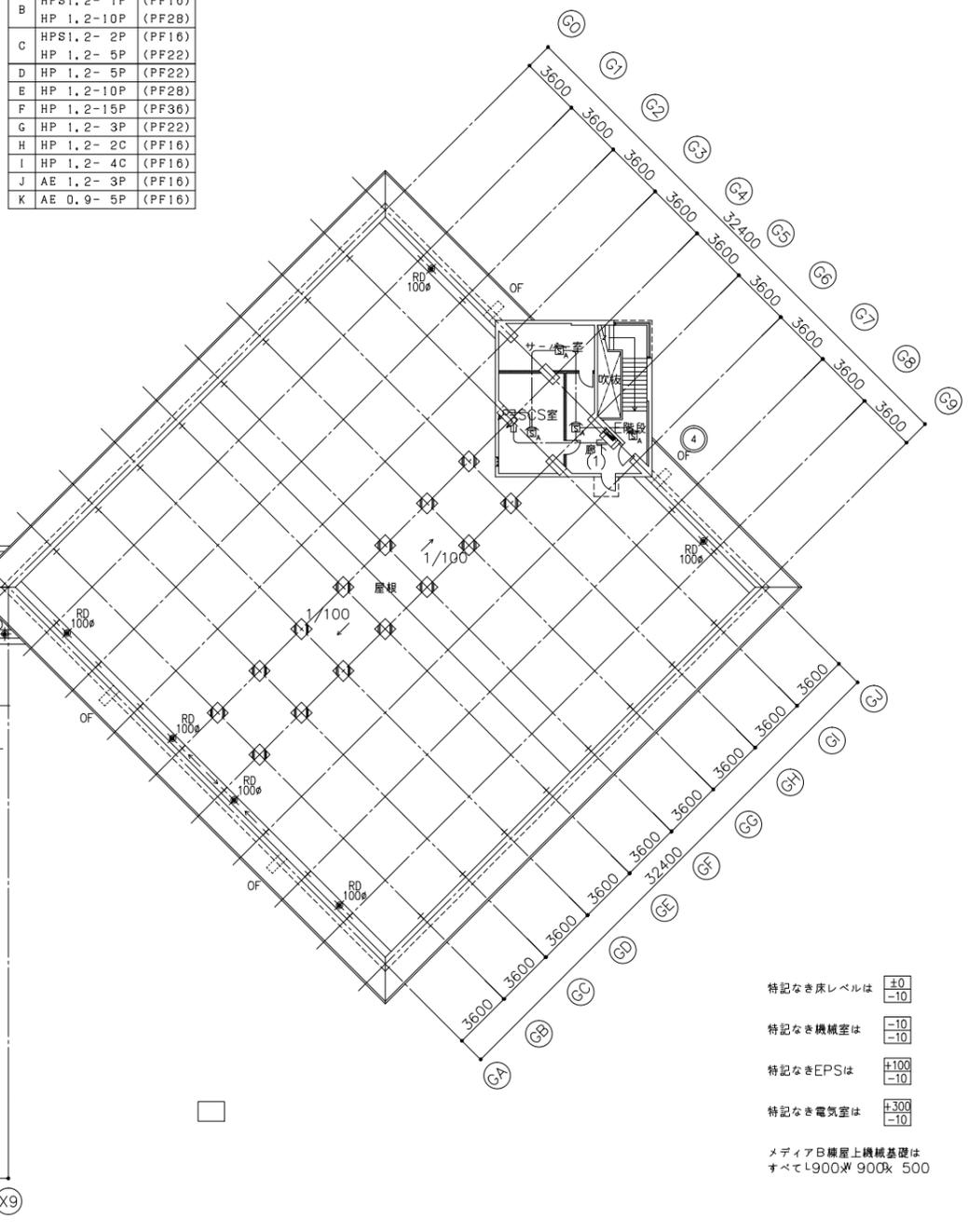
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
メディアセンターA棟, B棟 3階平面図 1/200

電 (通し番号25)
7-2
No. J-180869 A



記号	配線名称	配管使用時
新設		
耐熱光ケーブル		
SM10/125-2C		
A	HP 1.2-10P	
撤去		
HP1.2-2PX2		
HP 1.2-10P		
B	HPS1.2-1P (PF16)	
HP 1.2-10P (PF28)		
C	HPS1.2-2P (PF16)	
HP 1.2-5P (PF22)		
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	



- 特記なき床レベルは ±0
- 特記なき機械室は -10
- 特記なきEPSは +100
- 特記なき電気室は +300
- メディアB棟屋上機械基礎は すべて1900×900×500

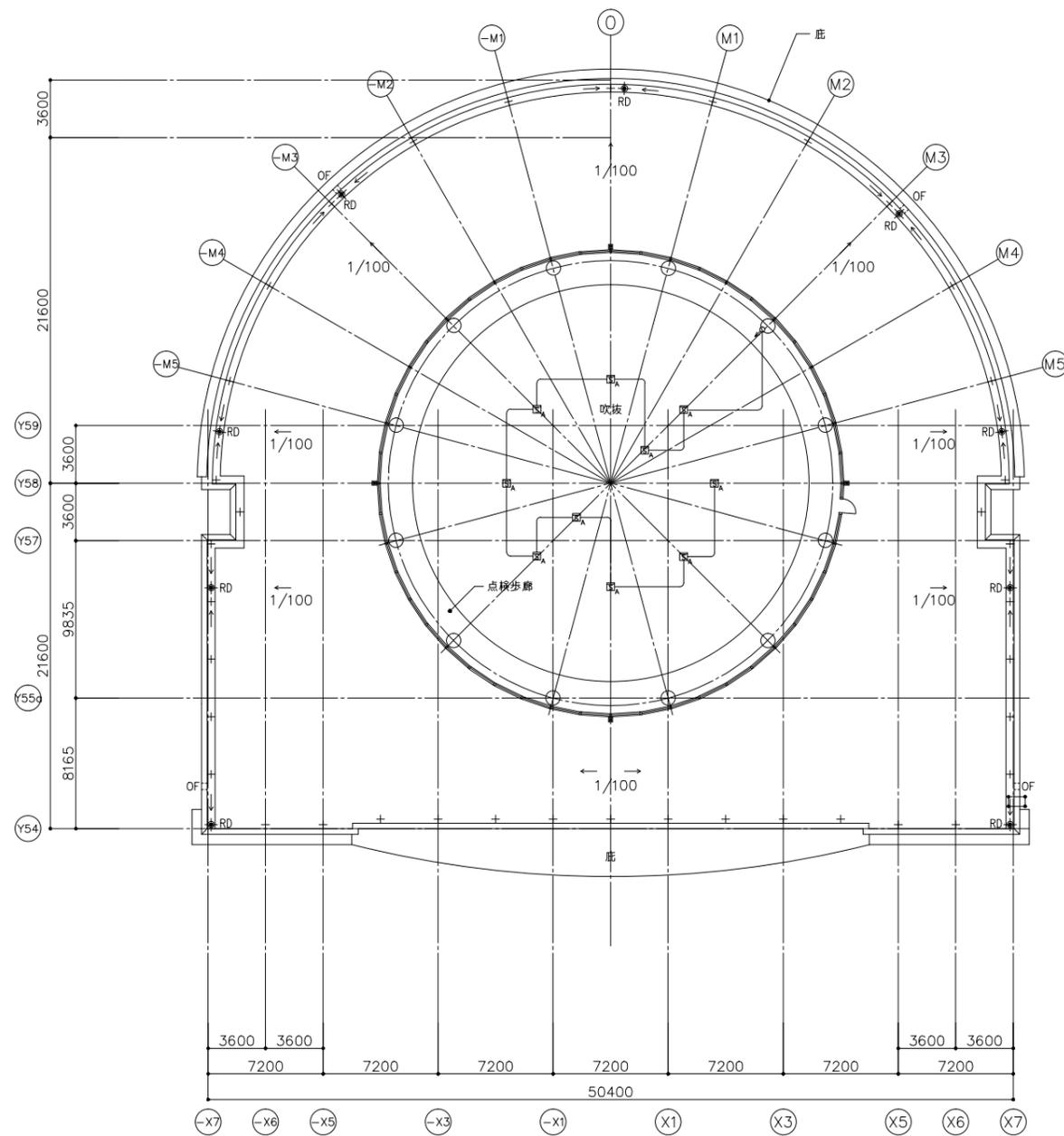
着工	
竣工	
管理	
施工	

日建設計

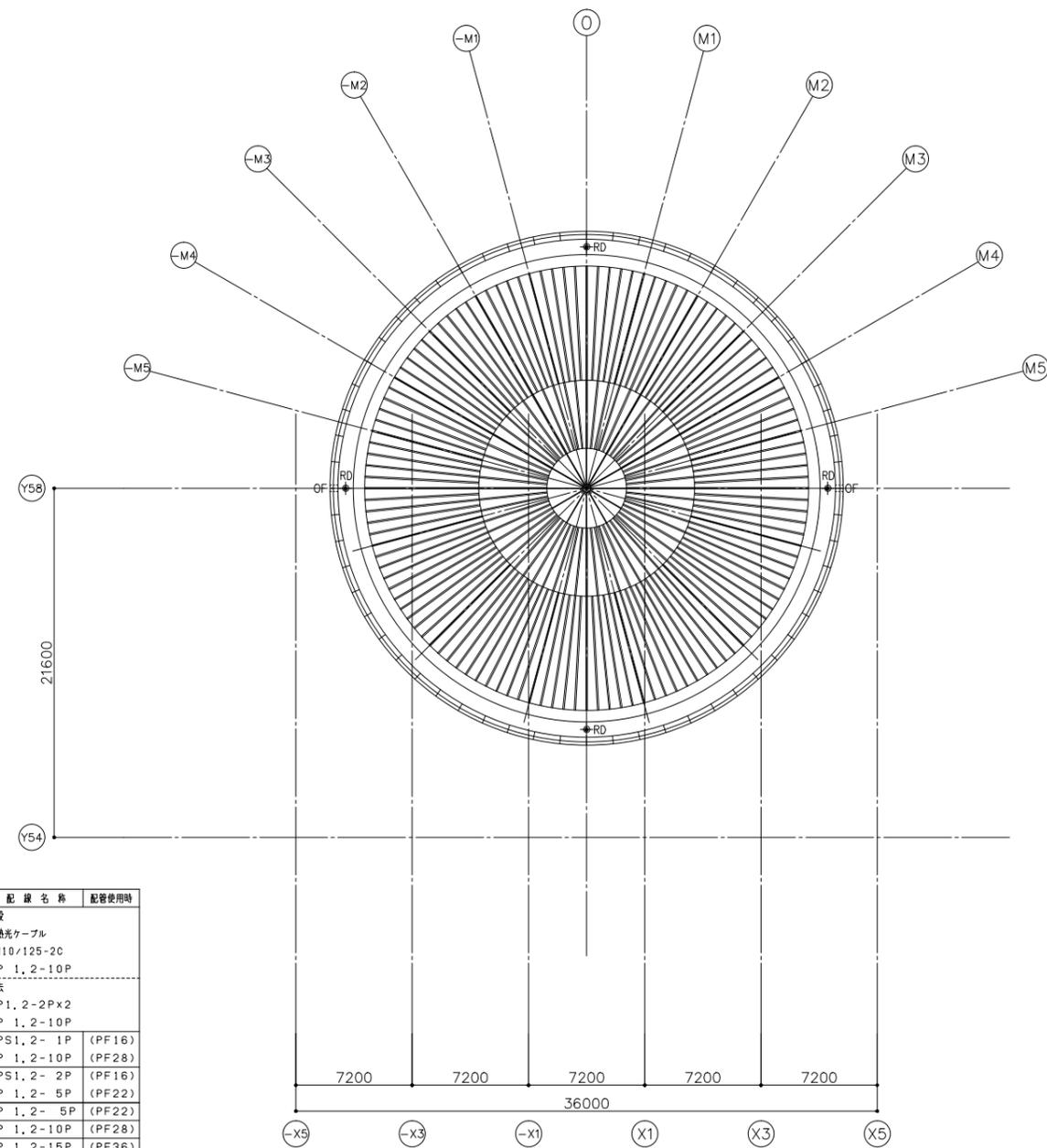
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

電 (通し番号26)
7-3

メディアセンターA棟, B棟 4階平面図 1/200 No. J-180869 A



メディアセンターA棟



メディアセンターA棟

記号	配線名称	配管使用時
	新設	
	耐熱光ケーブル	
	SM10/125-2C	
A	HP 1, 2-10P	
	撤去	
	HP 1, 2-2P×2	
	HP 1, 2-10P	
B	HPS1, 2-1P (PF16)	
	HP 1, 2-10P (PF28)	
C	HPS1, 2-2P (PF16)	
	HP 1, 2-5P (PF22)	
D	HP 1, 2-5P (PF22)	
E	HP 1, 2-10P (PF28)	
F	HP 1, 2-15P (PF36)	
G	HP 1, 2-3P (PF22)	
H	HP 1, 2-2C (PF16)	
I	HP 1, 2-4C (PF16)	
J	AE 1, 2-3P (PF16)	
K	AE 0, 9-5P (PF16)	

施工				
竣工				
監理				
施工				

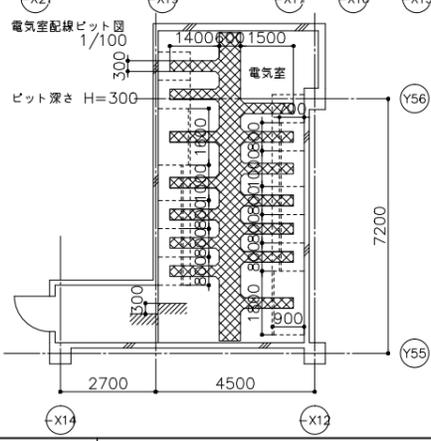
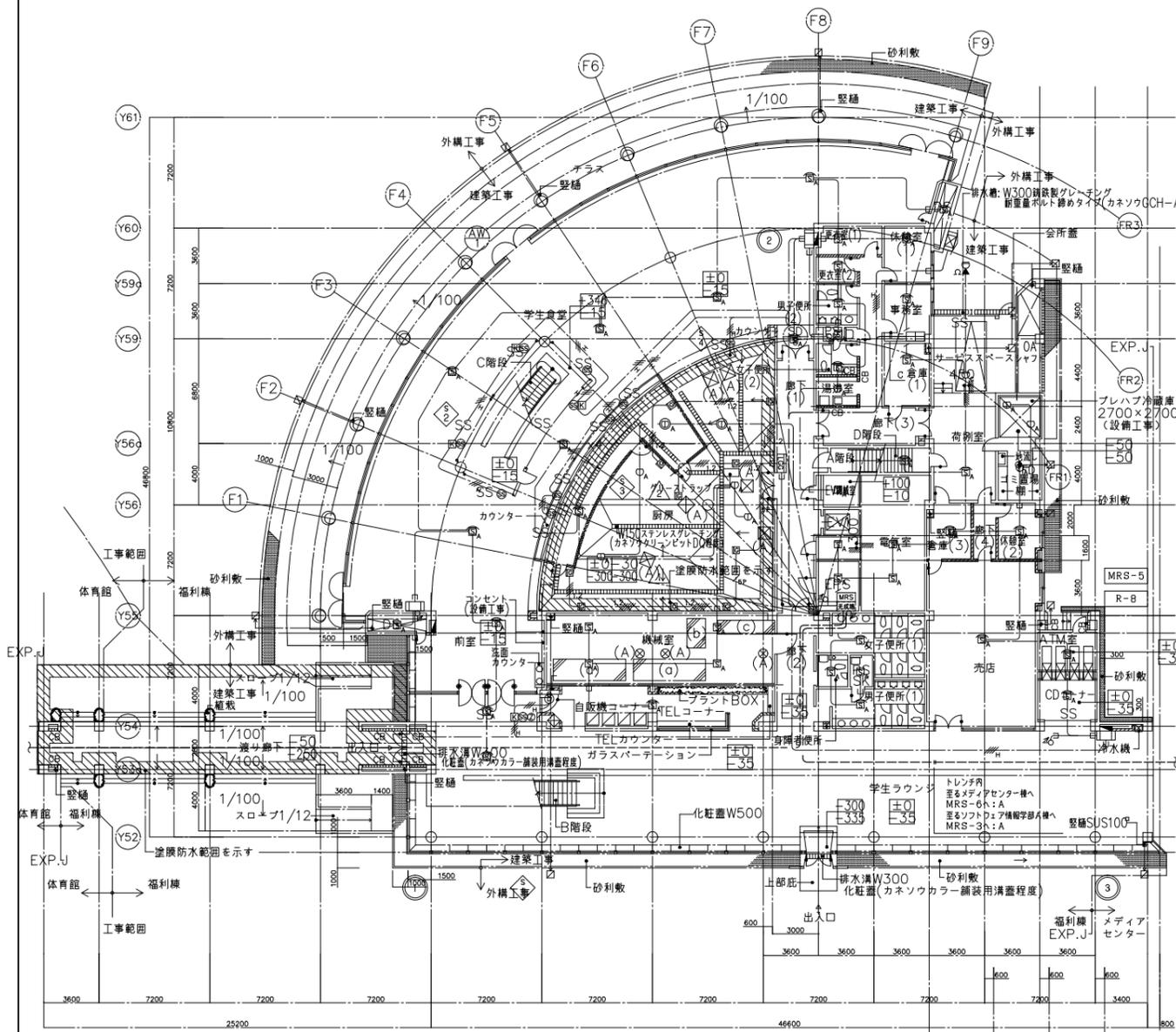
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

電 (通し番号27)
7-4

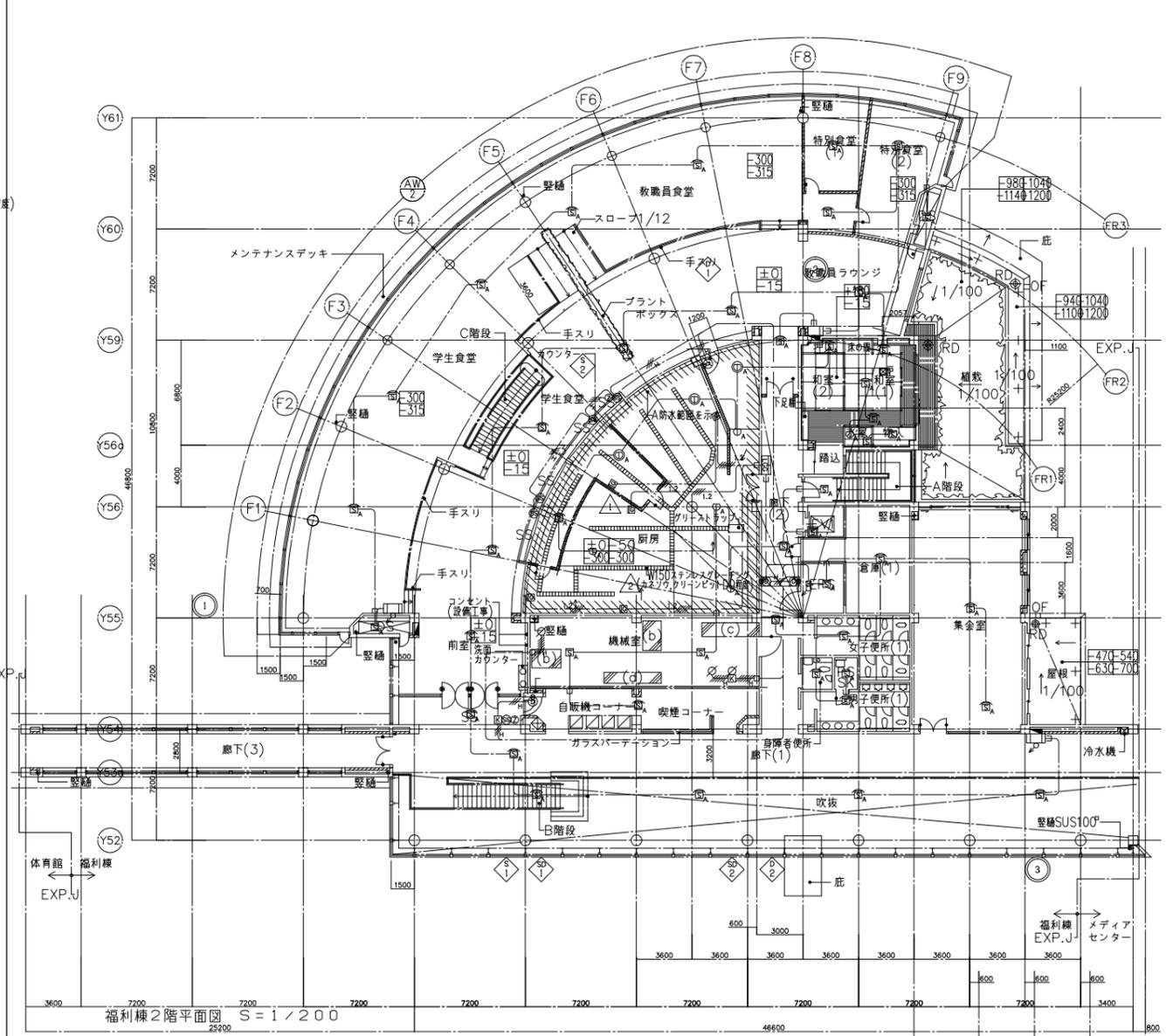
メディアセンターA棟, B棟 屋根伏図 1/200

No. J-180869 A



機械基礎リスト(2,3階共通)

記号	寸法(LxWxH)	タイプ	箇所数
(a)	4700x 1400 x 150		2
(b)	1900x 1200 x 150		3
(c)	3700x 900 x 150		2
(d)	3700x 700 x 150		1



記号	設備名称	配管使用時
新設	耐熱光ケーブル	SM10/125-2C
A	HP	1.2-10P
兼用	HP	1.2-2PX2
	HP	1.2-10P
B	HPS	1.2-1P (PF16)
	HP	1.2-10P (PF28)
C	HPS	1.2-2P (PF16)
	HP	1.2-5P (PF22)
D	HP	1.2-5P (PF22)
E	HP	1.2-10P (PF28)
F	HP	1.2-15P (PF36)
G	HP	1.2-3P (PF22)
H	HP	1.2-2C (PF16)
I	HP	1.2-4C (PF16)
J	AE	1.2-3P (PF16)
K	AE	0.9-5P (PF16)

2階、3階共通

特記なき床レベルは
±0
±10

特記なき機械室は
±0
±10

特記なきEPSは
±100
±10

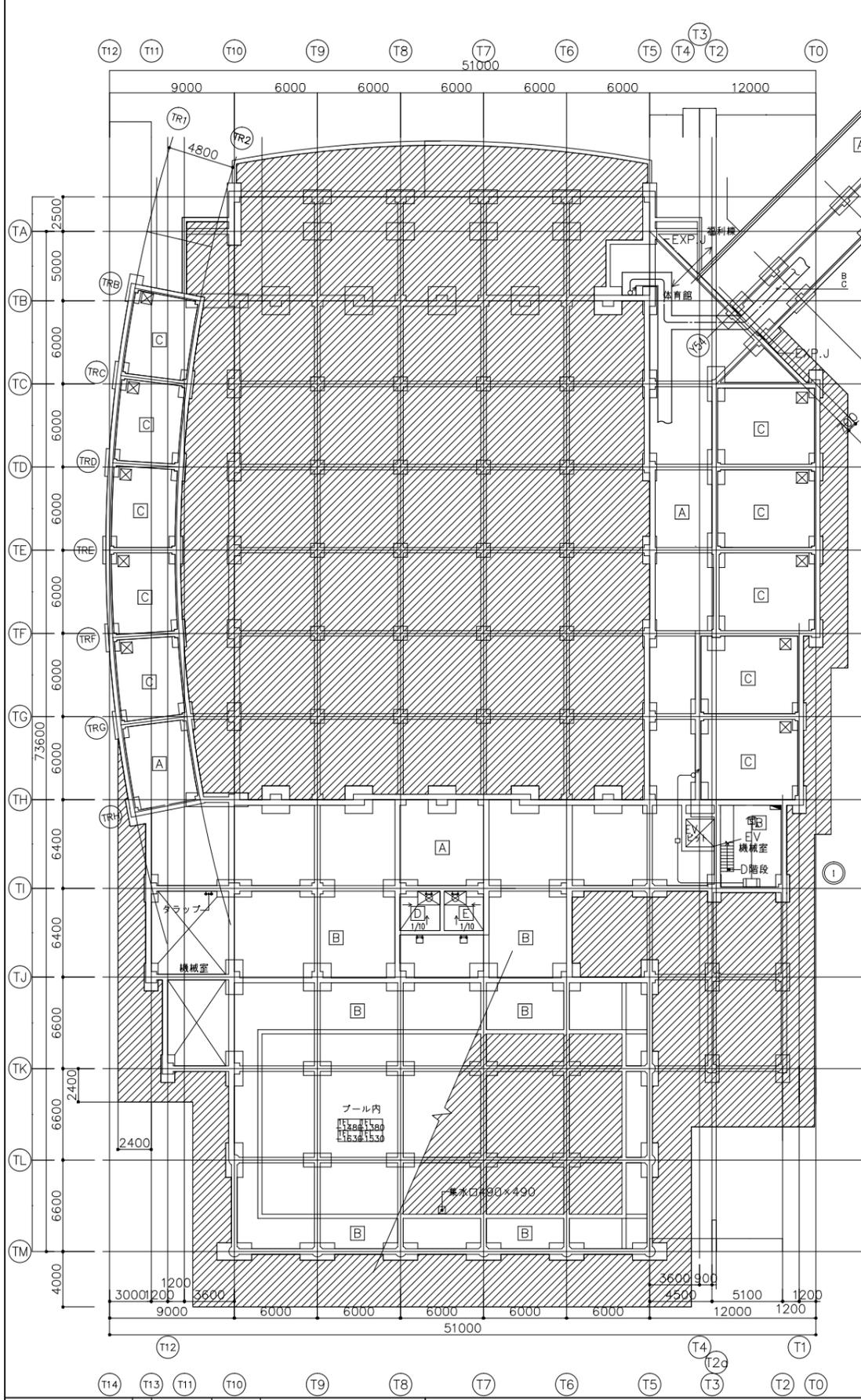
特記なき電気室は
±300
±10

着工	
竣工	
監理	
施工	

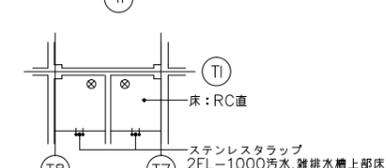
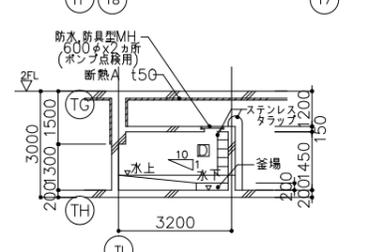
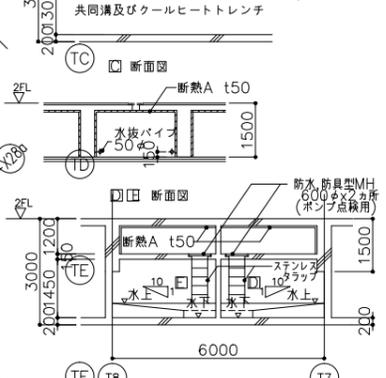
日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
学生ホール棟 1階平面図 1/200

電話 (通し番号28)
8-1
No. J-180869 A



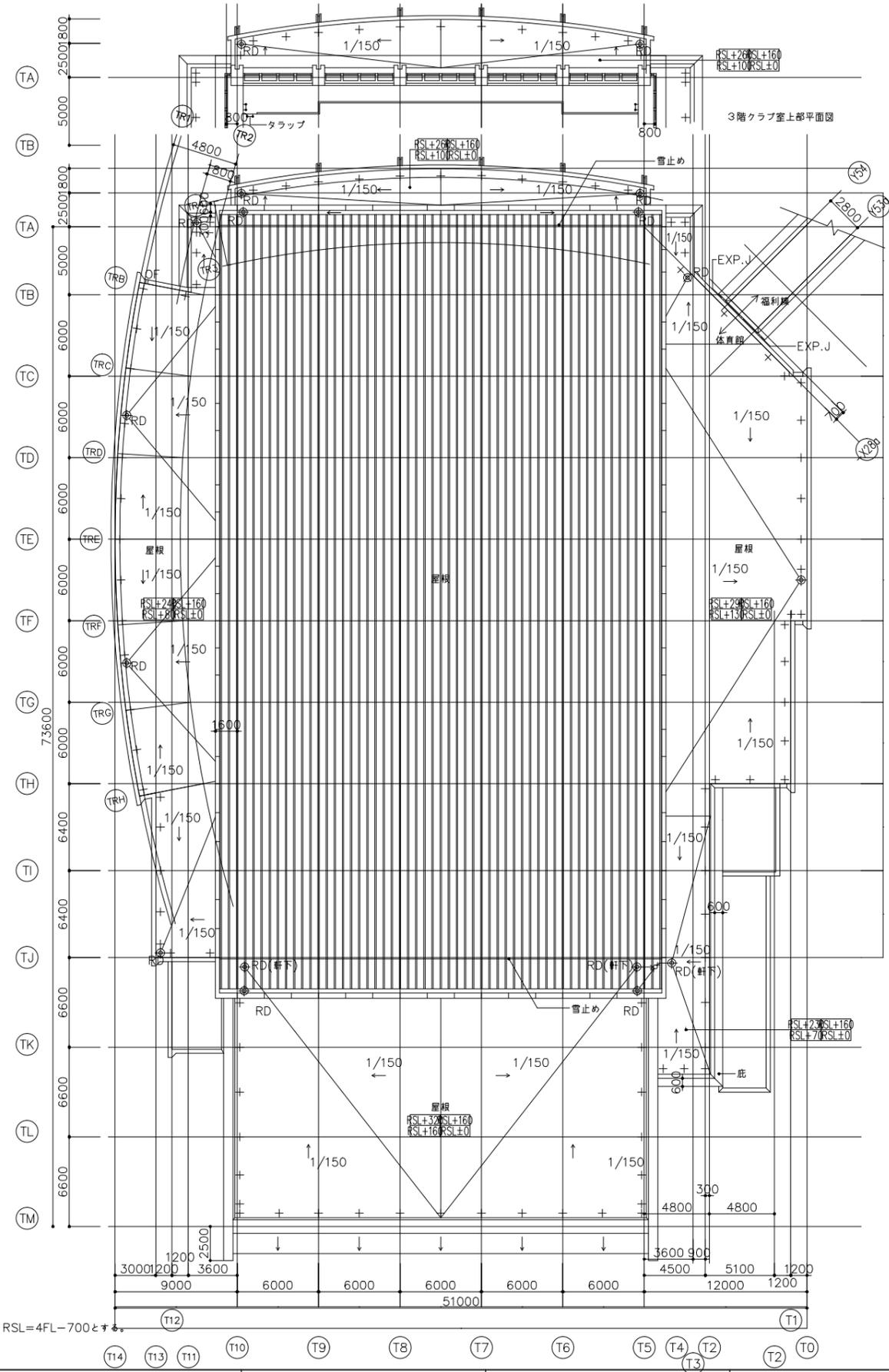
記号	配線名称	配管使用時
新熱光ケーブル	SM10/125-2C	
HP	1.2-10P	
製法	HP 1.2-2P×2	
HP	1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16)	
HP	1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16)	
HP	1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-10P (PF28)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	断熱材 t50 水抜パイプ (φ50)	
K	AE 0.9	

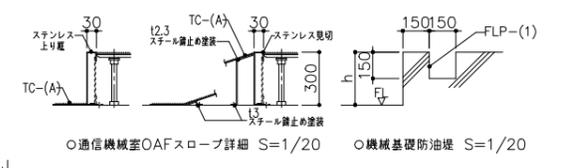


名称	仕上	床レベル
共同溝	C:断熱材(A) W:RC型	2FL-2800
排水ビット	F:RC型	2FL-2800
配管ビット	C:断熱材(A) W:RC型 F:捨コンクリート	2FL-1500
汚水貯留槽	C:断熱材(A) W:塗膜防水+保護モルタル F:塗膜防水+保護モルタル	2FL-1200 2FL-2800
雑排水槽	C:断熱材(A) W:塗膜防水+保護モルタル F:塗膜防水+保護モルタル	2FL-1200 2FL-2800
汚水槽	C:断熱材(A) W:塗膜防水+保護モルタル F:塗膜防水+保護モルタル	2FL-1200 2FL-2800

C:天井 W:壁 F:床
特記なきは配管ビットとする。

記号	床名	床名称
○	上部床点検口(マンホール)	
□	機械室	釜場(900×1200×H1500)
■	EPS	埋戻し範囲を示す
↑	電気室	ステンレストラップ

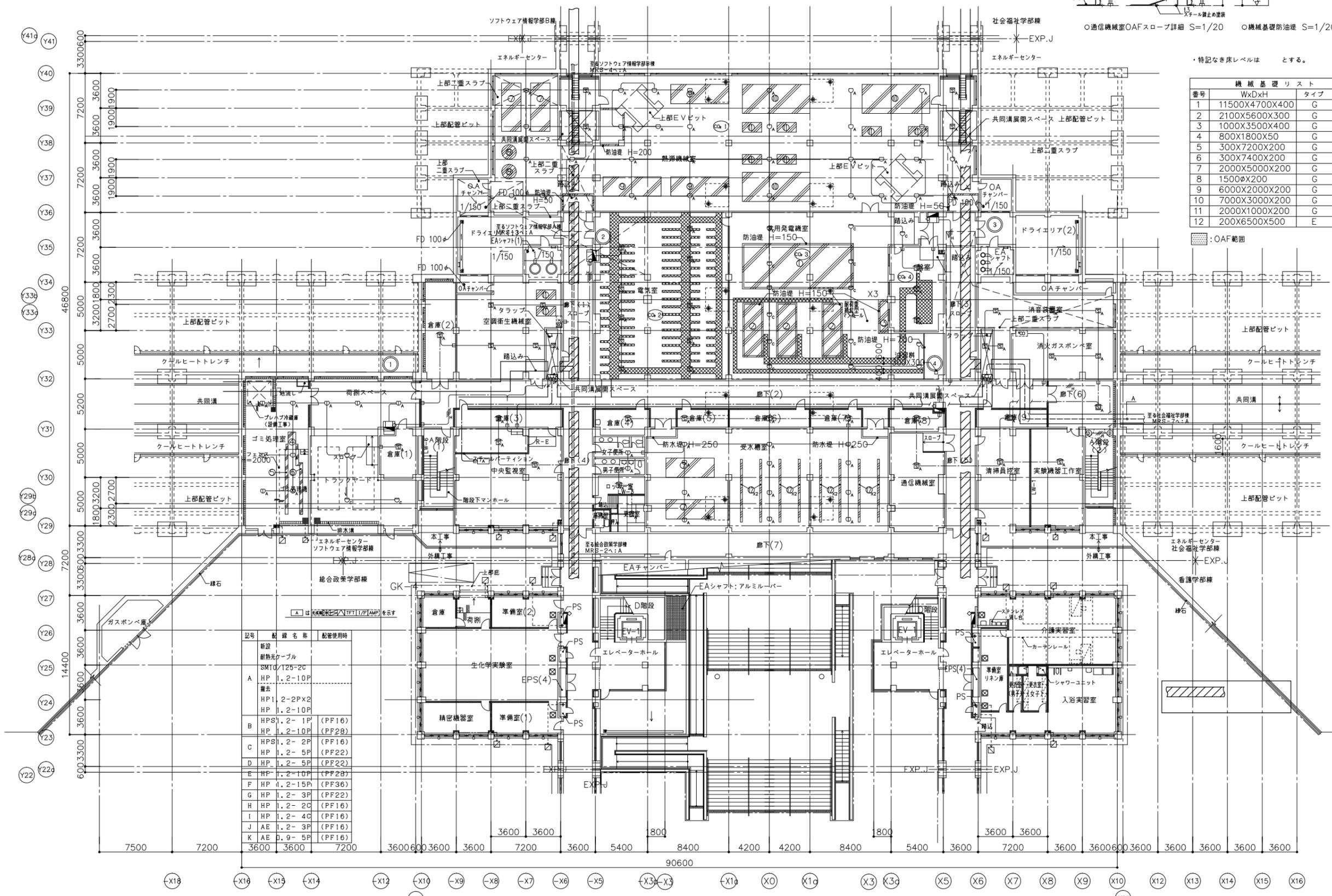




・特記なき床レベルは とする。

機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	11500X4700X400	G	1
2	2100X5600X300	G	3
3	1000X3500X400	G	1
4	800X1800X50	G	1
5	300X7200X200	G	1
6	300X7400X200	G	1
7	2000X5000X200	G	4
8	1500X200	G	2
9	6000X2000X200	G	3
10	7000X3000X200	G	3
11	2000X1000X200	G	6
12	200X6500X500	E	8

□ : OAF範囲



記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-20	
	HP 1.2-10P	
	置法 HP1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPS 1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS 1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

着工			
竣工			
管理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

エネルギーセンター 1階平面図 1/200

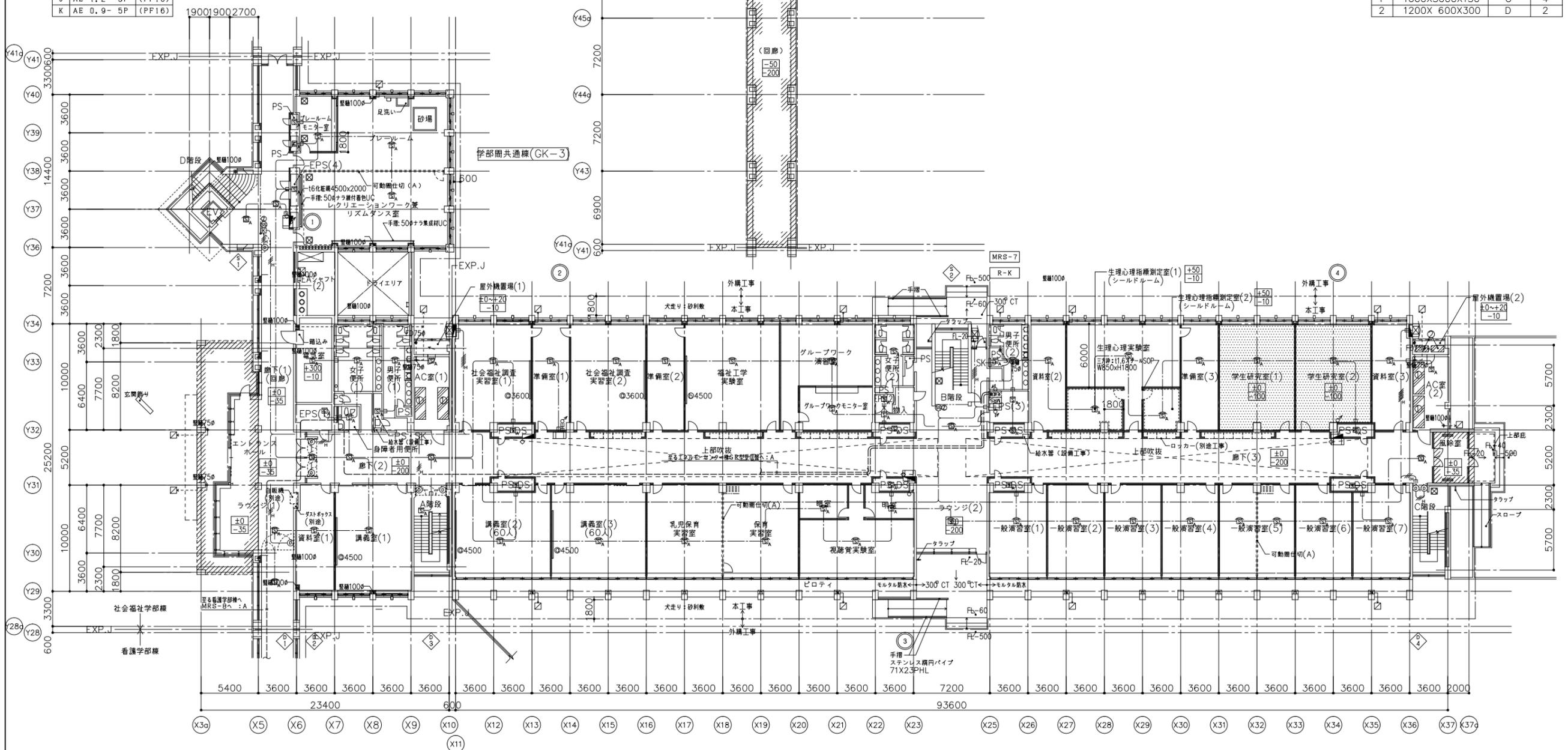
電話 (通し番号31) 10-1
No. J-180869 A

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
	撤去 HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

■ : OAF範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	1200X 600X300	D	2



着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

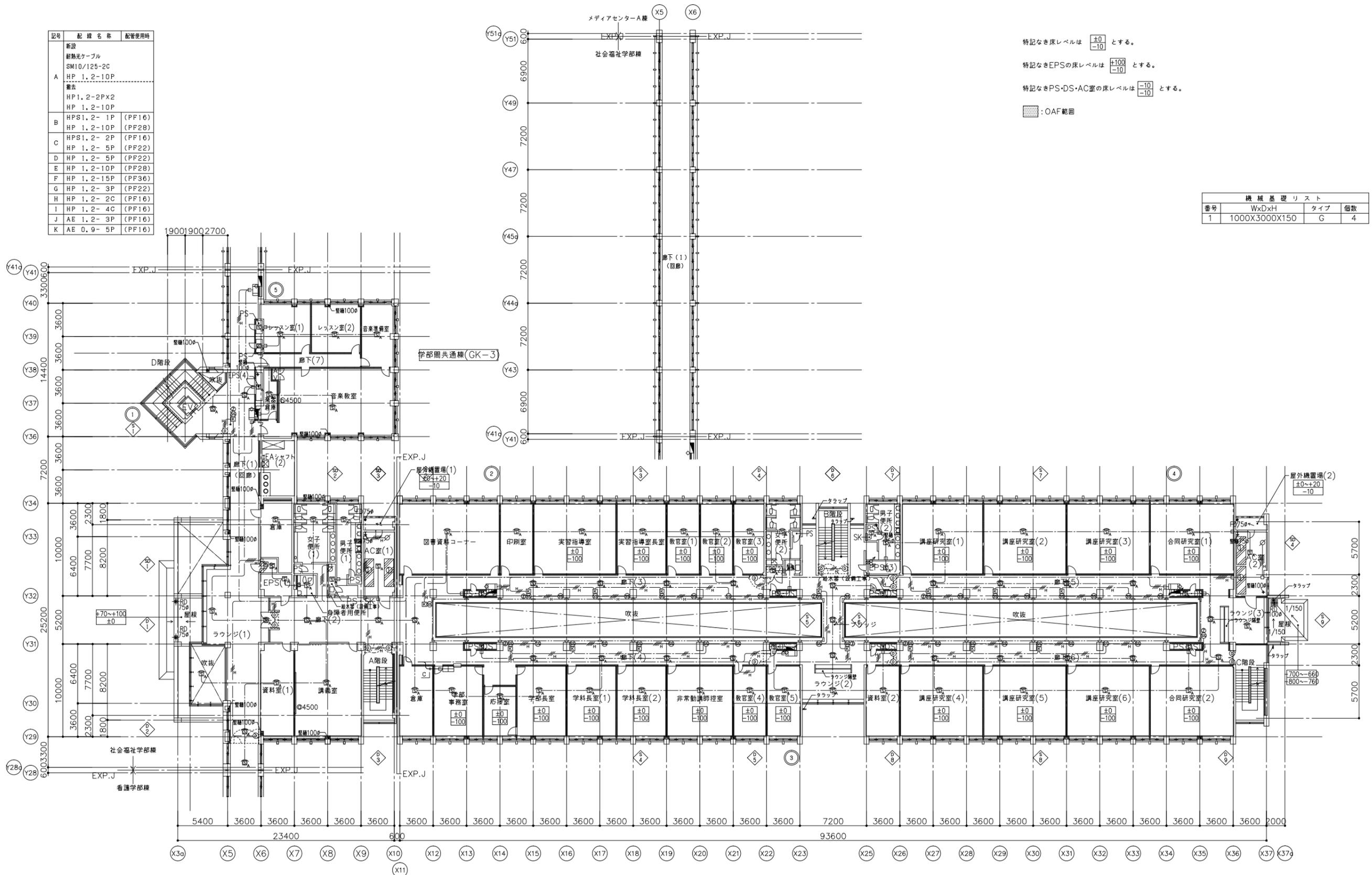
岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 社会福祉学部棟 2階平面図 1/200

☎ (通し番号32)
 11-1
 No. J-180869 A

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/120-2C	
	HP 1. 2-10P	
	撤去 HP1. 2-2PX2 HP 1. 2-10P	
B	HPS1. 2- 1P (PF16)	
	HP 1. 2-10P (PF28)	
C	HPS1. 2- 2P (PF16)	
	HP 1. 2- 5P (PF22)	
D	HP 1. 2- 5P (PF22)	
E	HP 1. 2-10P (PF28)	
F	HP 1. 2-15P (PF36)	
G	HP 1. 2- 3P (PF22)	
H	HP 1. 2- 2C (PF16)	
I	HP 1. 2- 4C (PF16)	
J	AE 1. 2- 3P (PF16)	
K	AE 0. 9- 5P (PF16)	

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは -10 とする。
 [陰影記号] : OAF範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4



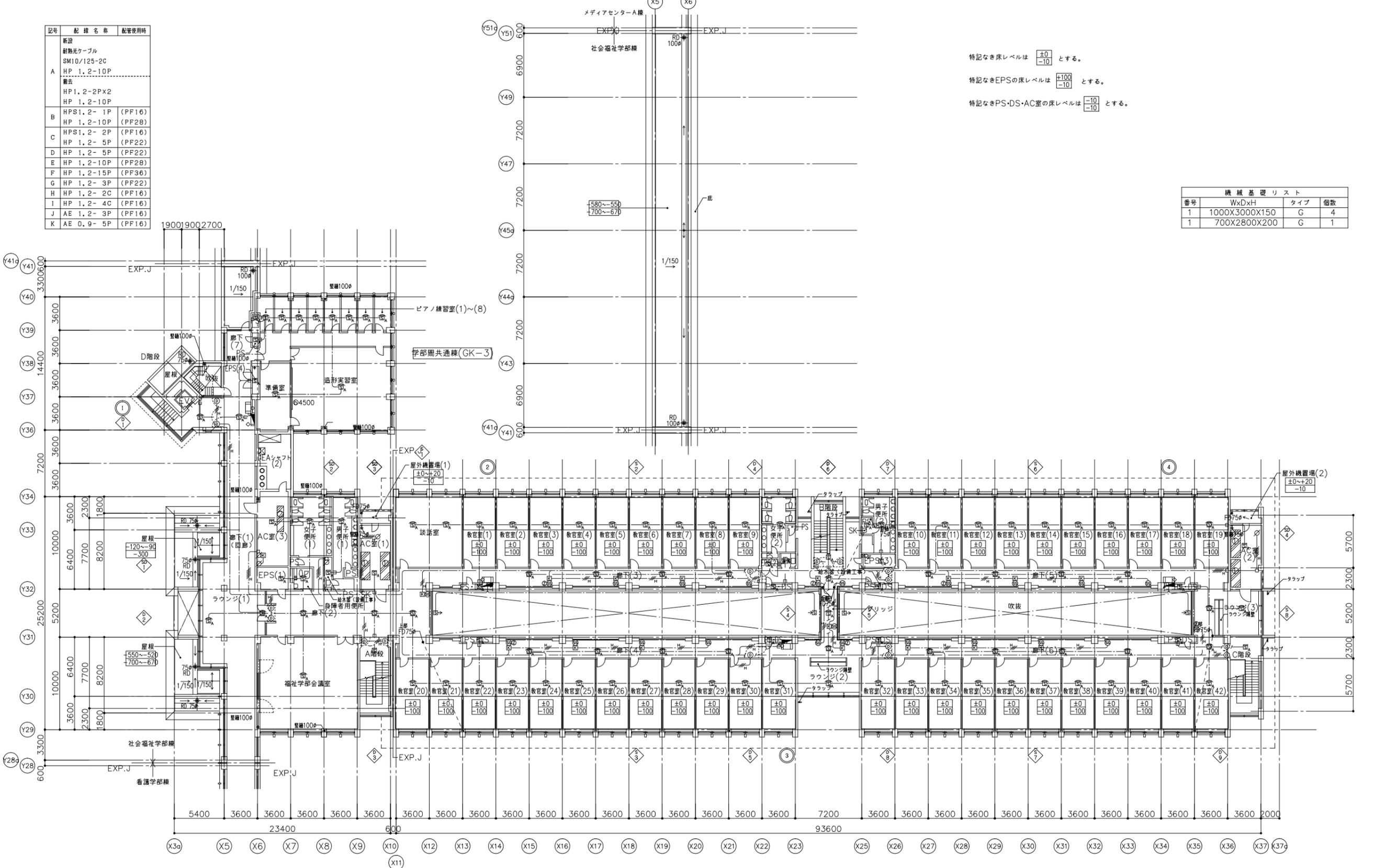
着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 社会福祉学部棟 3階平面図 1/200

☎ (通し番号33)
 11-2
 No. J-180869 A

記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10/120-2C	
	撤去 HP 1.2-10P	
B	HP 1.2-2PX2	(PF16)
	HP 1.2-10P	(PF28)
C	HP 1.2-2P	(PF16)
	HP 1.2-5P	(PF22)
D	HP 1.2-5P	(PF22)
E	HP 1.2-10P	(PF28)
F	HP 1.2-15P	(PF36)
G	HP 1.2-3P	(PF22)
H	HP 1.2-2C	(PF16)
I	HP 1.2-4C	(PF16)
J	AE 1.2-3P	(PF16)
K	AE 0.9-5P	(PF16)



特記なき床レベルは $\begin{matrix} \pm 0 \\ -10 \end{matrix}$ とする。

特記なきEPSの床レベルは $\begin{matrix} \pm 100 \\ -10 \end{matrix}$ とする。

特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\begin{matrix} -10 \\ -10 \end{matrix}$ とする。

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
1	700X2800X200	G	1

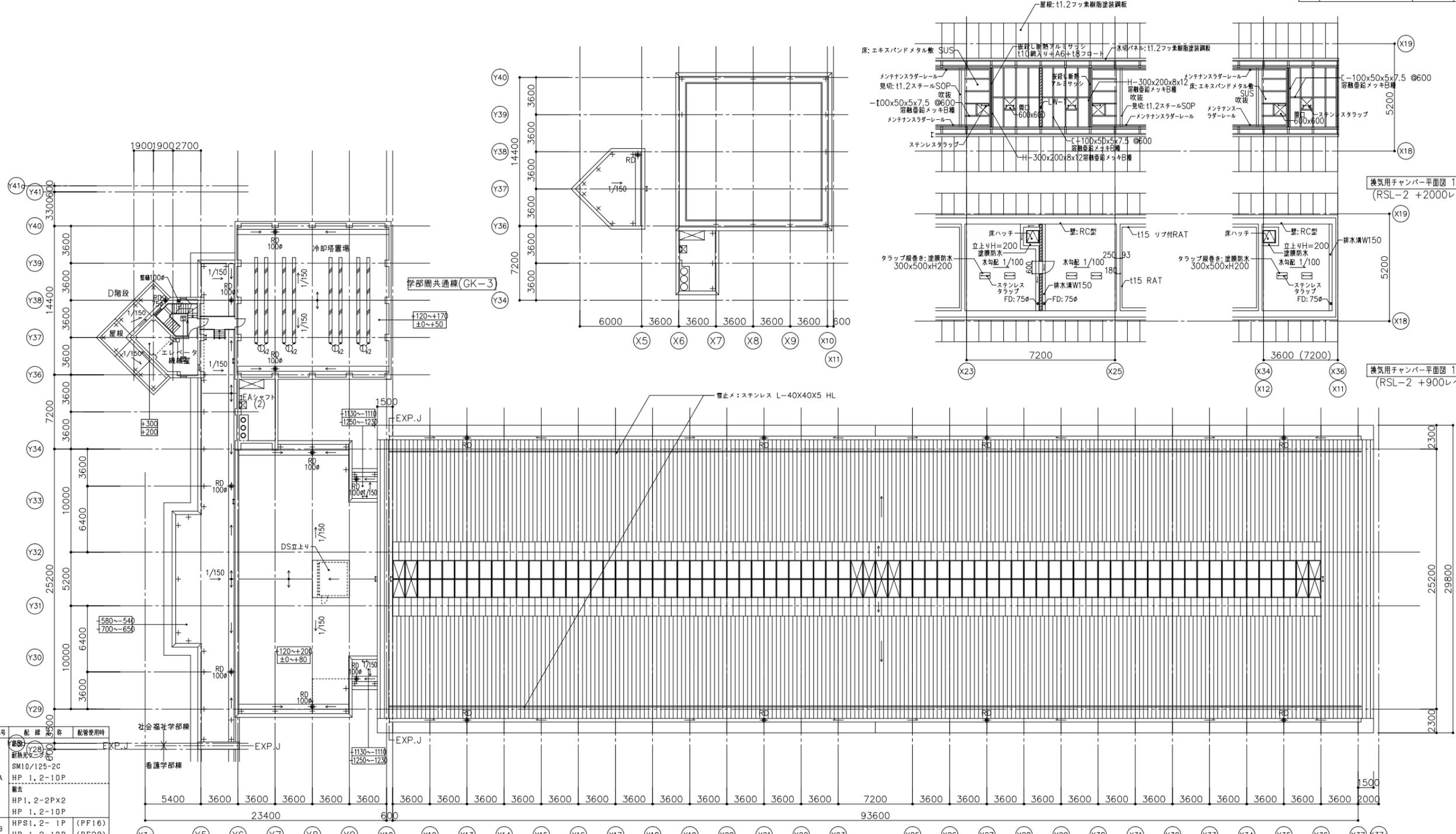
着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事
社会福祉学部棟 4階平面図 1/200

☎ (通し番号34)
11-3
No. J-180869 A

機械基礎リスト			
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	300X8300X550	A	8



記号	設備名称	設備使用時
A	新築光熱 SM10/125-2C HP 1.2-10P	
B	撤去 HP 1.2-2PX2 HP 1.2-10P	
C	HPS1.2-1P (PF16) HP 1.2-10P (PF28)	
D	HPS1.2-2P (PF16) HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-5P (PF22)	
F	HP 1.2-10P (PF28)	
G	HP 1.2-15P (PF36)	
H	HP 1.2-3P (PF22)	
I	HP 1.2-2C (PF16)	
J	HP 1.2-4C (PF16)	
K	AE 1.2-3P (PF16) AE 0.9-5P (PF16)	

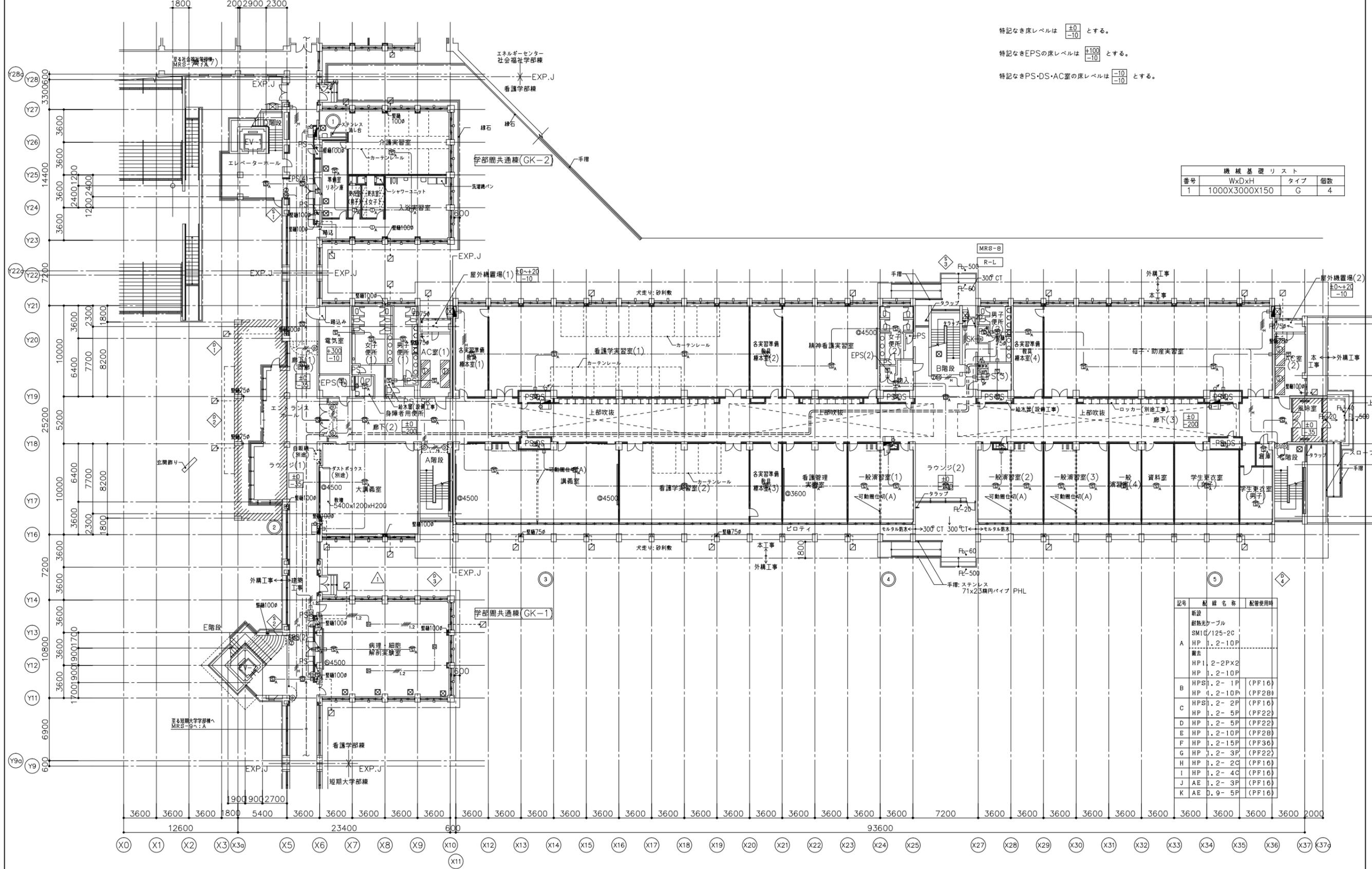
着工			
竣工			
監理			
施工			

日建設計

岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

電 (通し番号35)
11-4

社会福祉学部棟 塔屋屋根平面図 1/200 No. J-180869 A



特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは $\frac{+100}{-10}$ とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\frac{-10}{-10}$ とする。

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4

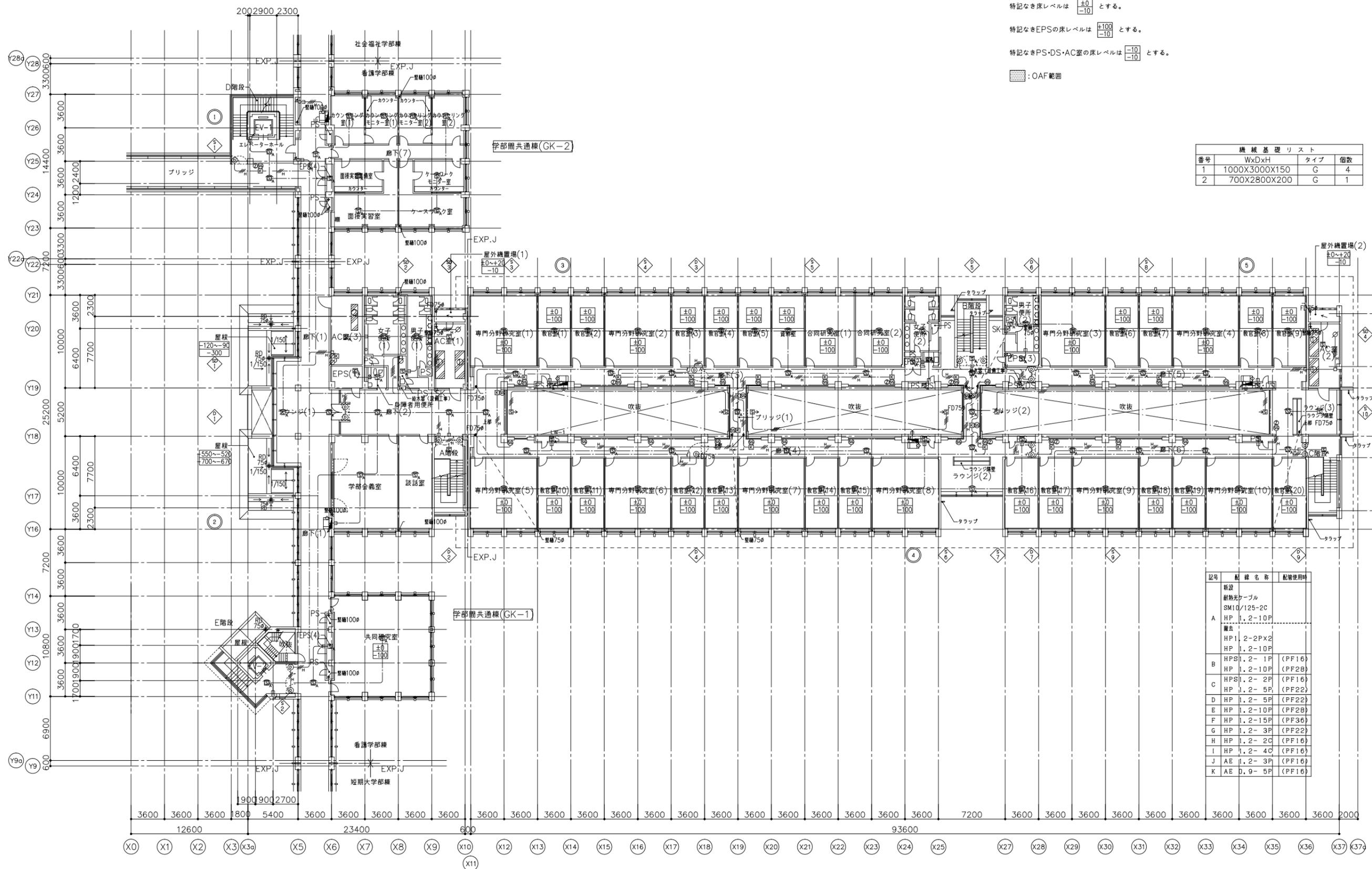
記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱光ケーブル SM10(125-2C)	
	HP 1.2-10P	
	HP 1.2-2PX2	
B	HPS 1.2-1P	(PF16)
	HP 1.2-10P	(PF28)
C	HPS 1.2-2P	(PF16)
	HP 1.2-5P	(PF22)
D	HP 1.2-5P	(PF22)
	E	HP 1.2-10P
F	HP 1.2-15P	(PF36)
	G	HP 1.2-3P
H	HP 1.2-2C	(PF16)
	I	HP 1.2-4C
J	AE 1.2-3P	(PF16)
	K	AE D.9-5P

着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 看護学部棟 1階平面図 1/200

電 (通し番号36)
 12-1
 No. J-180869 A



特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは -10 とする。
 [Symbol]: OAF範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	700X2800X200	G	1

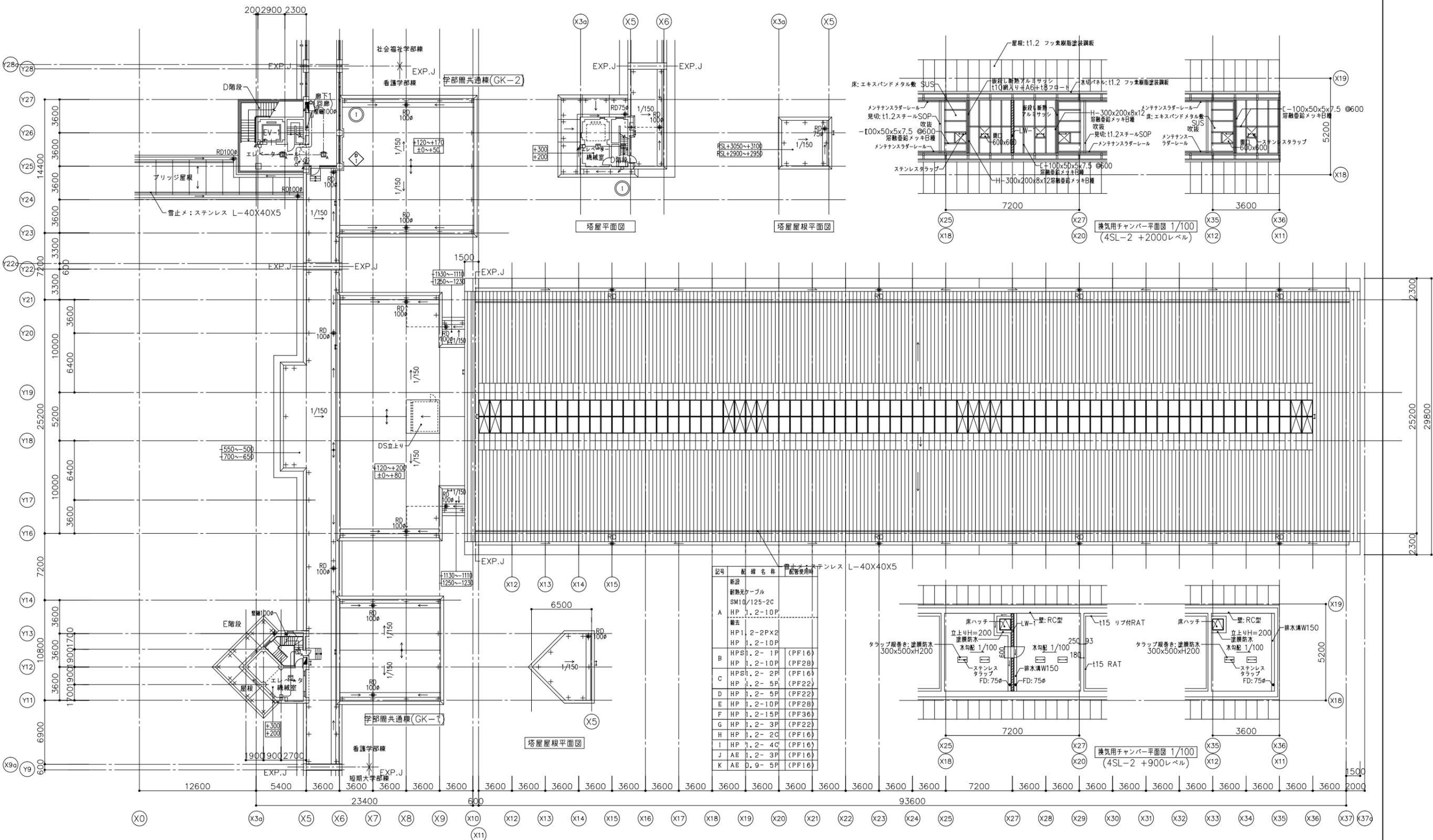
記号	配線名称	配管使用時
A	新設 耐熱ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1, 2-10P	
	HP 1, 2-2P×2	
B	HPS 1, 2-1P (PF16)	
	HP 1, 2-10P (PF28)	
C	HPS 1, 2-2P (PF16)	
	HP 1, 2-5P (PF22)	
D	HP 1, 2-5P (PF22)	
	E HP 1, 2-10P (PF28)	
F	HP 1, 2-15P (PF36)	
	G HP 1, 2-3P (PF22)	
H	HP 1, 2-2C (PF16)	
	I HP 1, 2-4C (PF16)	
J	AE 1, 2-3P (PF16)	
	K AE D, 9-5P (PF16)	

着工	
竣工	
監理	
施工	

日建設計

岩手県立大学
 自動火災報知設備更新工事
 看護学部棟 3階平面図 1/200

電 (通し番号38)
 12-3
 No. J-180869 A



記号	配線名称	設置使用時
新設	新熱光ケーブル SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
撤去	HP1.2-2PX2	
	HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
	HPS1.2-2P (PF16)	
C	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE D.9-5P (PF16)	

施工			
検工			
監理			
施工			

日建設計

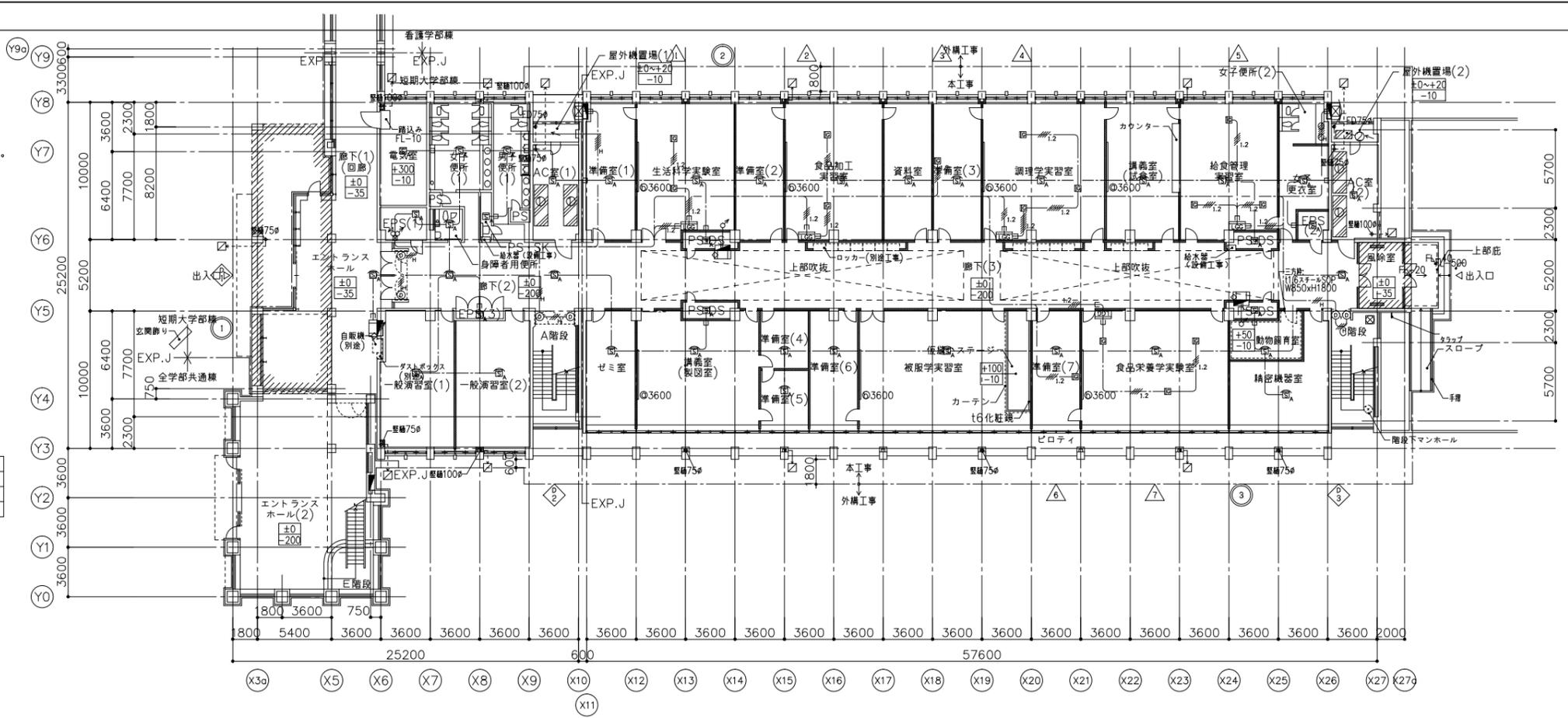
岩手県立大学
自動火災報知設備更新工事

電 (通し番号39)
12-4

看護学部棟 4階・塔屋屋根平面図 1/200 No. J-180869 A

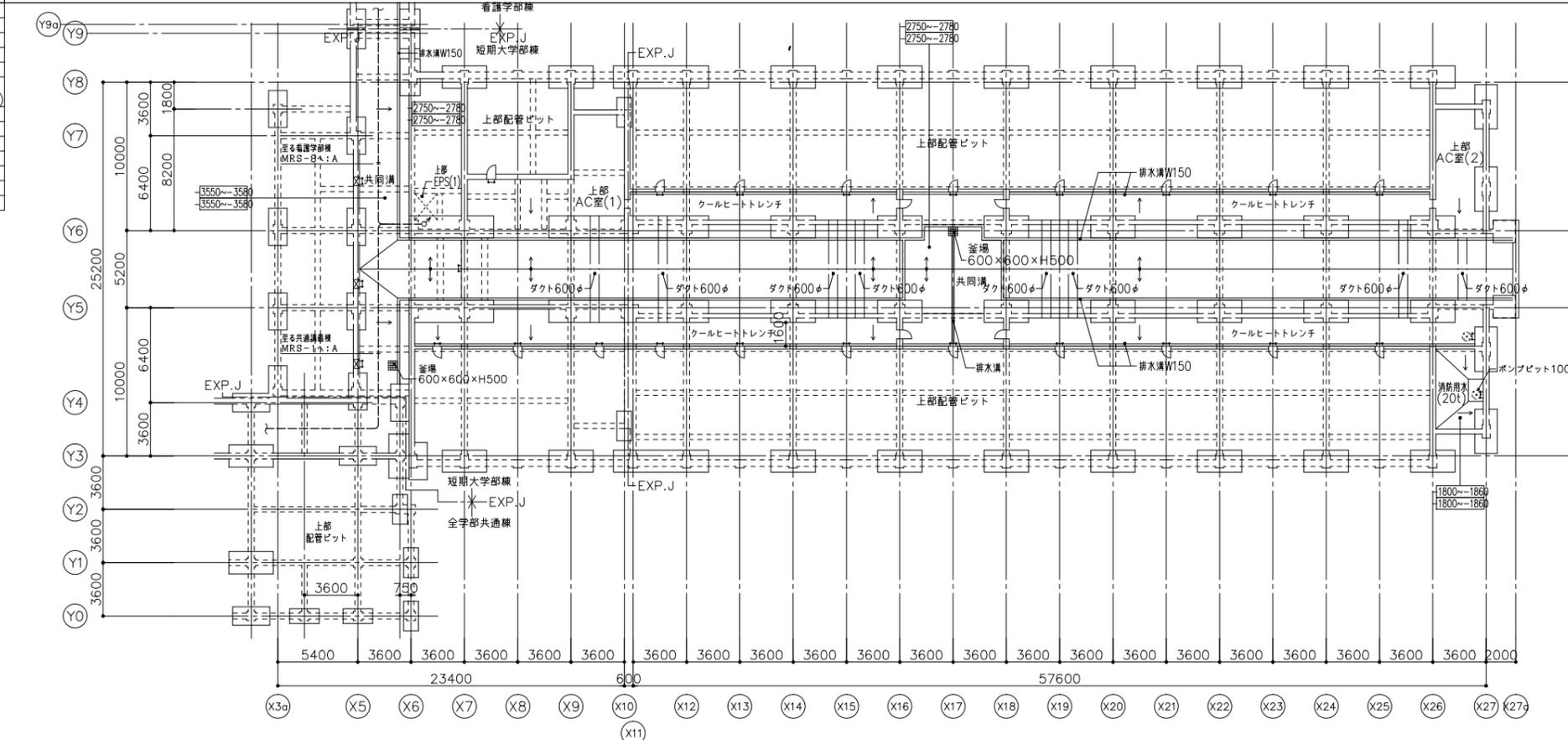
特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは $\frac{+100}{-10}$ とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは $\frac{-10}{-10}$ とする。

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	1200X600X300	D	1



名称	仕上
共同溝	C t50 断熱材A W RC型 F RC直
クールヒート トレンチ	C t50 断熱材A W RC型 (但し共同溝と隣り合う壁のみt50 断熱材A) F RC直
配管ピット	C t50 断熱材A W RC型 F t100 捨コンクリート
消防用水	C t50 断熱材A W 塗膜防水 F 塗膜防水

上記の記号はC: 天井、W: 壁、F: 床を示す。
 ・特記なき扉は $\frac{10}{10}$ とする。
 ・ダクトは設備工事とする。
 ・ \square 人通孔 600φ



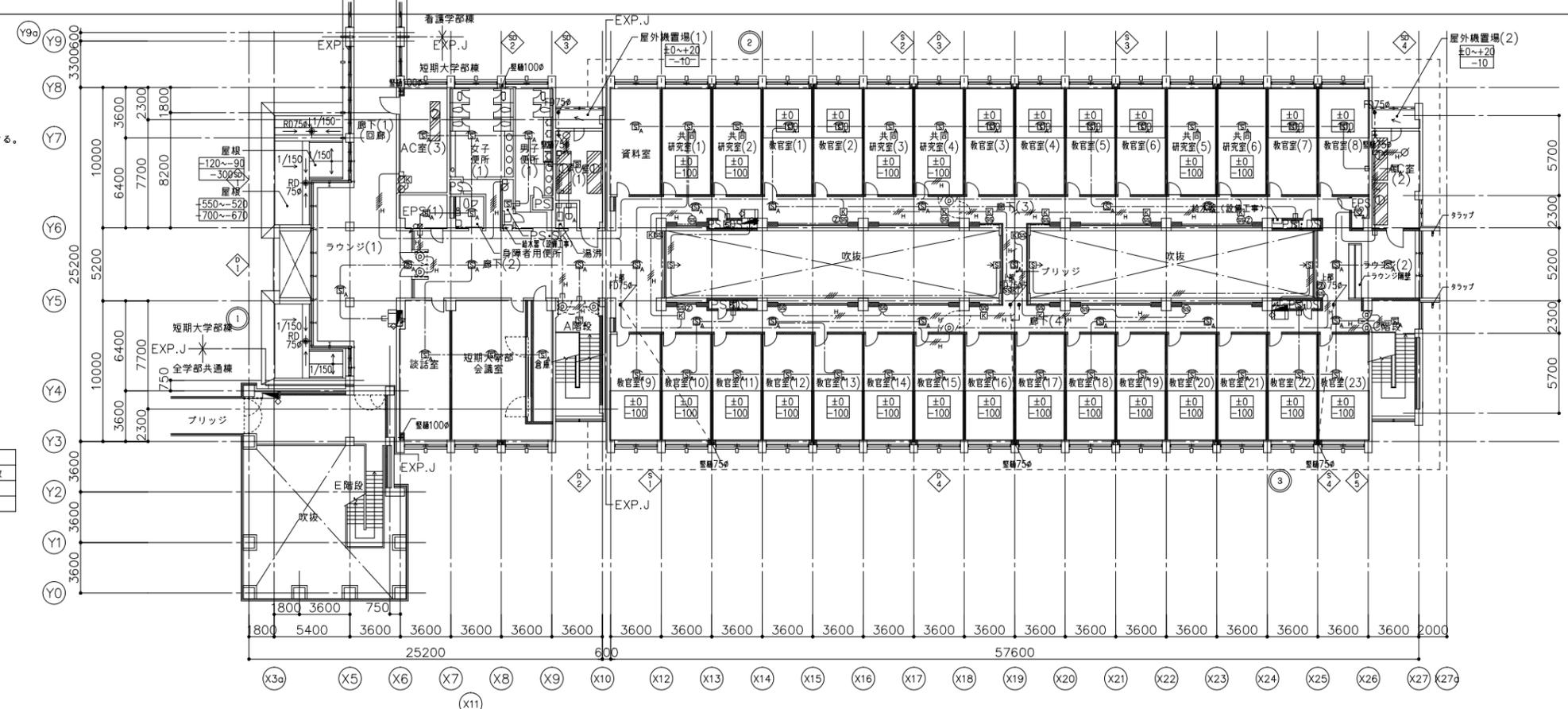
記号	配線名称	配管使用時
新設	新設光ケーブル SM10/125-2C	
	HP 1.2-10P	
撤去	HP 1.2-2P×2 HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16) HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16) HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	

竣工	
竣工	
竣工	
竣工	

特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

■ : OAF範囲

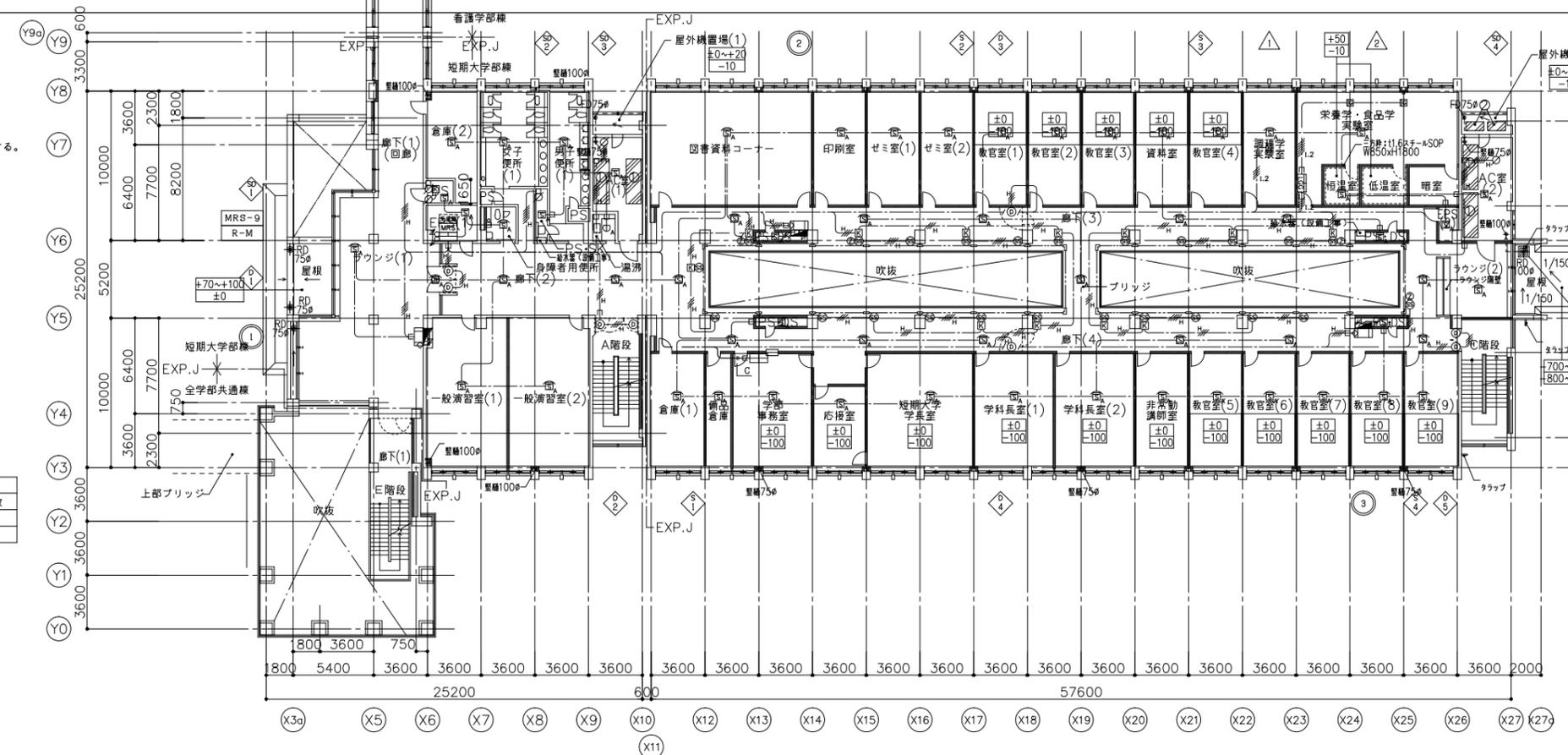
番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	700X2800X200	G	1



特記なき床レベルは ± 0 とする。
 特記なきEPSの床レベルは ± 100 とする。
 特記なきPS・DS・AC室の床レベルは ± 10 とする。

■ : OAF範囲

番号	WxDxH	タイプ	個数
1	1000X3000X150	G	4
2	1200X600X300	D	2



記号	配線名称	配管使用時
	新設	
	耐熱ケーブル	
	SM10/125-2C	
A	HP 1.2-10P	
	備法	
	HP 1.2-2Px2	
	HP 1.2-10P	
B	HPS1.2-1P (PF16)	
	HP 1.2-10P (PF28)	
C	HPS1.2-2P (PF16)	
	HP 1.2-5P (PF22)	
D	HP 1.2-5P (PF22)	
E	HP 1.2-10P (PF28)	
F	HP 1.2-15P (PF36)	
G	HP 1.2-3P (PF22)	
H	HP 1.2-2C (PF16)	
I	HP 1.2-4C (PF16)	
J	AE 1.2-3P (PF16)	
K	AE 0.9-5P (PF16)	